



倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区



ぼうさい こくたい 2026 in 鳥取



共に考え・備え・守る

- 支え愛  で守る命と暮らし -

10/17^土・18^日

大会パンフレット



福高祭



鳥取砂丘

防災推進国民大会2026 in 鳥取

プログラムの詳細は
WEBサイトで!

日程 2026年10月17日^土・18日^日

10月17日^土 10:30 ~ (オープニングセッション) 11:30 ~ 18:00 (その他出展)
10月18日^日 10:30 ~ 17:30 (クロージングセッション以外は16:00まで)

会場 エースパック未来中心、鳥取県立美術館周辺

主催 防災推進国民大会2026実行委員会
(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)

協力 鳥取県・倉吉市



ぼうさいこくたい

検索



共に考え・備え・守る

- 支え愛  で守る命と暮らし -

開催趣旨

日本は、地震、津波、大雨、台風、火山噴火、豪雪等様々な自然災害の影響を受ける環境にあり、特に、近年の自然災害は激甚化・頻発化しており、毎年、各地で被害が相次いでいます。また、南海トラフ地震や首都直下地震等大規模災害の発生が懸念されています。

一方で、我が国はこれまで、災害が発生する都度、その経験と教訓を踏まえて、被災地対応に関する課題等を洗い出し、災害対応を進化させてきました。

防災は行政だけで目標を達成できるものではありません。国、地方自治体に加えて、保健・医療・福祉関係者、企業、業界団体、大学・研究機関、NPO／NGO、ボランティア等の地域関係者、そして国民一人ひとりが、災害大国に暮らしていることを自覚した上で、災害を自分事化するとともに、共に考え、共に備え、共に守り、総力を結集し、共に未来を築いていくことが重要です。

鳥取県は、鳥取県西部地震（平成12年）や鳥取県中部地震（平成28年）での対応を踏まえ、一人ひとりの命と暮らしを大切に守りたいという思いのもと、地域と連携した「支え愛マップづくり」や「災害ケースマネジメント」等の取組を推進してきました。また、本年1月6日の島根県東部を震源とする地震では、鳥取県西部を含む幅広い地域で最大震度5強を観測しました。鳥取県は、これまでの経験を踏まえ、発災後速やかに自治体、防災関係者及び地域等が緊密に連携し、迅速な復旧に対応しました。

11回目を迎える2026年のぼうさいこくたいは、「共に考え・備え・守る～「支え愛」で守る命と暮らし～」をテーマとして、鳥取県中部地震やこのたびの地震等の様々な災害での鳥取県の経験や教訓と、全国から集まっていただく方々の知恵や知識を織り交ぜ、鳥取の地から発信していくことにより、オールジャパンで防災や減災について考える機会になればと考えています。そして、この「ぼうさいこくたい」を通じて、人と人との結びつきや多様な主体の連携・協働がより強固なものとなり、我が国全体の防災力の向上につながっていくことを願っています。



ぼうさい こくたい 2026 in 鳥取

皆さまの声を、これからの防災へ

この度は「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」
にご来場いただき、ありがとうございます。
今後の参考とするため、
アンケートへのご協力をお願いいたします。



Bちゃん

ぼうさいこくたい イメージキャラクター

「BOSAI」の「B」とハートからデザインされ、人と人のつながりで「防災」を作り上げ、安心安全な日常を願うというコンセプトで考案されました。

目次

周辺駐車場のご案内 ————— P4

会場マップ —————

倉吉パークスクエア ————— P4

エースバック未来中心 ————— P6

鳥取県立美術館 ————— P7

倉吉交流プラザ ————— P8
第1駐車場

上灘コミュニティセンター ————— P9

大御堂廃寺跡・第5駐車場
上灘中央公園

タイムテーブル ————— P10

プログラム —————

セッション ————— P16

オンライン・セッション ————— P23

ワークショップ ————— P26

ブース展示 ————— P29

オンライン・ブース展示 ————— P39

パネル展示 ————— P39

屋外テント展示 ————— P42

屋外車両展示 ————— P44

出展団体オリジナル企画 ————— P46



防災に関する知識や
専門家の研究などを学ぼう
セッション

オンライン・セッション



防災を身近に感じて
体験できる
ワークショップ

オンライン・ワークショップ



防災について
知りたいことを聞いてみよう
ブース展示

オンライン・ブース展示



防災に関する
新たな発見に出会える
パネル展示



防災の魅力に
直接ふれてみよう
屋外テント展示



防災・減災・復旧を
実際に体感してみよう
屋外車両展示



大人も子供も学べる
出展団体オリジナル企画

周辺駐車場のご案内

会場周辺に来場者専用駐車場をご用意しています。



番号	駐車場名	駐車台数	利用時間
①	天神川河川敷臨時駐車場	500	17日☎ 8:30 ~ 20:30 18日☎ 8:30 ~ 19:00
②	倉吉地方合同庁舎前 (倉吉市駄経寺町2丁目15)	55	
③	倉吉市役所第1観光駐車場 (倉吉市葵町722)	51	
④	倉吉市役所第2観光駐車場 (鳥取県倉吉市仲ノ町703-4)	200	

天神川河川敷臨時駐車場(上図 ♀ バス停「中部総合事務所バス停」)から
会場臨時バス停まで直通の無料シャトルバスを運行しています。

「中部総合事務所」⇒会場

時	10/17☎	10/18☎
8	45	45
9	00 15 30 45	00 15 30 45
10	00 20 40	00 20 40
11	00 20 40	00 20 40
12	00	00
13	20 40	20 40
14	20 40	20 40
15	20 40	
16	20 40	

会場⇒「中部総合事務所」

時	10/17☎	10/18☎
13	00 30	00
14	00 30	00
15	00 30	00
16	00 30	00 20 40
17	00 30	00 20 40
18	00 20 40	00 20 40
19	10 50	
20	05 20	

赤字の3便は倉吉駅まで延伸

駐車場に関する問合せ：03-6277-6276

エスパック未来中心

セッション

S-01 ~ S-33

ブース展示

B-001 ~

ワークショップ

W-01 ~ W-23

出展団体

OR-04



倉吉交流プラザ

セッション

S-40 ~ S-55

出展団体オリジナル企画

OR-01 OR-02

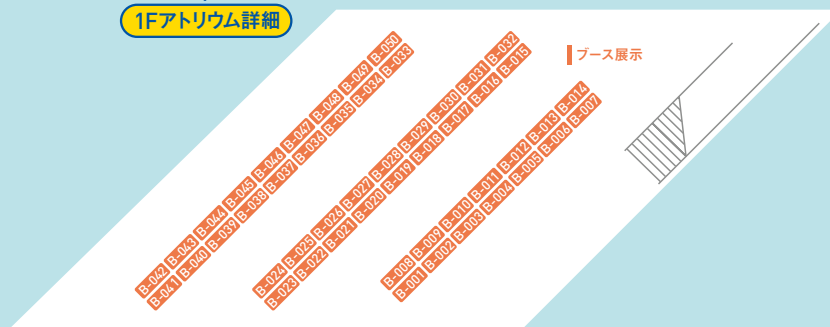


エースパック未来中心

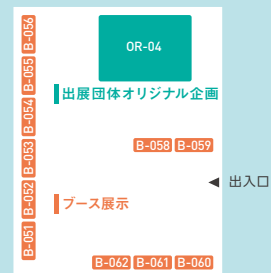
1F



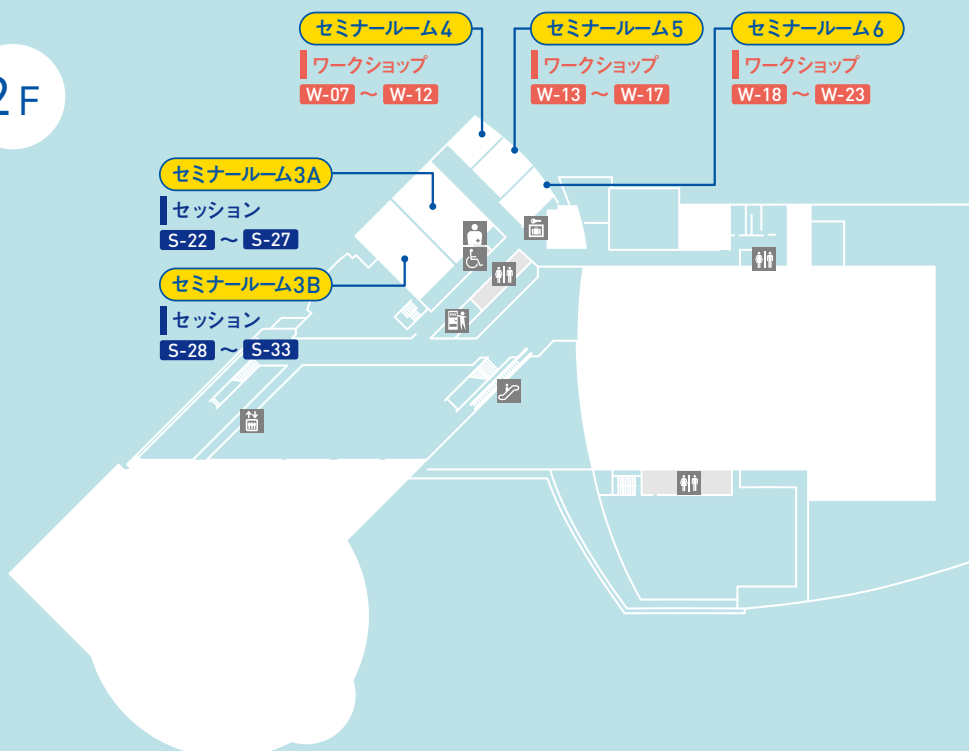
1Fアトリウム詳細



1Fリハーサル室詳細



2F



鳥取県立美術館

1F

スタジオ1

ワークショップ
W-24 ~ W-29

スタジオ2

ワークショップ
W-30 ~ W-34 W-41

スタジオ3

ワークショップ
W-35 ~ W-40

ホール

セッション
S-34 ~ S-39

ひろま

ブース展示
B-057 B-063 ~ B-104 B-219
出展団体オリジナル企画
OR-06

県民ギャラリー

ブース展示
B-105 ~ B-149

パネル展示
P-01 ~ P-07

出展団体オリジナル企画

OR-07

総合受付案内

1F県民ギャラリー詳細

B-141 B-142 B-143 B-144 B-145 B-146 B-147 B-148 B-149

ブース展示

OR-07

B-140 B-139 B-138 B-137 B-136 B-135 B-134 B-133
B-125 B-126 B-127 B-128 B-129 B-130 B-131 B-132

出展団体
オリジナル企画

B-124 B-123 B-122 B-121 B-120 B-119 B-118 B-117 B-116 B-115
B-105 B-106 B-107 B-108 B-109 B-110 B-111 B-112 B-113 B-114

パネル展示

P-01 P-02 P-03 P-04 P-05 P-06 P-07

出入口

1Fひろま詳細

B-063 B-064 B-065 B-066 B-067 B-068 B-069

ブース展示

B-091 B-081 B-080 B-079 B-078 B-077 B-076 B-075 B-074 B-073 B-072 B-071 B-070
B-092 B-082 B-083 B-084 B-085 B-086 B-087 B-088 B-089 B-090 B-057 B-219 B-093

OR-06
出展団体
オリジナル企画

B-104 B-103 B-102 B-101 B-100 B-099 B-098 B-097 B-096 B-095 B-094

出入口

出入口

2F

コレクションギャラリー1,2

ブース展示
B-150 ~ B-193

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

吹き抜け

ギャラリー通路

パネル展示
P-08 ~ P-50

2Fギャラリー通路詳細

パネル展示 P-16 P-17 P-18 P-19 P-20 P-21 P-22

吹き抜け

出入口

2Fコレクションギャラリー詳細

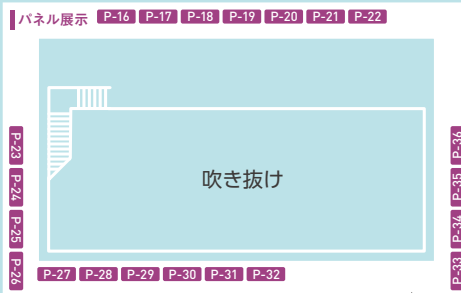
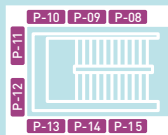
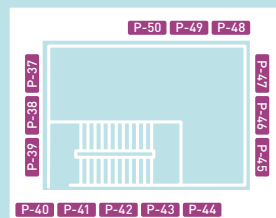
B-193 B-192 B-191 B-190 B-189 B-188 B-187 B-186 B-185 B-184 B-183 B-182 B-181

ブース展示

B-170 B-171 B-172 B-173 B-174 B-175 B-176 B-177 B-178 B-179 B-180
B-169 B-168 B-167 B-166 B-165 B-164 B-163 B-162 B-161 B-160 B-159

出入口

出入口



- 出入口
- トイレ
- 授乳室
- バリアフリートイレ
- コインロッカー
- オストメイト対応
- 自動販売機
- ショップ
- エスカレーター
- レストラン・喫茶
- エレベーター

S
S0 セッション
P16 オンライン・セッション
P23

W
ワークショップ
P26

B
ブース展示
P29
オンライン・ブース展示
P39

P
パネル展示
P39

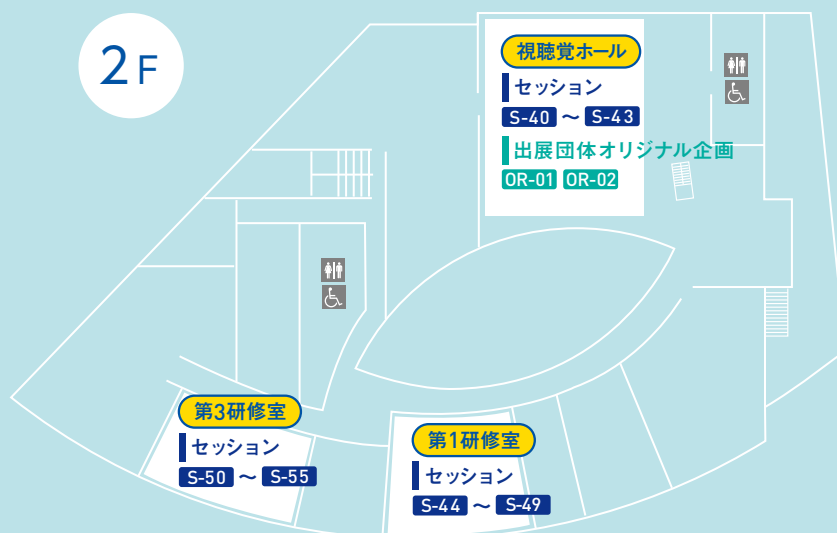
OT
屋外テント展示
P42

OC
屋外車両展示
P44

OR
出展団体オリジナル企画
P46

倉吉交流プラザ

2F



第1駐車場

屋外テント展示
OT-01 ~ OT-23

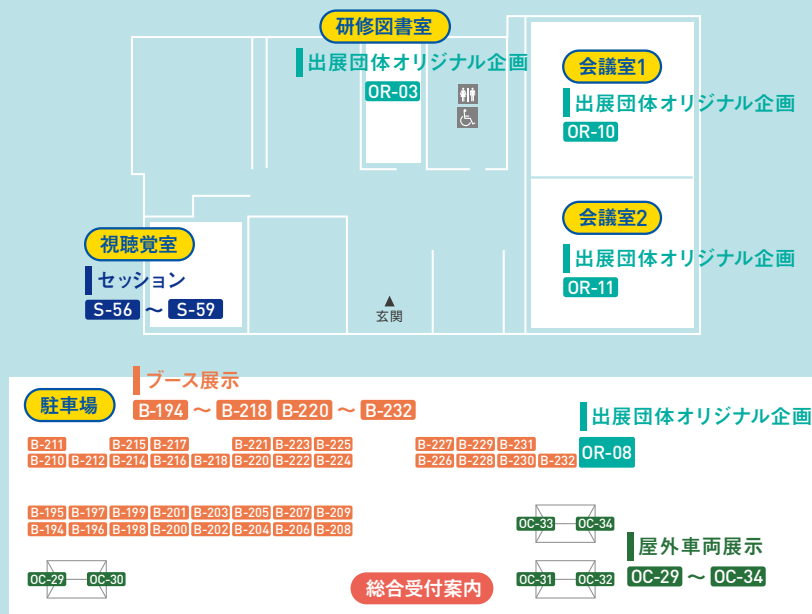
屋外車両展示
OC-01 ~ OC-20

OC-01 OC-02 OC-03 OC-04 OC-05 OC-06 OC-07 OC-08 OC-09 OC-10

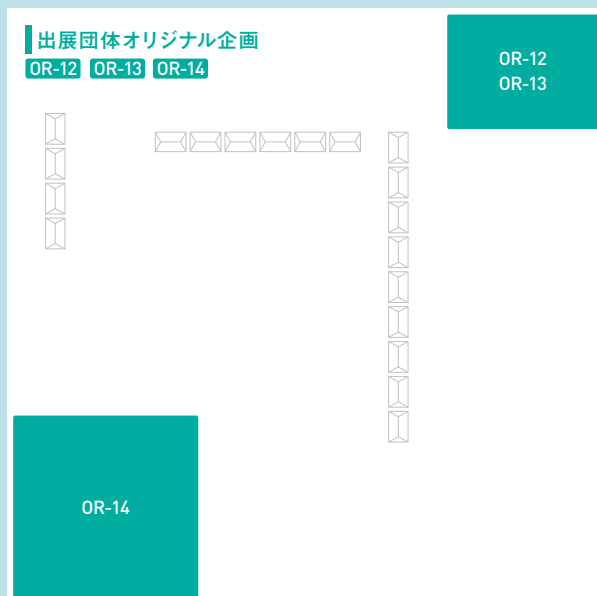
OC-11 OC-12 OC-13 OC-14 OC-15 OC-16 OC-17 OC-18 OC-19 OC-20

OT-01 OT-02 OT-03 OT-04 OT-05 OT-06 OT-07 OT-08 OT-09 OT-10 OT-11 OT-12 OT-13 OT-14 OT-15 OT-16 OT-17 OT-18 OT-19 OT-20 OT-21 OT-22 OT-23

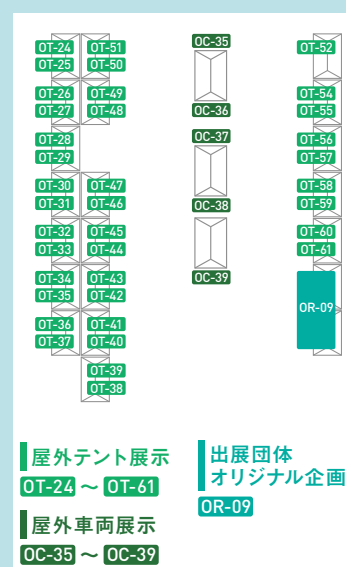
上灘コミュニティセンター



大御堂廃寺跡・第5駐車場



上灘中央公園



- 出入口
- トイレ
- 授乳室
- バリアフリートイレ
- コインロッカー
- オストメイト対応
- 自動販売機
- ショップ
- エスカレーター
- レストラン・喫茶
- エレベーター

S
S0 セッション P16
オンライン・セッション P23

W
ワークショップ P26

B
ブース展示 P29
オンライン・ブース展示 P39

P
パネル展示 P39

OT
屋外テント展示 P42

OC
屋外車両展示 P44

OR
出展団体オリジナル企画 P46

10/17^土

セッション

このマークのあるプログラムはオンライン配信します。詳細は WEB の各プログラムページをご確認ください。

建物	階	部屋	10:30 ~ 11:30	12:00 ~ 13:30	14:30 ~ 16:00	16:30 ~ 18:00
エースバック未来中心	1F	大ホール	S-01 オープニングセッション 内閣府 	S-02 ハイレベルセッション 内閣官房防災庁設置準備室  12:30 ~ 14:00	S-03 担い手は、わたし ～女性の視点を一人一人に～ 内閣府防災担当（政策調整担当）、 内閣府男女共同参画局 	S-04 地区防災計画フォーラム： 地区防災計画制度 12 年の成果と展望 ～「つくる」から「活かす」へ、 地区防災計画の新たなステージ～ 内閣府（防災担当） 
		小ホール		S-09 「暮らしの中の防災」 ～フェーズフリーに貢献する パイオニア企業～ 鳥取県総合統括課 	S-10 いわて三陸における防災学習の取組 ～東日本大震災津波からの教訓を 次の世代へつなぐ～ 三陸復興協議会 	S-11 支え愛マップから広がる、 地域のつながり 鳥取県社会福祉協議会
		セミナールーム1		S-16 地域防災を支える ファシリテーター育成への挑戦 ～防災士の活躍を目指して～ 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災研究領域 	S-17 保健師と連携した「防災コミュニケーション」 により命を救う！～公衆衛生の知見による 行動変容と一次予防の社会実装～ 東北大学災害科学国際研究所 	S-18 学生による防災プロダクト開発と自助・共助 ～情報工学の視点と防災の専門知から～ CityRiskView × SonaBase 防災プロジェクト 
	2F	セミナールーム3A		S-22 新総合防災情報システム (SOBO-WEB) ハッカソン2026 内閣府（防災デジタル・物資支援担当）	S-23 フェーズフリーな地域防災の 仕組みづくりに向けて NTT 東日本 防災研究所	S-24 多様な住民が参画する地域防災につながった 「モデル事業」の紹介 一般社団法人男女共同参画地域みらいネット
		セミナールーム3B		S-28 「木造応急仮設住宅だから出来る事 ～快適な住空間を被災地に届けたい」 —— 地域の工務店と大工職人の 全国ネットワークで支える 災害対応の現場と取り組みについて 一般社団法人 全国木造建設事業協会 	S-29 被災地と共に歩む復興 ～能登半島地震の現状から考える～ 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク (JVOAD)	S-30 防災教育を「特殊」から「一般へ」 小さな手から AI まで、全世代で紡ぐ 新しい防災教育 北海道大学病院
鳥取県立美術館	1F	ホール		S-34 「丸ごと支援」15年の軌跡 ～支援から交流へ～ 名古屋市・陸前高田市	S-35 防災はどこまで可能か ～「守る社会」から「選ぶ社会」へ ～ 2030-2050 年のホライズンズキャンが 示すレジリエンスの再設計～ PwC コンサルティング合同会社 	S-36 自然災害による文化財の被災と その対応から考える ～平時からの取り組みと連携～ 独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター
倉吉交流プラザ	2F	視聴覚ホール		S-40 大学校友会ネットワークを活用した 共助モデルについて 自由が丘産能短大校友会 社会貢献事業部	S-41 鳥取県の産官学金ネットワーク構築による 防災減災の推進と自然再生を基盤とした 地域全体の持続可能な発展 三井住友海上火災保険株式会社	S-42 【内閣府・国交省・文科省連携】 地域の記憶を防災の力に変える ～NIPPON 防災資産から広がる学びの輪～ 内閣府・国土交通省 
		第1研修室		S-44 災害対応に資するドローン航路実証と テレマティクスデータ活用 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	S-45 衛星データ×AIで、防災はどう変わる？ 株式会社スペースシフト	S-46 災害に強いまちの実現に向けて ～オフグリッドで高める 「コミュニティ・レジリエンス」～ 金沢大学 
		第3研修室		S-50 「インフラ中心の防災」から 「生活・尊厳・多様性を確保する防災」への 転換～女性防災リーダーを核とした 防災のアップデート～ ジャパン女性防災リーダーの会 	S-51 熊本で見た課題、鳥取で進む実装 ～避難所の空気環境と首長の判断 株式会社エアドッグジャパン	S-52 「一人ひとりにより添った」 生活再生を目指す ～鳥取県の災害ケースマネジメントの取組～ 鳥取県災害ケースマネジメント協議会
上瀬コミュニティセンター	1F	視聴覚室		S-56 災害復興と法制度の未来を語る ～防災庁設置と求められる人材育成～ 災害復興法理論研究会 	S-57 学生が参画する活動！怖くない防災＝ お菓子を使った防災講座 一般社団法人おいしい防災塾	S-58 伝えるだけで、守れるか。 経験を、命を守る力に変える。 ソナエル食堂プロジェクト

このマークのあるプログラムはオンライン配信します。詳細は WEB の各プログラムページをご確認ください。

セッションオンライン

18:15 ~ 19:30	12:30 ~ 14:00	14:30 ~ 16:00	16:30 ~ 18:00
	S0-02 災害と技術 新災害連携スタイル - 新しい医療のカタチ - 一般社団法人 DroneAI 技術研究機構 (Drone AI) 	S0-01 避難とペット - HArmony 活動 ペット防災で大切なこと - Human Being と Animals の共生が HArmony 活動 です WPP グループ Japan Pet Press 	S0-12 防災分野へのドローン利用の最前線 一般社団法人日本ドローンコンソーシアム 
S-12 大交流会 TEAM 防災ジャパン・内閣府	S0-03 「その避難所、本当に“誰でも”入れますか？ — 能登の現場から見た課題とこれから」 ののいちにゃんこのうち 	S0-09 DX 防災教育と事業者の 共助防災ネットワーク NPO 法人 CESA・NPO 法人持続可能管理協会 	S0-19 災害伝承ミュージアム・セッション 2026: 共通する願いと、達成のための連携・共助 日本災害伝承ミュージアム・ネットワーク 
	S0-08 地域における災害対応力をどう高めるか (一社) 防災学術連携体+日本学術会議 	S0-10 地域医療情報連携ネットワーク ~災害医療における活用について~ 公益社団法人日本医師会 	S0-21 災害支援における AI の活用 災害支援 DX イニシアティブ 
	S0-15 【事業継続 (BC) 普及セミナー】 ~全国・地域の事業継続の 取り組みの推進~ 特定非営利活動法人事業継続推進機構 	S0-13 いのちを守る@ DIGI ぼうさい村の 防災 CAMP 一般社団法人いのちを守る at プロジェクト JAPAN 	
	S0-20 平時の賑わいが、有事の支えになる — 鳥取県北栄町と日本オフサイト建築協 会が描くフェーズフリー復興モデル 一般社団法人日本オフサイト建築協会 	S0-14 市民社会視点で見た「仙台防災枠組」の 今とこれから ~草の根の BOSAI 実践で築く セーフティネット~ 防災・減災日本 CSO ネットワーク (JCC-DRR) 	
	S0-22 災害伝承セッション 2026 「100 年後の共感へ」 災害伝承セッション連絡協議会 	S0-16 【事業継続・レジリエンス向上セミナー】 ~熊本地震の現地状況を踏まえた レジリエンス向上に向けた取り組み 第二弾~ 特定非営利活動法人レジリエンス強化機構 	
		S0-17 ぼうさいこくたい 2025 in 新潟を契機とした 産官学民プラットフォーム構築 ぼうさいこくたい 2025 in 新潟 「にいがた防災交流プラットフォーム」 	

オンライン
※詳しくは WEB をご覧ください。

S
S0
セッション
P16
オンライン・セッション
P23

W
ワークショップ
P26

B
ブース展示
P29
オンライン・ブース展示
P39

P
パネル展示
P39

OT
屋外テント展示
P42

OC
屋外車両展示
P44

OR
出展団体オリジナル企画
P46

10/18 日

セッション

このマークのあるプログラムはオンライン配信します。詳細は WEB の各プログラムページをご確認ください。

建物	階	部屋	10:30 ~ 12:00	12:30 ~ 14:00	14:30 ~ 16:00	16:30 ~ 17:30
エースバック未来中心	1F	大ホール	S-05 『鳥取県中部地震から 10 年』 被災からの復興・福興・福高 ～「支え愛」が紡いだ希望と未来～ 鳥取県 	S-06 あの日から 10 年 ～防災教育と災害伝承を 倉吉で考えませんか～ 防災教育チャレンジプラン実行委員会 	S-07 アップデート!コミュニティ防災教育 ～地域から学ぶ防災のあり方～ 内閣府防災担当 (普及・防災教育・NPO ボランティア連携担当) 	S-08 クロージング セッション 内閣府 
		小ホール	S-13 過疎地の震災と復興教育 防災教育学会 	S-14 鳥取の地震を、いま考える。 ～備えよう、zero to One へ～ 一般社団法人 日本損害保険協会 	S-15 災害中間支援組織の機能を地域の力に 官民で考える被災者支援の ネットワークとリソース 内閣府防災担当 (普及・防災教育・NPO ボランティア連携担当) 	
		セミナー ルーム 1	S-19 災害現場から見た AI 防災の現在地と創るべき未来像 第 1 部：直近の災害から見る、 災害対応のリアルと AI の現在地 第 2 部：これから AI は防災にどう使われるべきか 一人・社会・行動変容を考える AI 防災協議会 	S-20 【自治体・当事者・支援団体の連携】 「伝わらない」をなくす情報支援 ～鳥取県の取組と登壇の実践に学ぶ～ 株式会社プラスヴォイス 	S-21 災害時の広域応援の取組 関西広域連合広域防災局 	
	2F	セミナー ルーム 3A	S-25 官民連携が加速させる、 生活者の事前防災 レジリエントライフプロジェクト 	S-26 みんなで参加する災害ボランティアセンターと ささえあいセンター 全国社会福祉協議会 	S-27 災害関連死を防ぐために、 地域でできること ～避難生活における「健康二次被害」を 防ぐ健康防災の地域実装～ 一般社団法人 生涯健康社会推進機構 	
		セミナー ルーム 3B	S-31 医療的ケア児の災害対策を 「本気で」考える 鳥取大学医学部 脳神経小児科学 	S-32 助け合い・繋がり合いのコミュニティ ー福島から全国へー 福島大学地域未来デザインセンター 	S-33 特別支援学校を福祉避難所とするための 機能と役割 ー具体化に向けた課題と展望ー 特別支援学校の災害対策を考える facebook グループ 	
鳥取県立美術館	1F	ホール	S-37 鳥取の地震、分かっていること、 分からないこと＝ みなさんの疑問にお答えします 公益社団法人日本地震学会 	S-38 日本の産業を守る中部地域の挑戦 ～地域の力を結集した 産学官民連携の取組と課題～ あいち・なごや強靱化共創センター 	S-39 能登半島地震、熊本地震を踏まえた 被災者支援のためのデジタル活用 ～広域避難・在宅避難等にも対応する 防災 DX の方向性～ 公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 	
倉吉交流プラザ	2F	視聴覚 ホール			S-43 高齢化・過疎化する地域における 消防団の担い手確保 公益財団法人日本消防協会 	
		第 1 研修室	S-47 未来を担う「キッズ防災士」 ー教育から地域実践へつなぐ 防災力向上モデルー 一般社団法人ひろしま防災減災支援協会 	S-48 普段の活動を活かしたつながりで、 災害時にもとり残される人がいない地域へ 鳥取県災害中間支援組織 (とっとり災害支援ネットワーク とりもっち) 	S-49 災害対応を支える人材の育成 ～これまでの教訓をどう活かすか～ 一般社団法人 地域安全学会 実務者企画委員会 	
		第 3 研修室	S-53 全国学生防災フォーラム～ 『横のつながりづくり』公開作戦会議～ 全国学生防災ネットワーク、TEAM 防災ジャパン 	S-54 分散した防災情報をつなぎ、 止まらないインフラを！ ～平時と災害時をつなぐ「HLMap (Hyper Layered Map / 旧称 SVGMap)」～ 一般社団法人 WebDINO Japan 	S-55 地域内外の多様な協働・連携で取り組む 「助け・助けられる」地域づくり 日野ボランティア・ネットワーク 	
上瀬コミュニ ティ センター	1F	視聴 覚室	S-59 地域共助と防災 DX で支える避難所運営 ー「災救マップ」による平時から 災害時までの支え合いの見える化ー 一般社団法人地域情報共創センター 			

このマークのあるプログラムはオンライン配信します。詳細は WEBの各プログラムページをご確認ください。

セッションオンライン

	10:30 ~ 12:00	12:30 ~ 14:00	14:30 ~ 16:00
オンライン ※詳しくはWEBをご覧ください。	S0-04 災害関連死とは何か ～当事者の声から実態を正しく把握する～ 災害関連死を考える会	S0-05 「人口減少時代の地域防災」 ～防災 DX で命と暮らしを どのように支えるか～ 防災減災連携研究ハブ (JHoP)	S0-23 中高生の視点から考える 防災についての発表 NSF PROJECTs
	S0-07 命を守る雪の防災 第2弾 たまさか大雪に備える 日本雪工学会	S0-11 官民連携による災害時の偽誤情報対策 ― 鳥取県の実災害対応から学ぶ「情報の防災」 株式会社 Spectee	S0-06 令和8年度災害廃棄物対策推進シンポジウム 「ともに備え、ともに支える災害廃棄物対策」 環境省
		S0-18 地域防災力の向上を目指した リモートセンシングからのアプローチ 一般社団法人 日本リモートセンシング学会	

出展団体オリジナル企画

10/17(土) 18(日)

場所	10:00 ~ 15:00
【サテライト】 鳥取看護大学・ 鳥取短期大学 体育館 および かんとりい☆ホール	OR-15 「もしも」に備えるチカラ展 ～学生×共助防災～ 鳥取看護大学・鳥取短期大学 シグナス彩

10/18(日)

			10:30 ~ 12:00	12:30 ~ 14:00
倉吉交流プラザ	2F	視聴覚ホール	OR-01 防災コレクション in 鳥取 ―防災の外にいる人を巻き込む、私たちの実践― 防災コレクション委員会	OR-02 ～防災を、いつもと違う角度で～ 防災ドキュメンタリー映画「君とそなえる妖怪は」 上映&出演者トークセッション 名古屋市港防災センター・ 妖怪防災ドキュメンタリー映画製作委員会
上瀬コミュニティセンター	1F	研修図書室	OR-03 【災害時の子ども支援を体感し、考える！】 子どもの日常性を回復するために必要な取り組み紹介 災害時の子ども支援ネットワーク	

10/17^土

ワークショップ

このマークのあるプログラムはオンライン配信します。詳細は WEB の各プログラムページをご確認ください。

建物	階	部屋	12:30 ～ 14:00	14:30 ～ 16:00	16:30 ～ 18:00
エースバック未来中心	1F	セミナー ルーム2	W-01 世界の子どもたちのいのちを守る！ ぼうさい NURIE トーク&ワークショップ!! オンライン防災	W-02 「ふくしま」から学ぶ原子力防災 もしもの備え 福島県立医科大学 / ふくしま放射線防災士ラボ	W-03 「やられる訓練」が「やりたくなる訓練」に 変わるヒント ーチームビルディングとしての防災ー 慶應義塾大学 大木聖子研究室
	2F	セミナー ルーム4	W-07 全国防災関係人口ミートアップ 全国防災関係人口ミートアップ 	W-08 企業と地域を守る BCP 普及啓発セミナー 鳥取県商工労働部商工政策課	W-09 赤十字防災セミナー 「大雨・台風の避難スイッチ」 日本赤十字社
		セミナー ルーム5	W-13 遊んで学ぶ! 家族でチャレンジ マイクラで洪水避難体験 SIP「スマート防災ネットワークの構築」 	W-14 医療的ケア児等災害対策研修会 日本小児神経学会災害対策委員会	W-15 地図からわかる鳥取の自然災害 ー古地図で読み解く災害リスクと ハザードマップ作成支援ー 特定非営利活動法人 地図で防災・まちづくりサポート
		セミナー ルーム6	W-18 どちらに逃げる? 避難経路の危険が見える スマートハザードマップ体験会 スマートハザードマップ協働研究体 (愛媛大学・徳島大学・麗澤大学・摂南大学・ 大阪電気通信大学・防災科学技術研究所) 	W-19 ちようふ防災スクラム——インクルーシブ防災 とコミュニティ防災が目指すその先へ リソース・ネット&ちようふ災害福祉ネットワーク 	W-20 【はち公と一緒に防災音頭を踊ろう!】 (曲は 185 カ国配信) ～音楽で心と体を守る共助型防災教育～ 避難所レジリエンスプログラム はち公防災教育プロジェクト 
鳥取県立美術館	1F	スタジオ 1	W-24 再現! 避難所のトイレ エンジェルランプ	W-25 発達障害等『災害弱者』の防災を考える ～防災サポートブック作りを中心に～ 困り感を抱える子を支援する親の会 / らっきょうの花	W-26 クロスロードでつなぐ ー神戸、新潟、仙台、熊本: 伝えてきたこと、 そして次へー 全国クロスロードネットワーク会議
		スタジオ 2	W-30 みんなで考えよう「伝わる防災」 若者防災協議会	W-41 ぼうさいオオギリ 大阪大学大学院工学研究科 倉敷研究室; 一般社団法人予防団	W-31 地域の多様なひとびとと遊びながら考える 『災害ケースマネジメント』すごろく 災害ケースマネジメント すごろく作成プロジェクト@ CoAct 
		スタジオ 3	W-35 コミュニティダイニング全国会議発足! セントラルキッチン方式とコミュニティダイニング とがつなぐレジリエンスな未来～防災が育む、 企業と地域のあたらしいカタチ～ コミュニティダイニング全国会議	W-36 こどもと女性目線で 誰一人取り残さない災害対応 ～多様性に配慮できる避難所運営～ 一般社団法人こども女性ネット東海	W-37 災害後の“住まいのこまりごと”から考える 応急仮設住宅 一般社団法人プレハブ建築協会

10/18日

ワークショップ

このマークのあるプログラムはオンライン配信します。詳細は WEB の各プログラムページをご確認ください。

建物	階	部屋	10:30 ~ 12:00	12:30 ~ 14:00	14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心	1F	セミナールーム2	W-04 Let's Connect! 食と防災の輪 ～食の防災の大切さを 各地の実践事例から学ぼう!～ くらしの学びサポートオフィス HumanBeing	W-05 「どこでも地震体験マット YURETA」を活用した “ゆれ体験”で「本当のあぶないに気づこう!」 日本防災士会 鳥取県支部	W-06 きみはなにを? 災害時の行動シミュレーションにトライ! 東北大学減災教育「結」プロジェクト
	2F	セミナールーム4	W-10 「20分でオリジナル防災実施案を作る」 ～防災映画から「減災」「地域づくり」のテーマ を選び、携帯のAIで地域・学校に合う 防災案をこの場で作成～ 東京 AI 防災映画祭 実行委員会 (ボランティア地域防災コミュニティ)	W-11 妊産婦さん、ちいさなお子さんと ご家族のための災害対策 公益社団法人 日本助産師会	W-12 大学生が考える避難所運営の在り方 静岡大学学生防災ネットワーク
		セミナールーム5	W-16 FCP (家族継続計画) 推進運動 公益社団法人 日本青年会議所	W-17 鳥取市の防災関係機関が考えた 「鳥取市版非常持ち出し品リスト」で 非常持出袋作成ゲームに挑戦しよう! 鳥取市 (鳥取市防災関係機関共同チーム)	
		セミナールーム6	W-21 ぼうさい学んで話彩や (はなさいや) ～「今こそもっと、避難生活に安全・安心を!!」 ともに考えよう! 被災地の女性の声にも学びながら～ 鳥取県男女協働未来創造本部	W-22 災害時に命を守る DMAT とは? - 体験とクイズで知る災害時の医療支援 一般社団法人 日本災害医学会	W-23 ぼうさいクイズと工作で学ぼう! 楽しもう! 防災専門図書館 (公益社団法人 全国市有物件災害共済会)
鳥取県立美術館	1F	スタジオ1	W-27 災害時 命と生活を繋ぐ、リヤカー 高齢社会をよくする会くらよし	W-28 絵本と玩具で避難所の〈遊び〉をデザインする 鳥根県立大学子どもの居場所づくりチーム	W-29 避難所 DX とファイナンスで 「新しい共助」を創生する 青森大学東京キャンパス
		スタジオ2	W-32 「やさしい日本語」でつながる防災! ～かるた・クイズで学ぶ共助のカたち～ 公益財団法人 鳥取県国際交流財団	W-33 能登半島地震の経験から考える、 住民と行政がデジタルで備える被災者支援 ～避難所外の被災者を把握し、 支援につなぐには～ 一般社団法人 GovCare Technologies	W-34 HIRAQ(ヒラク)で育てる「考える防災者」 ～災害時に命を守る判断力を学ぶ～ 山陰 MSA FAC (Future Agent Club)
		スタジオ3	W-38 親子で一緒に! 子どもと親をつなぐ パラコード・ロープ編み体験 とっとり若者活躍局	W-39 0次防災グッズ×防災クロスロード ～頻発する豪雨・土砂災害に備える～ 学校法人鶴学園 広島工業大学 地域防災減災教育研究推進センター / 学生防災士会	W-40 鳥取県を冒険しながら学ぼう! 「天気予報クエスト」 株式会社 南気象予報士事務所

ワークショップオンライン 10/18日

	14:30 ~ 16:00
オンライン ※詳しくはWEBをご覧ください。	WO-01 災害時における授乳アセスメント(聞き取り)を 体験しよう 母と子の育児支援ネットワーク

S
SO
セッション
P16
「オンライン・セッション」
P23

W
ワークショップ
P26

B
ブース展示
P29
「オンライン・ブース展示」
P39

P
パネル展示
P39

OT
屋外テント展示
P42

OC
屋外車両展示
P44

OR
出展団体オリジナル企画
P46

セッション

S-01 17 (土) 10:30 ~ 11:30
エースバック未来中心 1F 大ホール

一般向け

オープニングセッション

主催団体：内閣府

- 関係者挨拶
内閣府防災担当大臣、防災推進国民会議議長、鳥取県知事、倉吉市長
- 出し物
安田大サーカス（芸人）
- 基調講演
香川 敬生 鳥取大学工学部社会システム土木系学科教授
「鳥取県における過去の災害からの復旧、復興の歩みと今後に向けて」



細野 豪志（内閣府防災担当大臣・防災庁設置準備担当大臣）、清家 篤（防災推進国民会議議長）、平井 伸治（鳥取県知事）、広田 一恭（倉吉市長）、安田大サーカス（芸人）、香川 敬生（鳥取大学工学部社会システム土木系学科教授）

S-03 17 (土) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 1F 大ホール

一般向け | 学生向け

担い手は、わたし ~女性の視点を一人一人に~

主催団体：内閣府防災担当（政策調整担当）、内閣府男女共同参画局

各世代で活躍する女性たちの等身大のストーリー、平時の活動や災害時の行動、リーダーシップを発揮するまでの迷いや壁、一人一人の役割、自分らしい防災との関わり方



徳丸 瑞里（鳥取中部ふるさと広域連合消防局消防総務課庶務係 主幹 消防司令補）、神谷 美葵（愛知学泉大学 学生会（学校法人安城学園））、加藤 孝明（東京大学生産技術研究所教授／同社会科学研究所特任教授）、坂下 俊輔（独立行政法人男女共同参画機構（JGEPA：ジェパ） 地域支援課長）、篠崎 由梨（よんなな防災会女子部）

S-05 18 (日) 10:30 ~ 12:00
エースバック未来中心 1F 大ホール

自治体向け | 一般向け

『鳥取県中部地震から10年』被災からの復興・福興・福高 ~「支え愛」が紡いだ希望と未来~

主催団体：鳥取県

鳥取県中部地震は広範囲にわたって大きな被害をもたらし、県民生活や地域の営みに大きな影を落としました。そうした中、人口最少の鳥取県の強みである顔の見える関係性、地域内外の「絆」の力（支え愛）が、発災直後からの迅速な被災者支援、生活再建、そして地域の復興・発展へと繋がりました。セッションでは、絆の視点で被災から10年の歩みを多様な立場から振り返り、誰一人取り残さない防災の在り方について考えます。



平井 伸治（鳥取県知事）、室崎 益輝（神戸大学名誉教授・減災環境デザイン室顧問）、白鳥 孝太（鳥取県災害福祉支援センター 災害支援専門官）、清水 雅文（（一社）全日本瓦工事業連盟 理事長、総務委員長、（一社）全日本瓦工事業連盟 中国ブロック長、鳥取県瓦工事業組合 理事長、鳥取県インテリア事業協同組合 副理事長、非営利活動法人NPOサカズキネット（まちづくりNPO） 理事長、非営利活動法人NPO創造（精神障害者就労施設） 理事長）、林原 香里（社会福祉法人倉吉市社会福祉協議会 地域福祉課 課長）、福井 恒美（倉吉ビール 代表取締役社長）

S-07 18 (日) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 1F 大ホール

自治体向け | 一般向け

アップデート！コミュニティ防災教育 ~地域から学ぶ防災のあり方~

主催団体：内閣府防災担当（普及・防災教育・NPO ボランティア連携担当）

コミュニティ防災教育実践活動に取り組む全国各地の地域から事例報告を行った上で、コミュニティ防災教育を実践してみようと思ったきっかけづくりや、地域の行政や学校、企業を巻き込んだ地域全体の防災教育実践活動を実施するには何が必要かについて、有識者のコーディネートにより、来場者の皆様と共に考え、全国に発信します。



木村 玲欧（兵庫県立大学 環境人間学部・大学院環境人間学研究所 教授）、福浦ギャルズ、NPO法人Mama's Cafe、コミュニティ防災教育くまもと推進協議会、姫路市政 策局 危機管理室、輪島市教育委員会

S-02 17 (土) 12:00 ~ 13:30
エースバック未来中心 1F 大ホール

企業向け | 自治体向け | 一般向け

ハイレベルセッション

主催団体：内閣官房防災庁設置準備室

新たに発足する国の組織「防災庁」。その設置により、我が国の防災はどう変わるのか、産官学民それぞれの立場から多角的に議論します。内閣官房防災庁設置準備室による基調講演に続き、行政・民間企業・NPOなどの視点でクロストークを展開し、立場を越えた連携や情報発信の強化について語り合い、会場からの質問も交えながら、大規模な自然災害に立ち向かうためにどのような備えをすればよいのか、一緒に考える機会にします。



長橋 和久（内閣官房防災庁設置準備室室長代理）、福和 伸夫（名古屋大学名誉教授）、遠藤 俊樹（鳥取県政策統轄監）、吉川 仁彦（倉吉市副市長）、長谷川 知子（日本経済団体連合会専務理事）、清家 篤（日本赤十字社社長）、阪本 真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）

S-04 17 (土) 16:30 ~ 18:00
エースバック未来中心 1F 大ホール

自治体向け | 一般向け

地区防災計画フォーラム：地区防災計画制度12年の成果と展望 ~「つくる」から「活かす」へ、地区防災計画の新たなステージ~

主催団体：内閣府（防災担当）

制度の創設から12年、地区防災計画の策定とその実践については、今や全国的な広がりを見せています。一方、高齢化や人口減少、担い手の不足、多様化する住民ニーズ等、新たな課題も顕在化しつつあります。本セッションでは、地区防災計画の実践と継続、コミュニティの再生、福祉防災などの観点からの有識者による提案・提言をもとに、地区防災計画を「活かす」ための方策と、今後の「進化」の方向性について議論します。



加藤 孝明（東京大学生産技術研究所教授）、生田 英輔（大阪公立大学都市科学・防災研究センター教授）、磯打 千雅子（香川大学IECMS地域強靱化研究センター准教授）、鍵屋 一（跡見学園女子大学観光コミュニティ学部まちづくり学科教授）、澤田 雅浩（兵庫県立大学減災復興政策研究科准教授）、湯井 恵美子（（一社）福祉防災コミュニティ協会 理事・福祉防災上級コーチ）

S-06 18 (日) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 1F 大ホール

企業向け | 一般向け

あの日から10年 ~防災教育と災害伝承を倉吉で考えませんか~

主催団体：防災教育チャレンジプラン実行委員会

防災教育と災害伝承について、有識者による基調講演・事例発表を行うほか、「災害伝承をどう自分事での防災教育へ変換するか」をテーマとしたパネルディスカッションを通して、防災教育に取り組む専門家、関連省庁、学校・地域・団体・企業、会場参加者等との意見交換を行うことにより、今後の防災教育の普及推進に向けた検討課題の共有化を図り、社会の防災力向上に寄与する。



佐藤 翔輔（東北大学災害科学国際研究所 准教授）、中村 秀司（鳥取県立岩美高等学校 教頭）、木村 玲欧（兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学研究所 教授、防災教育チャレンジプラン実行委員会 委員長）、機島 浩恵（出張！ふれあいルーム代表・看護師・介護支援専門員・救急救命士・防災士）、木下 史子（文部科学省総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官）、松木 伸江（神戸学院大学 現代社会学部社会防災学科 教授）

S-08 18 (日) 16:30 ~ 17:30
エースバック未来中心 1F 大ホール

専門向け（学術界） | 自治体向け

クロージングセッション

主催団体：内閣府

- 動画「ぼうさいこくたい2026振り返り」（大会ダイジェスト映像）
- 特別企画「鳥取から未来へ向かって」（「ぼうさいこくたい2026in鳥取」高校生活動推進委員会）
- 大会総括・関係者挨拶
日本消防協会理事長、防災推進協議会運営委員会委員長・日本損害保険協会業務企画部長、次回開催県知事、内閣府



阪本 真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）、ぼうさいこくたい2026 in鳥取 高校生活動推進委員会、香川 敬生（鳥取大学工学部社会システム土木系学科教授）、BLOOM WORKS（防災音楽ユニット）

S-09

17 (土) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 1F 小ホール

自治体向け | 一般向け

「暮らしの中の防災」
～フェーズフリーに貢献するパイオニア企業～

主催団体：鳥取県総合統括課

災害はいつ誰の身に降りかかるかわからない。一方で日々は生活に追われ、日常的に防災を意識し、備えることは難しい。日々の暮らしの中に溶け込み、無理なく災害に備える「フェーズフリー」の観点から、先駆的な取組を行う企業に登壇いただき、事例紹介や今後の展望等の発信を通じて来場者の「もしもの時」の防災力・対応力の向上につなげます。



辰野 勇 (株式会社モンベル 代表取締役会長兼CEO)、清水 智 (株式会社良品計画 代表取締役社長)

S-11

17 (土) 16:30 ~ 18:00
エースバック未来中心 1F 小ホール

自治体向け | 一般向け

支え愛マップから広がる、地域のつながり

主催団体：鳥取県社会福祉協議会

鳥取県で取り組む「支え愛マップ」について、地域での実践事例を紹介するとともに、仮想の人物や災害想定を用いた支え愛マップづくりを参加者の皆さんにも体験いただきます。日頃の見守りやつながりが災害時の支え合いにつながることを話し合う大切さを一緒に考えます。

福田 浩一(米子市 三柳地区2区自主防災会 統括防災部長、消防庁委嘱「防災意識向上プロジェクト語り部」、鳥取県登録「鳥取県自主防災活動アドバイザー」、民生児童委員「加茂地区 民生児童委員協議会 会長」)、米田 清隆(倉吉市 若土自治公民館 元館長(現在 上小鴨地域づくり協議会 会長))、中田 光紀(鳥取県社会福祉協議会 地域福祉部 主事)

S-13

18 (日) 10:30 ~ 12:00
エースバック未来中心 1F 小ホール

一般向け | 学生向け

過疎地の震災と復興教育

主催団体：防災教育学会

災害時には学校が避難と支援・受援の場となる。人口稠密地での被災と比べ、過疎地では避難者と支援者が日常的に顔の見える関係にあり、より協力・協働した避難所運営が行われやすい。教職員・子どもたち(被災者でもある)と地域住民が避難所運営と学校再開、教育復興にとりくむ姿を中心に置いて、過疎地の被災の課題、学校が避難所となった時に抱える課題、復興教育とふるさと教育の在り方、会場の参加者と一緒に話し合う。

船木 伸江(神戸学院大学現代社会学部社会防災学科 教授 防災教育学会 副会長)、中野元太(京都大学防災研究所巨大災害研究センター 准教授 防災教育学会 副会長)、畠 洋介(石川県立門前高等学校 校長)、安食 匠真(鳥取大学地域学部地域学科地域創造コース 鳥大防災Lab. 3年)、諏訪 清二(防災教育学会 会長)

S-15

18 (日) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 1F 小ホール

自治体向け | 一般向け

災害中間支援組織の機能を地域の力に
官民で考える被災者支援のネットワークとリソース

主催団体：内閣府防災担当(普及・防災教育・NPO ボランティア連携担当)

災害中間支援組織には、行政、社会福祉協議会、NPO、企業等をつなぎ、被災者支援を支える役割が期待されています。本セッションでは、災害中間支援組織各組織の強みや課題、活用できる人材・財源等を整理し、官民それぞれの立場から、地域のリソースを生かした具体的な連携方策を考えます。

S-10

17 (土) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 1F 小ホール

一般向け | 学生向け

いわて三陸における防災学習の取組
～東日本大震災津波からの教訓を次の世代へつなぐ～

主催団体：三陸振興協議会

フィールドワークで岩手県沿岸地域を訪れたことがある大学生を中心に、「東日本大震災津波被災地における防災学習」をテーマとするトークセッションを実施します。被災と復興の過程で得られた教訓に、自然や文化等の地域資源を組み合わせたプログラムを提供する防災学習の先端地域としての岩手三陸の姿を紹介し、復興の先を見据えた「防災で世界とつながる三陸」のあり方を展望します。



杉沼 和也(岩手県立大学防災復興支援センター副センター長/岩手県立大学総合政策学部准教授)、森本 晋也(岩手県立図書館館長/岩手大学地域防災研究センター客員教授)、岩手県立大学防災復興支援センター学生団体 FROM、兵庫県立大学学生災害復興支援団体 LAN、岩手県ふるさと振興部県北・沿岸振興室

S-12

17 (土) 18:15 ~ 19:30
エースバック未来中心 1F 小ホール

企業向け | 一般向け

大交流会

主催団体：TEAM 防災ジャパン・内閣府

TEAM防災ジャパン・内閣府が連携し、ぼうさいこくたい出展団体*同士*の大交流会を開催。

S-14

18 (日) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 1F 小ホール

一般向け

鳥取の地震を、いま考える。～備えよう、zero to Oneへ～

主催団体：一般社団法人 日本損害保険協会

- 基調講演「地域の地震リスクを知り、ただしく恐れ、ただしく備える」
＜講師＞香川敬生氏(鳥取大学教授)
- トークセッション「話そう、鳥取の地震。～備えよう、zero to Oneへ～」
＜登壇者＞藤井貴彦氏(日本テレビ系news zeroキャスター)、中山紗希氏(日本海テレビアナウンサー)、香川敬生氏(鳥取大学教授)、石川耕治氏(日本損害保険協会会長 損害保険ジャパン代表取締役社長)



香川敬生(鳥取大学工学部社会システム土木系学科教授)、藤井貴彦(フリーアナウンサー)、中山紗希(日本海テレビアナウンサー)、石川耕治(日本損害保険協会 会長(損害保険ジャパン 代表取締役社長))

S-16

17 (土) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 1

一般向け

地域防災を支えるファシリテーター育成への挑戦
ー防災士の活躍を目指してー

主催団体：国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災研究領域

全国に約30万人も育成されている防災士が活躍できるように、茨城県防災士会と連携し、各地域の防災士と一緒に、防災支援人材育成プログラムを研究開発している。本プログラムは、地域コミュニティ自らの効果的な防災対策の検討と推進が支援できる「地域防災ファシリテーター」を育成するものである。プログラム紹介をはじめ、防災士が地域防災の現場で抱えている課題とその解決に向けた方向性について意見交換を行う。

井手よしひろ(災害関連の社団法人代表、茨城県防災士会会員)、草間清那(19歳、イベント企画運営、茨城県防災士会会員)、桑野あゆみ(防災介助士、茨城県防災士会会員)、田中香織(社会教育士、茨城県防災士会会員)、長屋和宏(研究員、茨城県防災士会会員)、松崎貴志(消防団、フリースクール理事、茨城県防災士会会員)

S-17

17 (土) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 1

自治体向け | 一般向け

保健師と連携した「防災コミュニケーション」により命を救う！ ～公衆衛生の知見による行動変容と一次予防の社会実装～

主催団体：東北大学災害科学国際研究所

長年の啓蒙にもかかわらず、防災対策が行動に移されない現状を打破するため、東北大学災害科学国際研究所は公衆衛生学の知見を応用した「防災コミュニケーション学」を展開しています。本セッションでは、個人の意欲に頼らず日常の保健活動等の仕組みで備えを促す「防災コミュニケーション協働プラットフォーム」の活動を紹介。多職種連携による行動変容と、災害一次予防（直接死防止）に向けた社会実装を議論します。



福島 洋（東北大学災害科学国際研究所 防災コミュニケーション学分野 教授）、大類 真嗣（東北大学災害科学国際研究所 災害公衆衛生学分野 准教授）、多田 直人（内閣府 政策総括官（防災担当）付 参事官（調査・企画担当））、後藤 友美（厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課 保健指導室長）、澁川 悦子（埼玉県南部保健所 保健予防推進担当 副所長）、小関 華乃子（埼玉県東松山保健所 保健予防推進担当 担当部長）、中野 元太（京都大学防災研究所 准教授）

S-19

18 (日) 10:30 ~ 12:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 1

企業向け | 自治体向け

災害現場から見たAI防災の現在地と創るべき未来像

主催団体：AI 防災協議会

直近の災害対応を振り返り、災害現場におけるAI活用の現在地と課題を整理します。さらに、AIが今後の防災で果たすべき役割や、被災者支援・行動変容への活用、人とAIの関わり方、社会実装の在り方について議論し、これから創るべきAI防災の未来像を考えます。

第1部：直近の災害から見る、災害対応のリアルとAIの現在地

第2部：これからAIは防災にどう使われるべきか — 人・社会・行動変容を考える



臼田 裕一郎（AI防災協議会 理事長）、江口 清貴（AI防災協議会 理事 / 神奈川県CIO兼CDO / 防災DX官民共創協議会 専務理事 / 一般社団法人耐災害デジタルコーディネーションセンター 代表理事）、神原 咲子（AI防災協議会 理事 / 神戸市看護大学 基礎看護学領域 災害看護・国際看護学分野 教授）、執行 正嗣（AI防災協議会 常務理事/株式会社ウェザーニューズ）、村上 建治郎（AI防災協議会 理事 / 株式会社Spectee 代表取締役 CEO）

S-21

18 (日) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 1

自治体向け | 一般向け

災害時の広域応援の取組

主催団体：関西広域連合広域防災局

鳥取県と徳島県の相互応援協定に基づく両県の取組を具体的事例として、課題や学びを共有し、離れた地域同士が連携し、支えあうことの重要性について理解を深めるため、パネルディスカッションを実施します。

池田 頼昭（【パネリスト】関西広域連合 広域防災局長）、井上 淳詞（【パネリスト】総務省自治行政局公務員部公務員課 応援派遣室長）、木山 正一（【パネリスト】鳥取県 危機管理部長兼危機管理政策課長）、佐藤 章仁（【パネリスト】徳島県 危機管理部長）、宇田川 真之（【モデレーター】国立研究開発法人防災科学技術研究所 研究員）

S-23

17 (土) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3A

企業向け | 自治体向け

フェーズフリーな地域防災の仕組みづくりに向けて

主催団体：NTT 東日本 防災研究所

防災が有事のみならず平時の生活や活動の価値向上をもたらす「平時・有事を問わないフェーズフリーな社会を創ること」、「防災をコストから価値に転換すること」が重要だと考えています。その実現に向けたNTT東日本防災研究所の構想や取組を紹介するとともに、関連分野の有識者等を招いて、官民連携で解決すべき課題や共創の方向性について議論します。



笹倉 聡（NTT東日本株式会社 防災研究所 所長 / 緊急通報利用者協議会 副会長 / 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 客員研究員）、船曳 淳（NTT東日本株式会社 防災研究所 次長 / 防災DX官民共創協議会 フェロー）、藤井 進（東北大学災害科学国際研究所 災害医学研究部門長・災害医療情報学分野教授（博士（医学）） / 東北大学病院医療データ活用センター（MDUC）センター長）、日高 雄一郎（スカイビュージャパン株式会社 代表取締役 / 群馬県嬬恋村DX戦略監 / 総務省「経営・財務マネジメント強化事業」DXアドバイザー / 防災DX官民共創協議会 災害対応部会 副部会長）、行司 高博（公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 研究戦略センター 研究調査部長 / 防災DX官民共創協議会 自治体部会長）

S-18

17 (土) 16:30 ~ 18:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 1

自治体向け | 学生向け

学生による防災プロダクト開発と自助・共助 — 情報工学の視点と防災の専門知から —

主催団体：CityRiskView × SonaBase 防災プロジェクト

「被災地へボランティアに行きたいが、避難所の状況が分からない」という実体験から生まれた「CityRiskView」と、家族の防災情報・備蓄情報をまとめる「SonaBase」を紹介し、防災科学技術研究所の臼田裕一郎氏と交え、学生によるプロダクト開発の可能性と、自助・共助・公助を情報でつなぐこれからの防災について議論します。



須藤 拓海（学生）、松岡 愛梨（学生）、臼田 裕一郎（国立研究開発法人防災科学技術研究所 社会防災研究領域長・総合防災情報センター長 / 筑波大学 教授（協働大学院） / AI防災協議会・防災DX官民共創協議会 理事長）

S-20

18 (日) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 1

自治体向け | 一般向け

【自治体・当事者・支援団体の連携】「伝わらない」をなくす 情報支援 ～鳥取県の取組と能登の実践に学ぶ～

主催団体：株式会社プラスヴォイス

20年以上の被災地支援で顕在化した、災害時に「伝わらない」課題。能登半島地震で機能した遠隔通訳の実践から、通訳者不足に陥る状況下での情報支援の在り方を共有する。ICTを活用し、自治体・当事者・支援団体が連携することで実現する、平時からの備えと共助の仕組みを考える。鳥取県の先進的な取組を踏まえ、災害対応の実効性を高める視点で、要配慮者対策として実装できる誰も取り残さない情報支援のあり方を展望する。



鳥取県、戸羽 伸一（公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 理事 / 鳥取県聴覚障がい者センター 統括センター長）、吉岡 真人（石川県聴覚障害者災害救援対策本部長 兼 石川県聴覚障害者協会理事・事務局長）、田中 穂乃香（京都大学防災研究所 矢守研究室（博士課程））、三浦 宏之（株式会社プラスヴォイス 代表取締役）、鬼木 笑（株式会社プラスヴォイス 社長室（司会））

S-22

17 (土) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3A

自治体向け | 一般向け

新総合防災情報システム (SOBO-WEB) ハッカソン2026

主催団体：内閣府（防災デジタル・物資支援担当）

新総合防災情報システム (SOBO-WEB) のハッカソンを開催します。SOBO-WEBは、各機関から集約した情報を地図上で重ね合わせて表示できるシステムです。本ハッカソンでは、この情報を活用した防災ソリューションを募集し、二次選考を通過した提案の最終選考を本セッションで実施します。優秀者には防災担当大臣賞を授与します。

S-24

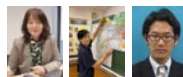
17 (土) 16:30 ~ 18:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3A

自治体向け | 一般向け

多様な住民が参画する地域防災につながった 『モデル事業』の紹介

主催団体：一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと

多様な意見が安心して参画できる地域防災には、固定的な性別役割分担意識の解決と、誰もが意見を出し合える組織づくりが重要です。当法人は青森市や町内会と連携し、主体性を尊重した避難所運営の質の向上に取り組み、第三者関与により相互理解と町内会の意識変容や良好な関係構築が進みました。女性を含む多様な住民が参加しやすい環境に加え、訓練が人材育成と地域の関係構築を同時に進める場につながった本取組を紹介いたします。



小山内世喜子（一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと）、澤田文子（青森市やばぎ町会副町会長）、高橋秀太（青森市総務部危機管理課 主幹）

S-25

18 (日) 10:30 ~ 12:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3A

企業向け | 一般向け

官民連携が加速させる、生活者の事前防災

主催団体：レジリエントライフプロジェクト

政府において防災の中心的役割を担う内閣府防災と、事業活動を通じて多くの生活者と接点をもつ、民間企業中心のコンソーシアム「レジリエントライフプロジェクト」が連携。生活者の「事前防災」を日常に根付かせる新たな官民連携の形を提示する。官民の共通指標の導入や、多様な主体が参画できる共創基盤を通じ、「事前防災」に向けた生活者の確実な意識・行動変容を引き出し、社会に定着させていく具体策に迫る。



立岩 里生太（内閣府（防災）参事官（政策調整担当））、林 春男（京都大学 名誉教授 / レジリエンス株式会社 顧問 / 国立研究開発法人防災科学技術研究所 前理事長）、高津 尚子（日本製紙クレシア株式会社 常務取締役 マーケティング総合企画本部長）、坂東 玲子（読売新聞東京本社「防災ニッポン」編集長）、山口 健太郎（株式会社三菱総合研究所 主席研究員）、吉田 啓一（株式会社博報堂 生活者インターフェースデザインセンター ビジネス開発部 部長 / 事業実装コンサルタント）

S-27

18 (日) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3A

自治体向け | 一般向け

災害関連死を防ぐために、地域でできること～避難生活における「健康二次被害」を防ぐ健康防災の地域実装～

主催団体：一般社団法人 生涯健康社会推進機構

避難生活で見過ごされがちで災害関連死にもつながる健康二次被害を防ぐ、自助・共助を組み合わせた新しい実践モデルを提示。順天堂大学の町田修一教授が、能登半島地震の仮設住宅における高齢者支援事例を基に、長期避難下での健康維持の重要性を解説。専門家監修による手軽な健康ぼうさい体操の体験や「防災健康サポーター」の育成・認定スキームを紹介し、自治体や地域団体がすぐに地域実装できるパッケージを共有する。



町田修一（順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 教授（医学博士））

S-29

17 (土) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3B

企業向け | 自治体向け

被災地と共に歩む復興～能登半島地震の現状から考える～

主催団体：全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）

2024年に起こった能登半島地震から2年半が経ちました。外部支援による支援から地域を中心とした支援に移り変わる中、コミュニティの再建に向けた取り組みが重要になっています。長期に渡る復興期の取り組みについて、能登半島地震で初めて使われた地域コミュニティ再建事業等を通じて「復興」とは何かを考えます。



高橋 峻也（石川県能登半島地震復興・復興推進部生活再建支援課 地域コミュニティ再建グループ 専門員）、村田 明日香（石川県社会福祉協議会・災害福祉支援センター次長、社会福祉士）、長田 雷美（レスキューストックヤード穴水スタッフ）、山下 弘彦（日野ボランティアネットワーク 代表）、神元 幸津江（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク 事業部リーダー）

S-31

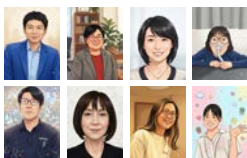
18 (日) 10:30 ~ 12:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3B

自治体向け | 一般向け

医療的ケア児の災害対策を「本気で」考える

主催団体：鳥取大学医学部 脳神経小児科学

鳥取大学医学部 脳神経小児科は5年前から医療的ケア児受け入れ可能福祉避難所プロジェクトを鳥取県とともに進めています。福祉避難所実装だけでなく、医療的ケア児が災害時に安心して生活ができるためには、何が必要で何を整えていかなければならないのかを一緒に考えたいと思い企画しました。今回、県外からの登壇者も含め、医療的ケア児の災害対策を「本気で」考える者が集まり、今後の災害対策を検討します。



前垣 義弘（鳥取大学医学部 脳神経小児科学 教授）、中村 裕子（鳥取大学医学部 脳神経小児科学 助教）、小倉 加恵子（鳥取県福祉保健部 子ども家庭部 参事 監 中部総合事務所 倉吉保健所 所長）、後藤 瑞希（日本福祉大学福祉経営学部（通信教育部）在学中 医療的ケア当事者）、内藤 省二（フィリップス・ジャパン山陰支店 スリープ&レスピラトリーケア事業部 所属）、山田 知子（鳥取県立皆生養護学校 校長）、白神 晃子（立正大学社会福祉学部 准教授）、張野 春菜（NPO法人 災強のすけっと 福島県立医科大学医学部医学科6年）

S-26

18 (日) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3A

企業向け | 一般向け

みんなで参加する災害ボランティアセンターとささえあいセンター

主催団体：全国社会福祉協議会

社協が行う災害ボランティアセンターや地域支え合いセンターは、災害時の共助を進める中核的な役割を担っています。災害時に多くの方に被災者支援にご参加いただけるよう、それぞれの取り組みを紹介します。

S-28

17 (土) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3B

自治体向け | 一般向け

「木造応急仮設住宅だから出来る事ー快適な住空間を被災地に届けたいー」——地域の工務店と大工職人の全国ネットワークで支える災害対応の現場と取り組みについて

主催団体：一般社団法人 全国木造建設事業協会

東日本大震災から能登半島地震まで、全木協が積み重ねてきた応急仮設木造住宅建設の活動と実績を報告する。熊本地震563戸、能登半島地震623戸など、地域工務店・大工職人の全国ネットワークが発災後どのように生かされたか、現場の経験をもとに伝える。また木造仮設住宅ならではの居住性と施工速度の優位性と、全都道府県との協定締結による全国展開の取組も紹介する。



久原 英司（㈱エバーフィールド代表、(一社) JBN・全国工務店協会 副会長、(一社) 全国木造建設事業協会 建設統括本部長）

S-30

17 (土) 16:30 ~ 18:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3B

自治体向け | 一般向け

防災教育を「特殊」から「一般へ」
小さな手からAIまで、全世代で紡ぐ新しい防災教育

主催団体：北海道大学病院

防災教育を「専門家の特殊領域」から、誰もが担える「一般の文化」へ。自助・共助を促す若者のアイデア、配慮が必要なこどもたちの啓発、次世代を担うジュニアリーダーのHUG実践とその判断を支えるAI。これら独立したメソッドを数年後に若者が主導する共助が日本のスタンダードになるための「新しい防災教育手法」として提示します。多世代で命を繋ぐ実働的なアプローチを共有し、日本の新たな防災教育を提案します。



渡邊 理史（高知医療センター 総合周産期母子医療センター副センター長）、高岡 辰雄（鹿児島市立病院 救急救命センター副センター長）、浦尾 樹正（NPO法人災強のすけっと理事長）、中村 裕子（鳥取大学 医学部脳神経小児科 助教）、上温湯 貴志（始良市消防本部）、齋藤 良玄（北海道大学病院産科 助教）

S-32

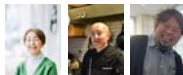
18 (日) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3B

自治体向け | 一般向け

助け合い・繋がり合いのコミュニティ福島から全国へ

主催団体：福島大学地域未来デザインセンター

東日本大震災（福島）では、原発事故もあり、故郷を離れる「広域避難」が多くありました。それ以降、災害時にこの言葉が普通に使われるようになったと思います。避難先でも避難元でも、新たな「人」とともにコミュニティの形成と再生の取り組みがあります。それは助け合い・繋がり合い・伝え合いでした。その「あい」から生まれ、根づく防災への思いを、地域に根差しながら、広域でも防災に取り組む登壇者の皆さんと考えます。



佐藤 淳子（特定非営利活動法人とっとり災害支援連絡協議会 代表理事）、森島 幹博（北陸3県への避難者と応援者の会「11の会」共同代表）、伊藤 航（福島大学地域未来デザインセンター 相対地域支援サテライトコーディネーター）、鈴木 典夫（福島大学地域未来デザインセンター 特任教授）

S-33

18 (日) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 3B

自治体向け | 一般向け

特別支援学校を福祉避難所とするための機能と役割 —具体化に向けた課題と展望—

主催団体：特別支援学校の災害対策を考える facebook グループ

災害時、障がい児の命と心を守るために何ができるでしょうか。国は特別支援学校を「福祉避難所」として活用する取り組みを推進しています。環境変化に敏感な子どもたちの負担を軽減できる一方、実現には行政、学校、地域、医療・福祉の一体的な体制構築が不可欠です。本セッションでは多様な専門家や当事者とともに、誰一人取り残さない「防災・避難体制」をどう構築するか、具体的な課題の掘り起こしと共有に取り組みます。



青田 良介 (兵庫県立大学 / ひょうご震災記念21世紀研究機構)、
小村 隆史 (常葉大学社会環境学部防災・地域安全コース准教授)、
竹内 孝彰 (障害当事者 浜松ろうさい病院医事課員)、竹
原 茂 (三原市防災士ネットワーク代表)、一杉 茂樹 (静岡県
立富士特別支援学校教諭)、湯井 恵美子 ((一社) 福祉防災コミュ
ニティ協会 理事・福祉防災上級コーチ)

S-34

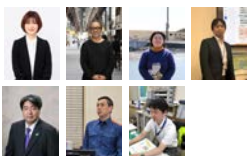
17 (土) 12:30 ~ 14:00
鳥取県立美術館 1F ホール

専門向け(学術界) | 自治体向け

「丸ごと支援」15年の軌跡～支援から交流へ～

主催団体：名古屋市・陸前高田市

応援・受援の両市の立場から先駆的な対口支援「丸ごと支援」の軌跡をたどるとともに、被災地支援をきっかけに発展した両市の交流を踏まえ、長期的な視点での両市の防災力向上に資する被災地支援のあり方について考えます。



柄谷 友香 (名城大学都市情報学部教授)、市原 正人 (建
築家 / 有限会社DERO・株式会社ナゴノダナバンク代表
取締役 / 一般社団法人ボンド代表理事 / 愛知淑徳大学教
授 / 文化庁非常勤調査員)、田尻 芽依 (名古屋team S 副
代表)、井上 淳詞 (総務省自治行政局公務員部公務員課
応援派遣室長)、中村 吉雄 (陸前高田市防災局長)、肥沼
裕志 (名古屋市防災危機管理局危機対策課長 / 社会教育
士)、成瀬 聡志 (名古屋市防災危機管理局防災企画課長)

S-35

17 (土) 14:30 ~ 16:00
鳥取県立美術館 1F ホール

企業向け | 自治体向け

防災はどこまで可能かー「守る社会」から「選ぶ社会」へ ～2030-2050年のホライズンズキャンが示すレジリエンスの再設計～

主催団体：PwC コンサルティング合同会社

PwCは、激甚化・複雑化する災害に対し、防災を被害軽減の取組にとどめず、社会全体で支え合う共助の再設計課題として捉えています。本セッションでは、将来のリスク構造を俯瞰する視点(ホライズンズキャン)を起点に、防災DXや先端テクノロジーの進展も踏まえつつ、自治体視点と官民連携の在り方、持続可能な防災エコシステムや今後の防災産業・マーケットのあり方について、徹底的に議論します。



藤森 俊輔 (内閣府政策統括官(防災担当)付参事官(地域防災
力強化担当))、森岡 潤一 (鳥取県 危機管理部 危機対策・情報
課長)、村上 建治郎 (株式会社Spectee 代表取締役 CEO)、
三山 功 (PwCコンサルティング合同会社 ストラテジーコンサル
ティング事業部 パートナー 執行役員)、岩花 修平 (PwCコ
ンサルティング合同会社 テクノロジーコンサルティング事業部
パートナー 執行役員)

S-36

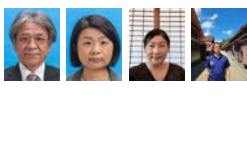
17 (土) 16:30 ~ 18:00
鳥取県立美術館 1F ホール

自治体向け | 一般向け

自然災害による文化財の被災とその対応から考える —平時からの取り組みと連携—

主催団体：独立行政法人国立文化財機構 文化財防災センター

地震や豪雨、台風がもたらす自然災害は、地域の歴史や文化、人々の暮らしを物語る、貴重で多種多様な文化財にも被害をもたらします。近年の自然災害による文化財の被災と対応事例をととして、文化財を災害からまもるための平時からの取り組みと、自治体、博物館などの文化財関係機関や専門家、所有者、地域住民などとの連携の重要性と意義について考えとともに、広く情報発信します。



高妻 洋成 (独立行政法人国立文化財機構文化財防災センター長)、中島 志
保 (独立行政法人国立文化財機構文化財防災
センター 主任研究員)、松本 絵理 (鳥取県
地域社会振興部文化財局文化財課 係長)、三
浦 孝章 (高梁市教育委員会社会教育課 文
化係長)、楠 寛輝 (松山市教育委員会文化財
課 主幹(学芸員))

S-37

18 (日) 10:30 ~ 12:00
鳥取県立美術館 1F ホール

一般向け | 学生向け

鳥取の地震、分かっていること、 分からないこと=みなさんの疑問にお答えします

主催団体：公益社団法人日本地震学会

できるだけ皆様の疑問にお答えるため、鳥取の地震について詳しい専門家が作成した解説動画を事前に視聴いただき、疑問・質問を集めます。当日はその疑問にできるだけ応えるセッションにします。解説動画は、鳥取大学附属小学校や附属中学校の児童生徒の皆さんからの素直な疑問質問をもとに、当日登壇する専門家が作成しますので、それだけでも必見。当日は教員志望の大学生らが質問者になりますが、会場からの参加も歓迎します



飯尾 能久 (阿武山地震・防災サイエンスミュ
ージウム 理事長)、香川 敬生 (鳥取大学工学部
教授)、久家 慶子 (京都大学大学院理学研究
科・教授。日本地震学会会長)、東田 進也 (気
象庁 地震火山部 部長)、西村 卓也 (京都大学
防災研究所地震災害研究センター 教授)、間
き手 鳥取大学大学生(予定)

S-38

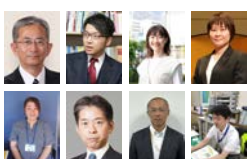
18 (日) 12:30 ~ 14:00
鳥取県立美術館 1F ホール

専門向け(学術界) | 自治体向け

日本の産業を守る中部地域の挑戦 ～地域の力を結集した産学官民連携の取組と課題～

主催団体：あいち・なごや強靱化共創センター

「あいち・なごや強靱化共創センター」は、大規模災害発生時においても中部地域の社会・経済活動を維持することを目的に、産学官民が連携して、研究開発や事業を推進しています。これまでの同センターが取り組んできた地域の力を結集した地域強靱化の取組内容や課題を踏まえ、更なる強靱化に向けた方策や全国各地の地域強靱化へと繋げるための今後の展望について、産・学・官・民による多角的な視点から分野横断的に考えます。



福和 伸夫 (あいち・なごや強靱化共創センター セン
ター長)、廣井 悠 (東京大学 先端科学技術研究セン
ター 教授)、阪本 真由美 (兵庫県立大学大学院 減
災復興政策研究科 教授)、松家 由起 (一般社団法人
中部経済連合会 価値創造本部 産業基盤強化推進部
担当部長)、浦野 愛 (認定NPO法人レスキューストッ
クカード 常務理事)、駒田 義祐 (内閣府 政策統括
官(防災担当)付 参事官(防災計画担当))、西谷 健
吾 (中部経済産業局 総務企画部総務課 災害対策専門
官)、成瀬 聡志 (名古屋市防災危機管理局防災企画課長)

S-39

18 (日) 14:30 ~ 16:00
鳥取県立美術館 1F ホール

自治体向け | 一般向け

能登半島地震、熊本地震を踏まえた被災者支援のためのデジタル活用 ～広域避難・在宅避難等にも対応する防災DXの方向性～

主催団体：公益財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構

現時点での防災デジタル活用のことをわかりやすく議論します。

能登半島地震、熊本地震でのデジタル活用がどのように行われたか、「場所(避難所)の支援」から「人(避難者等)の支援」への考え方の転換のなかで、これからのデジタル活用はどう変わっていくのかを考えます。被災者支援のために多様なシステムのデータをつなげる視点がこれからは大事になってきます。



白田裕一郎 (国立研究開発法人防災科学技術研究所 社会防災研究領域長 / 防
災DX官民共創協議会 理事長)、桐部仁志 (内閣府政策統括官(防災担当)付参事官
(防災デジタル・物資支援担当))、林田怜菜 (内閣府防災 ふるさと防災職員(鳥取
県担当))、都田和彦 (鳥取県危機管理部危機対策・情報課災害情報センター 危機管
理情報官)、谷場 優 (石川県総務部デジタル推進監室 / 一般社団法人GovCare
Technologies 代表理事)、杉浦慎将 (一般社団法人GovCare Technologies 理事 /
石川県総務部デジタル推進監室)、高田佳紀 (一般社団法人日本防災プラットフォーム
副代表 / 防災DX官民共創協議会 検討部会統括)、南 貴久 (人と防災未来
センター研究員)、行司高博 (公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構 /
防災DX官民共創協議会自治体部会)

S-40

17(土) 12:30 ~ 14:00
倉吉交流プラザ2F 視聴覚ホール

自治体向け | 一般向け

大学校友会ネットワークを活用した共助モデルについて

主催団体：自由が丘産能短大校友会 社会貢献事業部

震災時に重要な「共助」には、平時からの交流基盤が不可欠です。当会は校友会活動を活かし、世代・地域を超えたネットワークへ防災を融合。岐阜県山県市・教育委員会連携事業や山口県山口市後援の防災マルシェ、防災食体験等を実践しています。都市部で希薄化する「顔の見える関係」を校友会で再構築し、大学校友会による新たな共助モデルを提案します。



山本 裕一（自由が丘産能短期大学校友会前会長（現副会長、支部グループ支援事業部責任者）、自由が丘産能短大校友会認定グループ「土会」代表、一般社団法人東京都歯科技工士会元常務理事）、金子 絵美（自由が丘産能短期大学校友会会長 自由が丘産能短期大学校友会東京支部副支部長）、辻村 貴恵子（自由が丘産能短期大学校友会副会長広報責任者 水戸市防災士協会会員）、森岡 晋一（自由が丘産能短期大学校友会山口支部支部長、防災発災マルシェ実行委員会委員長）、和田 ヨセフ（産業能率大学通信課程3年生（東京FP学生会、東京目黒学生会、埼玉学生会会員））

S-41

17(土) 14:30 ~ 16:00
倉吉交流プラザ2F 視聴覚ホール

専門向け(学術界) | 企業向け

鳥取県の産官学金ネットワーク構築による防災減災の推進と自然再生を基盤とした地域全体の持続可能な発展

主催団体：三井住友海上火災保険株式会社

地元鳥取県の産官学金ネットワークで防災・減災とその先にある地域全体の持続可能性をパネルディスカッション形式で論議。テーマは、地域全体の推進役を担う行政、供給責任を負うインフラ企業、ファイナンス面の対策を行う金融機関、更には自然再生と防災の両立や気候変動等新たな課題を研究する大学で産官学金それぞれの視点から防災を切り口としたサステナブルな地域社会の実現に向けた役割分担と連携方法について多角的に考察。



田中 良和（株式会社山陰合同銀行 専務執行役員）、徳田 眞吾（日ノ丸産業株式会社 専務取締役）、河野 小夜子（鳥取県商工労働部商工政策課課長）、宮本 善和（鳥取大学 工学部社会システム土木系学科 教授 博士（工学））、山口 修（MS&AD インタリスク総研株式会社 リスクマネジメント第四部長 主席コンサルタント）、古池 祥蔵（三井住友海上火災保険株式会社 山陰支店長）

S-42

17(土) 16:30 ~ 18:00
倉吉交流プラザ2F 視聴覚ホール

一般向け | 学生向け

【内閣府・国交省・文科省連携】地域の記憶を防災の力に变える ~ NIPPON防災資産から広がる学びの輪 ~

主催団体：内閣府・国土交通省

内閣府・国土交通省・文部科学省が連携し、「NIPPON防災資産」をテーマに、災害の教訓をどのように伝え、防災教育に生かしていくかを考えるセッションを開催します。ばうさいこくたいに参加している大学ゼミ生や教育委員会、行政、防災資産の認定団体等が集まり、それぞれの現場での取り組みや課題を共有しながら意見交換を行います。



佐藤 翔輔（東北大学災害科学国際研究所准教授）、白銀 美里（岡山大学大学院環境生命自然科学研究科 博士後期課程1年）、打田 七星（皇根大学教育学部4年）、山名 毅（倉吉市教育委員会事務局 学校教育課 学校運営アドバイザー）、笠谷 修芳（広川町日本遺産ガイドの会 代表）、松重 摩耶（徳島大学 環境防災研究センター 助教/四国防災八十八話・普及啓発研究会 事務局）、佐藤 凜（大分大学理工学部3年・学生CERD代表）

S-43

18(日) 14:30 ~ 16:00
倉吉交流プラザ2F 視聴覚ホール

自治体向け | 一般向け

高齢化・過疎化する地域における消防団の担い手確保

主催団体：公益財団法人日本消防協会

「高齢化・過疎化する地域における消防団の担い手確保」をテーマにしたセッションを行います。地元、鳥取県内の消防団員の方々に、若い世代や女性、被雇用者の方など、多様な人材が活躍できる消防団づくりについて、奏功事例、課題、将来展望などをお話いただき、セッション後半には、パネルディスカッションにて、テーマを深掘りしていきます。



安達 由紀（鳥取市消防団 女性分団 班長）、河本 定幸（湯梨浜町消防団 団長）、小谷 一幸（倉吉市消防団 団長第4分団 分団長）、岸泰子（鳥取県 危機管理部 消防防災課長）、三輪 和夫（公益財団法人日本消防協会 理事長）

S-45

17(土) 14:30 ~ 16:00
倉吉交流プラザ2F 第1研修室

企業向け | 自治体向け

衛星データ×AIで、防災はどう変わる？

主催団体：株式会社スペースシフト

本セッションでは、夜間・悪天候時に観測しやすいSAR衛星などの衛星データとAI解析を活用し、浸水や土砂崩落などの被害状況把握をどのように支援できるのかを紹介しします。衛星データの基礎から、防災で現在できること、観測・解析上の制約、さらに他のデータやサービスと組み合わせることで防災の判断・行動につなげていく将来像まで、具体例を交えて分かりやすくお伝えします。

S-47

18(日) 10:30 ~ 12:00
倉吉交流プラザ2F 第1研修室

自治体向け | 一般向け

未来を担う「キッズ防災士」—教育から地域実践へつなぐ防災力向上モデル—

主催団体：一般社団法人ひろしま防災減災支援協会

キッズ防災士認定という防災教育と認定した学生が地域の防災活動に参加していることの事例や、広島県などが行っている防災事業を通して、今後の災害へ備える現場と、地域防災力の向上についての現状と課題を伝える



阪本真由美（兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授）、柳迫長三（落合学区自主防災会連合会会長）、三浦綾（一般社団法人ひろしま防災減災支援理事）、広島防災学団代表者、広島県避難の呼びかけ体制づくり担当職員

S-48

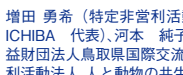
18(日) 12:30 ~ 14:00
倉吉交流プラザ2F 第1研修室

自治体向け | 一般向け

普段の活動を活かしたつながりで、災害時にもとり残される人がいない地域へ

主催団体：鳥取県災害中間支援組織（とっとり災害支援ネットワーク とりもっち）

普段から地域に寄り添う団体活動は、災害時にも住民の尊厳を守り、生活再建を支える大きな力となります。本出展では、鳥取県内の多様な活動団体が、普段の取組みと災害時に想定される役割・課題について話題提供を行った後、災害支援実践の経験を持つ県外の活動メンバーと意見交換を行い、「平時の活動が災害時にも活かすこと」「多分野が協働する必要性」を共に考え学びあうとともに、つながりづくりを行います。



増田 勇希（特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 理事）、山根 智子（こども食堂 ICHIBA 代表）、河本 純子（特定非営利活動法人ピアサポートつむぎ 理事長）、グエンギ（公益財団法人鳥取県国際交流財団 多文化共生コーディネーター）、松本 温子（認定特定非営利活動法人人と動物の共生センター 理事／鳥取支部長）

S-44

17(土) 12:30 ~ 14:00
倉吉交流プラザ2F 第1研修室

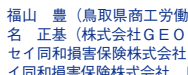
自治体向け | 一般向け

災害対応に資するドローン航路実証とテレマティクスデータ活用

主催団体：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

テレマティクス自動車保険のビッグデータを活用した以下の取り組みなどの紹介

- ①自然災害発生時の救援物資輸送のためのドローン航路の策定
交通量の把握による安全な時間帯・航路の選定
- ②地震発生時の路面状況把握（路面の異常個所の抽出）
地震による道路陥没個所の把握による2次災害対策
- ③交通事故リスク分析（事故リスクの高い危険個所の特定による道路環境の対策）



福山 豊（鳥取県商工労働部 商工政策課 課長補佐）、桑野 将司（鳥取大学 教授）、春名 正基（株式会社GEOソリューションズ 技術企画部部長）、若狭 弘幸（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 デジタルビジネスデザイン部部長）、谷口 剛（あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 鳥取支店支店長）

S-46

17(土) 16:30 ~ 18:00
倉吉交流プラザ2F 第1研修室

専門向け(学術界) | 企業向け

災害に強いまちの実現に向けて ~ オフグリッドで高める「コミュニティ・レジリエンス」 ~

主催団体：金沢大学

金沢大学は、令和6年能登半島地震からの創造的復興の実現に資するため、2026年、能登半島最北端の珠洲市で水や電気を自給自足のオフグリッドの実証実験「未来知 MITSUKEプロジェクト」を始動しました。セッションでは、震災で深刻化する能登の社会課題について考えとともに、オフグリッドで高めるコミュニティの防災力、レジリエンスについてパネリストがディスカッションを行います。



谷内江 昭宏（金沢大学 理事・副学長、能登里山里海未来創造センター長）、手嶋 勝弥（信州大学 卓越教授/学長特別補佐、アクア・リジェネレーション機構長）、柴田 啓太（NTT西日本株式会社 北陸支店 ビジネス営業部 ビジネス推進部門長）、鏑塚 典子（NPO法人 能登里山里海マスターネットワーク 理事）、篠田 隆行（金沢大学 副理事/先端科学・社会共創推進機構 副機構長・統括URA/能登里山里海未来創造センター 教授）

S-49

18 (日) 14:30 ~ 16:00
倉吉交流プラザ 2F 第1 研修室

専門向け(学術界) | 自治体向け

災害対応を支える人材の育成 ～これまでの教訓をどう活かすか～

主催団体：一般社団法人 地域安全学会 実務者企画委員会

我が国では、災害対応の主体は市町村であることから、自治体規模や災害規模に関わらず被災自治体自らが担わねばならないことや、人事異動により経験や知見の蓄積・継承が難しいという構造的な課題がある。こうした状況の中で、いかに防災人材を育成し、かつ組織としての対応力を高めていくのかについて、実務と研究の両面から議論する。また、知見を組織として次の世代へつなぐ仕組みなど、今後の防災人材育成についても展望する。



田代崇憲 (大野城市危機管理部長)、浜田定則 (鳥取県危機管理部長)、中須賀淳 (内閣府政策統括官(防災担当) 付参事官(訓練・人材育成担当))、小山真紀 (Co-Innovation University 共創学部教授)、有吉恭子 (吹田市総務部防災政策推進監)

S-50

17 (土) 12:30 ~ 14:00
倉吉交流プラザ 2F 第3 研修室

自治体向け | 一般向け

「インフラ中心の防災」から 「生活・尊厳・多様性を確保する防災」への転換 ～女性防災リーダーを核とした防災のアップデート～

主催団体：ジャパン女性防災リーダーの会

「避難生活の質やその後の生活再建までを含めた総合的な支援」に向けては、平時からの防災力強化や女性・高齢者・子ども等の多様性配慮の視点を取り入れることが必要である。本企画では、女性防災リーダーが核となり「インフラ中心の防災」から「生活・尊厳・多様性を確保する防災」への転換について、その必要性和本ネットワーク体の実践を社会に提起し、防災の概念をアップデートするための議論を深める。



小山内世喜子 ((一社) 男女共同参画地域みらいねっと代表理事)、藤岡喜美子 ((一社) こども女性ネット東海執行理事)、沢田薫 ((一財) 大阪男女いきいき財団副理事長)、松島陽子 ((特非) U.grandma Japan 代表理事)、福留里織 ((公財) こうち男女共同参画社会づくり財団主任)、藤井有貴子 ((有) ミュースプランニング相談役 (一社) ウィメンズ・フォーラムくまもと代表理事)

S-51

17 (土) 14:30 ~ 16:00
倉吉交流プラザ 2F 第3 研修室

専門向け(学術界) | 自治体向け

熊本で見た課題、鳥取で進む実装 —避難所の空気環境と首長の判断

主催団体：株式会社エアドッグジャパン

災害関連死の要因は複合的ですが、避難所の環境もその一つとして指摘されています。特に空気環境の悪化による呼吸器疾患は見過ごせません。一方で、避難所の空気環境に関する基準や支援体制は十分とはいえません。本セッションでは、令和8年熊本地震の支援で直面した課題と、鳥取県内10施設の実測データを紹介します。整備を進める自治体の事例を交え、平時からの備えをどう判断し実行するかを産官学の立場から議論します。



松浦好紀 (株式会社エアドッグジャパン 代表取締役)、篠原 直秀 (国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 上級主任研究員)、天野 大輔 (鳥取県 危機管理部 危機管理政策課 企画担当 課長補佐)、長戸 清 (鳥取県 岩美町長)、橋本 晴男 (一般社団法人 日本空気と水の衛生推進機構 理事)

S-52

17 (土) 16:30 ~ 18:00
倉吉交流プラザ 2F 第3 研修室

企業向け | 自治体向け

「一人ひとりにより添った」生活再建を目指す ～鳥取県の災害ケースマネジメントの取組～

主催団体：鳥取県災害ケースマネジメント協議会

講演および参加者同士の意見交換を行います。

- 講演：「鳥取県の災害ケースマネジメント」[制度化の経緯、災害ケースマネジメントが必要となる理由、鳥取県中部地震での実施例等]
- グループ討議：支援事例を基にした意見交換
- まとめ：討議結果の共有と登壇者による質疑応答



白鳥 孝太 (鳥取県災害福祉支援センター 災害支援専門官)

S-53

18 (日) 10:30 ~ 12:00
倉吉交流プラザ 2F 第3 研修室

一般向け | 学生向け

全国学生防災フォーラム ～『横のつながりづくり』公開作戦会議～

主催団体：全国学生防災ネットワーク、TEAM 防災ジャパン

全国学生防災ネットワークの一層の広がりにより、学生防災団体同士が平時から交流し刺激し合うことで、防災活動の質の向上と活発化を図り、災害時に迅速な連携・支援ができる体制を目指す。そのため、トークフォークダンス (話す相手とテーマを次々に変えながら1対1で話し、交流を深めていくトーク企画) とグループディスカッションを実施します。開催地の学生とのつながりづくりもその中で実施します。



全国の学生防災団体の皆さん、上田 啓瑚 (内閣府TEAM防災ジャパン お世話係・国立研究開発法人防災科学技術研究所 特別研究員)

S-54

18 (日) 12:30 ~ 14:00
倉吉交流プラザ 2F 第3 研修室

自治体向け | 一般向け

分散した防災情報をつなぎ、止まらないインフラを！ ～平時と災害時をつなぐ「HLMap(Hyper Layered Map / 旧称 SVGMap)」～

主催団体：一般社団法人 WebDINO Japan

本セミナーでは、HLMap(Hyper Layered Map / 旧称 SVGMap) を活用し、組織やシステムを越えて分散するWeb情報をつなぐ「自律・分散・協調型」の防災情報基盤について考えます。Hyper Layeringの技術や活用事例を紹介しながら、平時の情報を災害時に活かすフェイズフリーな情報環境と、地域の共助を支える「止まらない情報インフラ」の可能性について議論します。



瀧田 佐登子 (一般社団法人 WebDINO Japan 代表理事)、高木 悟 (KDDI株式会社 コア技術統括本部 シニアエキスパート)、野上 保之 (岡山県高度情報化推進協議会 会長 / 岡山大学 学術研究院環境生命自然科学研究学域 教授 / DX・情報セキュリティ担当副理事)、古橋 大地 (青山学院大学 教授 / OpenStreetMap Japan)、谷中 健大朗 (慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 助教 (有期・研究奨励))

S-55

18 (日) 14:30 ~ 16:00
倉吉交流プラザ 2F 第3 研修室

自治体向け | 一般向け

地域内外の多様な協働・連携で取り組む 「助け・助けられる」地域づくり

主催団体：日野ボランティア・ネットワーク

過疎高齢化が進んだ鳥取県西部地震(2000年)の被災地・日野町で、被災後に町内の様々な団体、小・中・高校生の協力も得て、また町外・県外からの参加者も含めて取り組んできた「助け・助けられる関係づくり」。災害時・平時に県内外の様々な団体と紡いできた日野町や県外の取り組みを紹介したうえで、鳥取県防災士ネットワークや高校生等への事前アンケートによる「支え愛の地域づくり」に関する課題等について議論します。



柴原 英文 (一般社団法人FEEL Do 代表理事)、増田 勇希 ((特活) ひろしまNPOセンター 理事)、山下 弘彦 (日野ボランティア・ネットワーク 代表)

S-56

17 (土) 12:30 ~ 14:00
上瀬コミュニティセンター 1F 視聴覚室

専門向け(学術界) | 自治体向け

災害復興と法制度の未来を語る ～防災庁設置と求められる人材育成～

主催団体：災害復興法理論研究会

法学者・若手防災研究者・専門士業らが、国難災害や頻発する気象災害をふまえて分野横断的な政策提言を行うとともに、法理論と実務の架け橋として、防災庁に求められる人材育成や我が国の災害法制の在り方を議論します。



黒田 奈那 (人と防災未来センター 研究員)、林田 怜菜 (内閣府(防災担当) ふるさと防災職員 (鳥取県担当))、飯 考行 (専修大学法学部 教授)、松村 圭悟 (人と防災未来センター 研究員)、岡本 正 (銀座パートナーズ法律事務所 弁護士・気象予報士・博士 (法学))

S-57

17 (土) 14:30 ~ 16:00
上瀬コミュニティセンター 1F 視聴覚室

一般向け | 学生向け

**学生が参画する活動! 怖くない防災
=お菓子を使った防災講座**

主催団体: 一般社団法人おいしい防災塾

若い世代に防災を伝える為にはどうすれば良いか?
おいしい防災塾は、「防災とは絶えず考える事。その為には怖くない防災を伝えていかないとけない。その結果、お菓子を使った防災講座」を構築しました。
登壇頂く皆様や、参加の皆様と意見交換し、若い世代に防災を伝える為にはどうすれば良いか?をディスカッションしたいと思います。子供支援活動をされられる方や教育関係者と共に意見交換できたら!と思います。



長野 政之 (自由が丘産能短期大学校友会 副会長・社会貢献事業部責任者・千葉支部支部長)、三宅 ひとみ (自由が丘産能短期大学校友会 社会貢献事業部メンバー・自由が丘産能短期大学校友会認定グループ「ブルームFP」幹事 特定非営利活動法人 日本防災士会 東京都支部 会員)、諏訪 清二 (防災教育学会 会長・防災実践研究会 会長)、西谷 真弓 (一般社団法人おいしい防災塾 代表理事・自由が丘産能短期大学校友会 理事)

S-58

17 (土) 16:30 ~ 18:00
上瀬コミュニティセンター 1F 視聴覚室

専門向け(学術界) | 一般向け

伝えるだけで、守れるか。経験を、命を守る力に変える

主催団体: ソナエル食堂プロジェクト

災害支援団体として、被災地で中間支援をはじめ、連携する災害支援団体の後方支援、復興イベントの主催、文化表現、報道・発信など、さまざまな立場から災害支援に携わってきました。今回のセッションでは、これまでの経験や現場で得た気づきを振り返り、自らの経験をどう次の備えと行動につなげていくのかを共有します。ゲストを招き、それぞれの経験や視点にも触れながら、災害時の共助や地域のつながりについて考えます。

S-59

18 (日) 10:30 ~ 12:00
上瀬コミュニティセンター 1F 視聴覚室

自治体向け | 一般向け

**地域共助と防災DXで支える避難所運営ー「災救マップ」による
平時から災害時までの支え合いの見える化ー**

主催団体: 一般社団法人地域情報共創センター

大阪大学の知財「災救マップ」を活用し、避難所情報共有、危険箇所投稿、避難所受付DX等を通じた地域共助の仕組みを紹介します。大阪大学・自治体・防災士会(防災士)・民間団体等が平時から協定・連携し、災害時には避難所数、要支援者、避難所外避難者等を把握して迅速な支援につなげます。事例と画面デモを交え、自治体職員の負担軽減と、誰一人取り残さない避難所運営を支える地域防災DXの活用方法を示します。



福岡 圭信 (大阪大学大学院教授)

オンライン・セッション

S0-01

17 (土) 14:30 ~ 16:00

一般向け | 子供向け

**避難とペット - HArmony活動 ペット防災で大切なこと -
Human Being と Animalsの共生が HArmony活動 です**

主催団体: WPP グループ Japan Pet Press

当団体の理念に「命を守る社会の構築」があります ペットは、今や家族。発災時にペット避難に困らないようにするには、平時からの日々のトレーニングが大切です。また、日頃から準備しておきたいモノやコトをわかりやすく解説をしたいと考えています。活動を通じて命の大切さや思いやりを感じてもらうことができれば、当団体の理念にそぐいます。特に、次世代を担う子供たちへ感じてもらいたいと考えております。



澤田 まきこ (Japan Pet Press 共同代表兼 モデル シンガー PuBuRun)、蘭牟田 なつみ (Japan Pet Press アンバサダー兼FJメディア 司会講師)、藤重 ゆたか (創設者 (文部科学省全国社会教育功労者2025))

S0-02

17 (土) 12:30 ~ 14:00

専門向け(学術界) | 自治体向け

**災害と技術 新災害連携スタイル
- 新しい医療のカタチ -**

主催団体: 一般社団法人 DroneAI 技術研究機構 (Drone AI)

出展テーマは、災害にいかにか技術で向き合うか、キーワードとして、「連携」を考えています。「連携」と一言でいっても、様々なパターンがあります。人と人との連携、システム同士の連携、技術の連携等があります。ここでは、医療と情報、特に「災害医療情報の分野での連携」を考え、迅速な救命活動ができる体制にフォーカスしていきます。



藤重 裕 (DroneAI技術研究機構 (Drone AI) 理事長 兼 研究者 大阪・関西万博2025最終日スピーカー)、田口 政行 (DroneAI 研究者 (防災教育) 東京大学DMTC支援会)、羽田野 兼蔵 (Drone AI スペシャルゲスト)

S0-03

17 (土) 12:30 ~ 14:00

自治体向け | 一般向け

**「その避難所、本当に“誰でも”入れますか?
ー能登の現場から見えた課題とこれから」**

主催団体: ののいちにゃんこのうち

能登半島地震発災から時系列で実際に起きたことを紹介。
当団体の支援活動の紹介。
フェーズごとに発生する課題。
奥能登豪雨発生の二重災害の現実。
復旧、復興に向けての課題。
次の災害に備えた取り組み。



中野靖也 (ののいちにゃんこのうち副代表)

S0-04

18 (日) 10:30 ~ 12:00

専門向け(学術界) | 一般向け

**災害関連死とは何か
〜当事者の声から実態を正しく把握する〜**

主催団体: 災害関連死を考える会

「災害関連死」をテーマに、様々な災害の遺族と専門家が語り合うパネルディスカッションです。当事者の経験から、災害関連死の見える実態を共有します。さらに、現行の認定プロセスが抱える限界や、真の被害を把握するための新たな仕組みの必要性について、医学・司法・行政の多角的な視点から紐解きます。認定件数は災害による健康被害の「氷山の一角」に過ぎないという現実に光を当て、課題解決を参加者の皆様と共に考えます。

宮崎 くら (熊本地震遺族/災害関連死を考える会 会長)、伊東真由美 (熱海土石流遺族)、大槻めぐみ (東日本大震災遺族)、松元智子 (熊本地震遺族)、在間文康 (弁護士)、木村圭佑 (元内閣府防災)、坪井基浩 (医師)

S0-05

18 (日) 12:30 ~ 14:00

自治体向け | 一般向け

**「人口減少時代の地域防災」
〜防災DXで命と暮らしをどのように支えるか〜**

主催団体: 防災減災連携研究ハブ (JHoP)

人口減少や地域の担い手不足が進む中、防災DXにより、地域の命と暮らしをどのように支えることができるのかを考え、地域と産官学民の連携を通じた共助の高度化を検討します。



寶 馨 (防災科学技術研究所 理事長・京都大学名誉教授)、白田 裕一郎 (防災科学技術研究所 総合防災情報センター センター長)、東郷 いつみ (日本防災プラットフォーム フォーム 副代表・三菱総合研究所 主席研究員)、江川 新一 (東北大学 災害科学国際研究所 教授)、平田京子 (日本女子大学 建築デザイン学部 教授)、塚原健一 (九州大学 工学部土木工学科 教授)、小野 裕一 (東北大学 災害科学国際研究所 副研究所長・教授)

SO-06 18 (日) 14:30 ~ 16:00

自治体向け | 一般向け

令和8年度災害廃棄物対策推進シンポジウム 「ともに備え、ともに支える災害廃棄物対策」

主催団体：環境省

環境省が毎年開催している「災害廃棄物対策推進シンポジウム」を「ぼうさいこくたい2026」のオンラインセッションとして開催いたします。「ともに備え、ともに支える災害廃棄物対策」をテーマとし、国、自治体及び有識者から災害廃棄物対策について講演いたします。

講演者及び講演内容は「災害廃棄物対策サイト」で10月以降、公開予定です。

浅利美鈴（総合地球環境学研究所 教授）、田中 淳一（環境省環境再生・資源循環局環境再生担当参事官付災害廃棄物対策室 課長補佐）、森本 章夫（中間貯蔵・環境安全事業株式会社環境安全事業部災害廃棄物処理支援事業課 課長）、小浦 利弘（石川県生活環境部資源循環推進課 課長補佐）、大瀧 慎也（倉敷市環境局資源循環部 部長）

SO-08 17 (土) 12:30 ~ 14:00

自治体向け | 一般向け

地域における災害対応力をどう高めるか

主催団体：（一社）防災学術連携体+日本学術会議

本セッションでは、鳥取県西部地震、鳥取県中部地震、西日本豪雨など中国地方等における各種災害の経験を踏まえ、災害時の応急対応における課題や重要な視点、防災体制や対策について、最新の知見や情報を、関連する学術分野の専門家や行政と連携して発信します。地域における災害対応力向上に向けて、多くの皆様にご参加いただきたいと思います。



竹内 徹（日本学術会議会員、防災減災学術連携委員会委員長、東京科学大学名誉教授、前日本建築学会会長）、小澤 一雅（防災学術連携体代表幹事、公益社団法人土木学会会長、政策研究大学院大学特別教授）、池内 幸司（（一財）河川情報センター理事長、東京大学名誉教授、防災学術連携体幹事、全国水防管理団体連合会会長）、酒井 明子（防災学術連携体幹事、福井大学名誉教授）、畠田 泰子（神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 教授）、久田 嘉章（工学院大学 建築学部 まちづくり学科 教授、日本学術会議連携会員、防災学術連携体特別会員）、西尾 正博（国土交通省中国地方整備局統括防災官）、米田 雅子（防災学術連携体代表幹事、宇都宮大学理事、第24、25期日本学術会議会員（～2023/09））、山本 佳世子（電気通信大学大学院情報理工学専攻教授、日本学術会議連携会員、防災学術連携体運営幹事）、永野 正行（東京理科大学創域理工学部建築学科 教授、日本学術会議連携会員、防災学術連携体幹事）

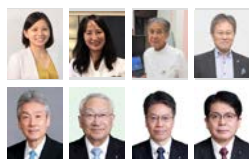
SO-10 17 (土) 14:30 ~ 16:00

専門向け(学術界) | 一般向け

地域医療情報連携ネットワーク ～災害医療における活用について～

主催団体：公益社団法人日本医師会

地域医療情報連携ネットワーク（地連NW）は、医療・介護・福祉機関がICTで診療情報を共有し、地域で切れ目のない医療を提供する仕組みです。平時の地域医療を支えるだけでなく、災害時には被災した医療機関に代わり、他地域でも患者の画像や検査結果を確認でき、診療継続や施設間の円滑な情報連携に役立ちます。本シンポジウムでは、平時・災害時の有効性を検証し、今後の防災への貢献について議論します。



長嶺 由衣子（厚生労働省 政策統括官付 医療情報連携担当参事官室 室長）、渡部 愛（日本医師会総合政策研究機構 主任研究員）、辻田 哲朗（NPO法人おしどりネット 理事長／鳥取県医師会 副会長）、横山 邦彦（白山石川医療企業団 副企業長）、松本 吉郎（日本医師会 会長）、茂松 茂人（日本医師会 副会長）、長島 公之（日本医師会 常任理事）、藤原 慶正（日本医師会 常任理事）

SO-12 17 (土) 16:30 ~ 18:00

企業向け | 自治体向け

防災分野へのドローン利活用の最前線

主催団体：一般社団法人日本ドローンコンソーシアム

当該コンソーシアムでは、平時と災害時のドローンの活用についてフェーズフリーの考え方を示しており、平時で農業や測量に活用していたドローンを災害時に転用して活用する必要性を示してきた。また、フェーズフリーを進めていくための体制やシステム整備についても、地域と連携し推進している。これらフェーズフリーの考え方について説明する。令和8年熊本地震では、防災系部会が活動したことから、活動内容を報告する。

SO-07 18 (日) 10:30 ~ 12:00

自治体向け | 一般向け

命を守る雪の防災 第2弾 たまさか大雪に備える

主催団体：日本雪工学会

普段雪に慣れていない山陰地域の平野部や非雪国からの参加者も視野に入れ、たまに降るドカ雪（たまさか大雪）の特徴や雪害の状況を伝えるとともに、雪国最前線の経験や知見を交えたクロストークを通じ、除雪作業中の事故や自動車の立ち往生、空き家倒壊などを防ぎ、命を守るための備えや対策のあり方について考えます。



上村 靖司（長岡技術科学大学 教授）、中村 一樹（防災科学技術研究所雪氷防災研究センターセンター長）、筒井 伸一（鳥取大学地域学部 教授）、小西 信義（札幌市立大学デザイン学部 助教）、瀬戸浦 初美（香美町社会福祉協議会）、戸田 佑樹（安芸太田町社会福祉協議会福祉推進課 課長）、千明 長三（片品村社会福祉協議会 事務局長）、高山 弘毅（樺東村社会福祉協議会 学童保育所係 係長／Nukito代表）、諸橋 和行（公益社団法人中越防災安全推進機構 事務局長）

SO-09 17 (土) 14:30 ~ 16:00

企業向け | 自治体向け

DX防災教育と事業者の共助防災ネットワーク

主催団体：NPO 法人 CESA・NPO 法人持続可能管理協会

自助共助・CSR活動の内容

「溢れない・崩れない・倒れない」を目指して

1. 幼児から高齢者までのDXな防災教育によるCSR活動
2. 事業者組織の(JPSMS)自主防災システムによるCSR活動
3. 高評価防災力(JPSMS認証登録)を有する事業者による共助防災ネットワークによる共助活動

堀 智晴（京都大学防災研究所教授、JPSMS判定委員長、土木学会関西支部長、科学技術振興機構SATREPSプロジェクト研究主幹）、おいもち先生（今村 忠彦）（NPO法人CESA環境防人マスター、NPO法人持続可能管理協会代表理事、地域防災計画学会連携会員）、奥野 晃彰（野洲市立篠原小学校教頭）、稲野 利奈（彦根市立ふたば保育園園長）、井関 明子（滋賀県 甲賀土木事務所 河川砂防課 課長補佐）、三浦 良勝（NPO法人CESA理事長、NPO法人持続可能管理協会理事長）、今村 兼仁（NPO法人CESA専務理事・JPSMS® Technical Adviser）、早瀬 愛紗（NPO法人CESA事務局長）

SO-11 18 (日) 12:30 ~ 14:00

企業向け | 自治体向け

官民連携による災害時の偽誤情報対策 — 鳥取県の実災害対応から学ぶ「情報の防災」

主催団体：株式会社 Spectee

- ・熊本地震で見えた、偽誤情報の変化
- ・ケースで考える、自治体による注意喚起の判断

村上 建治郎（株式会社Spectee 代表取締役 CEO）

SO-13 17 (土) 14:30 ~ 16:00

学生向け | 子供向け

いのちを守る@DIGIぼうさい村の防災CAMP

主催団体：一般社団法人いのちを守る at プロジェクト JAPAN

「いのちを守る@DIGIぼうさい村の防災CAMP」では、デジタル技術と体験型防災を融合し、誰でも参加できるメタバース空間を構築。全国からアバター参加を募り、防災×福祉を軸に、災害発生直後の「いのちを守る行動選択」をバーチャル体験する。メインプログラムとして、防災脳内訓練・防災リスクサーベイゲーム「BRSG」を通じ、自らのいのちを守る力を高める実践的なバーチャル訓練の場を提供する。



高貝正芳（一般社団法人いのちを守る防災@プロジェクトJAPAN 代表理事/防災講師）、Kassy（防災パフォーマー/ファシリテーター）、SATOYA（防災マジシャン/メタバースクリエイター/ゲームストーリーマー）

SO-14 17(土) 14:30～16:00

自治体向け | 一般向け

市民社会視点で見た「仙台防災枠組」の今とこれから
～草の根のBOSAI実践で築くセーフティネット～

主催団体：防災・減災日本 CSO ネットワーク (JCC-DRR)

仙台防災枠組の推進と進捗評価が進む中、国際的な目標や制度が提示される一方で、現場のコミュニティにおいては少子高齢化や外国人定住者の増加といった構造変化が進み、「誰も取り残さない防災」をどのように具体化するかが問われています。このセッションでは枠組の進捗を「市民社会目線」で捉え直し、多様な草の根の実践共有を通して、共助に基づいた持続可能な地域づくりの方途を提案します。



金田 義行 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長、地域強靱化研究センター センター長、特任教授)、小美野 剛 (CWS Japan 事務局長)、野際 紗綾子 (特定非営利活動法人 難民を助ける会 [AAR Japan] 調査研究・提言マネージャー)、中村 広宣 (東北創価学会 青年部長、地域共創プロジェクト プロジェクトマネージャー)

SO-16 17(土) 14:30～16:00

企業向け | 一般向け

【事業継続・レジリエンス向上セミナー】
～熊本地震の現地状況を踏まえた
レジリエンス向上に向けた取り組み 第二弾～

主催団体：特定非営利活動法人レジリエンス強化機構

地域・企業・自治体が連携し、災害・サイバー攻撃・事業停止を想定した実践型訓練や防災ワークショップを実施。共助の視点による「お互い様連携」の防災教育を推進し、CSR活動としてBCP普及、地域防災啓発、次世代人材育成を通じて持続可能な地域レジリエンス向上に取り組んでいます。

SO-18 18(日) 12:30～14:00

自治体向け | 一般向け

地域防災力の向上を目指した
リモートセンシングからのアプローチ

主催団体：一般社団法人 日本リモートセンシング学会

一般社団法人日本リモートセンシング学会内で活動を展開している「国土防災リモートセンシング研究会」に加えて、同学会内の「ドローン・リモートセンシング研究会」との共催として出展することで、災害時における衛星画像やドローン技術を活用した共助体制の構築、効果的な事前準備を念頭に置いた行政・地域住民向けの防災教育の事例について紹介します。

伊東 明彦 (一般社団法人日本ドローンコンソーシアム 理事)、齋藤 修 (一般社団法人日本リモートセンシング学会 研究会 委員)、石内 鉄平 (宮城大学 教授)

SO-20 17(土) 12:30～14:00

企業向け | 自治体向け

平時の賑わいが、有事の支えになる——鳥取県北栄町と日本
オフサイト建築協会が描くフェーズフリー復興モデル

主催団体：一般社団法人日本オフサイト建築協会

鳥取県北栄町で進行中の「道の駅」整備 (オフサイト建築による飲食・物販施設) を主軸に、平時は地域の賑わいを創出し有事には応急仮設住宅・仮設商店として転用する鳥取発のフェーズフリー復興モデルを紹介。自治体・大学・地元工務店との多様な主体の連携、離島・過疎地における住まい方など、災害時はもとより「平時の賑わいが、有事の支えになる」ことをテーマにディスカッションを進めていきます。

長坂 俊成 (一般社団法人日本オフサイト建築協会 代表理事)、岡本 圭司 (鳥取県北栄町副町長)、矢嶋 澄香 (山梨県丹波山村 地域創造課 移住推進室)

SO-15 17(土) 12:30～14:00

企業向け | 一般向け

【事業継続(BC)普及セミナー】
～全国・地域の事業継続の取り組みの推進～

主催団体：特定非営利活動法人事業継続推進機構

企業・自治体・組織が連携する、CSRの観点を含む事業継続・防災の実践例を、中国地方を中心に紹介する。特に、当機構のBCAOのアワード受賞事例は実例として有効と考える。また、山陰・鳥取県の事業継続・防災、事前復興の知見を共有し、共助による地域レジリエンスの強化を提案する。さらに、協力団体などから、全国的な視点の共助を含めた事業継続と広域連携のあり方も発信しています。

SO-17 17(土) 14:30～16:00

企業向け | 自治体向け

ぼうさいこくたい 2025 in 新潟を契機とした
産官学民プラットフォーム構築

主催団体：ぼうさいこくたい 2025 in 新潟「にいがた防災交流プラットフォーム」

「ぼうさいこくたい2025 in 新潟」の開催に向けて実施した4回の現地情報共有・連絡会議では、産官学民の多様な主体が集い、自由に語り合う中で「ゆるやかな連携」の必要性を実感しました。こうした交流を一過性のものとせず、お互いの独立性を尊重しながら「防災・減災」に取り組むため設置した「にいがた防災交流プラットフォーム」について、その経緯や背景、今後の取組を共有します。



土部 厚志 (新潟大学 災害復興科学研究研究所長/教授)、上村 靖司 (長岡技術科学大学 機械系 教授)、成川 一正 (日本防災士会新潟県支部 事務局長)、諸橋 和行 (公益社団法人中越防災安全推進機構 事務局長)、田村 圭子 (新潟大学 危機管理本部危機管理センター 特任教授 (コーディネーター))

SO-19 17(土) 16:30～18:00

自治体向け | 一般向け

災害伝承ミュージアム・セッション2026:
共通する願いと、達成のための連携・共助

主催団体：日本災害伝承ミュージアム・ネットワーク

全国各所にある「災害伝承ミュージアム」は個別に存在し、地理的にも距離がありますが、根幹で目指す防災減災のためにどう役割を果たせるか、というミッションには共通点があります。私どもは、これらミュージアムが、オンライン・リアルでゆるやかに繋がることにより、共通・共同を図る取り組みを進めています。このセッションではその現時点での最新状況をプレゼンし、共有します。

SO-21 17(土) 16:30～18:00

自治体向け | 一般向け

災害支援におけるAIの活用

主催団体：災害支援 DX イニシアティブ

災害の頻発化に伴い、これまでの災害対応の知見を活かした効率の良い活動が求められています。その対応手法の1つとして、生成AIをはじめとするAIの活用が目立っています。しかし、AIの得意・不得意や、実際の災害支援活動での効果については、十分な検証が行われていません。本出展では、課題事例をもとに、個人情報との関係にも焦点を当て、参加者とともにAIの活用可能性について議論します。



畑山満則 (災害支援DXイニシアティブ代表理事、IT DART理事、京都大学防災研究所教授)、宮川祥子 (災害支援DXイニシアティブ理事、IT DART代表理事、慶應義塾大学看護医療学部教授)、詩叶 純子 (岡山NPOセンター地域連携センター主任アドバイザー (災害支援))

SO-22 17 (土) 12:30 ～ 14:00

一般向け | 学生向け

災害伝承セッション2026「100年後の共感へ」

主催団体：災害伝承セッション連絡協議会

- 1) 災害伝承活動の現状、実績のある取り組み、セクター間交流・協働の事例紹介。組織活動維持、財源獲得などの課題。
- 2) 被災地間交流の事例・方法・意義についてのディスカッション。

SO-23 18 (日) 14:30 ～ 16:00

自治体向け | 学生向け

中高生の視点から考える防災についての発表

主催団体：NSF PROJECTs

全国各地の被災地で活動する中高生とオンラインでつながり、災害を経験したからこそ感じる課題や、防災に対する思いを共有します。被災地の中高生と全国の中高生が対話し、それぞれの視点から「これからの防災」について考えます。中高生の生の声を通して、防災を自分ごととして考えるきっかけを届けます。



陳 宥銘 (NSF PROJECTs第6期副代表)

ワークショップ

W-01

17 (土) 12:30 ～ 14:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 2

一般向け | 子供向け

世界の子どものいのちを守る！ ぼうさいNURIE トーク&ワークショップ！！

主催団体：オンライン防災

皆さま、こんにちは！オンライン防災です。私たちは宮城の防災士や語りべを中心に、全国の仲間とオンラインやSNSで活動しています。リアルな活動の一つが「ぼうさいNURIE」です。当日は、NURIE大使と東日本大震災の教訓を怖がらせず、楽しみながら学べるぼうさいNURIEを体験できます。子どもも大人も、親子でもお一人でも大歓迎です。鳥取、全国の皆さまと会場でお会いできることを楽しみにしています。

W-02

17 (土) 14:30 ～ 16:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 2

一般向け | 学生向け

「ふくしま」から学ぶ原子力防災 もしもの備え

主催団体：福島県立医科大学 / ふくしま放射線防災士ラボ

放射線や原子力災害を日常生活の延長として学ぶ90分の体験型ワークショップです。福島の実状を知るクイズから始まり、本物の測定器 (Radi) を使った放射線測定体験、さらに「屋内退避 (おうち避難)」のシミュレーションを行います。SNSのデマ等に惑わされない正しい情報判断力も養い、「正しく恐れ、適切に備える」暮らしの知恵を、体験を通して身につけます。

W-03

17 (土) 16:30 ～ 18:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 2

自治体向け | 一般向け

「やらされる訓練」が「やりたくなる訓練」に変わるヒント ーチームビルディングとしての防災ー

主催団体：慶應義塾大学 大木聖子研究室

多忙な現場に新たな活動を「増やす」のではなく、既存の訓練の「意味を捉え直す」ことで防災対応力を高める手法を提案します。校庭やロビーに集合するだけの形式的な訓練を、参加者が夢中になり、自己の成長や平時のチームワーク向上を実感できる有意義な時間へと転換します。本ワークショップでは、現場の負担を抑えつつ、明日から実践したくなる多様な防災研修・訓練のあり方を体感していただけます。

W-04

18 (日) 10:30 ～ 12:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 2

一般向け | 子供向け

Let's Connect!食と防災の輪 ～食の防災の大切さを各地の実践事例から学ぼう！～

主催団体：くらしの学びサポートオフィス HumanBeing

「食の防災」の大切さについて、楽しく体験しながら私たちと一緒に考えてみませんか？前半では食の防災活動に取り組んでいる倉吉市・宮城県の方々と、それぞれの取り組みについてご紹介します。後半では倉吉北高等学校 調理クラブ・インターアクトクラブの皆さんによるワークショップ (クイズ、ポリ袋クッキングや乾燥野菜作りなどのデモンストレーション、シールアート作成など) を行います。

W-05

18 (日) 12:30 ～ 14:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 2

一般向け | 子供向け

「どこでも地震体験マットYURETA」を活用した“ゆれ体験”で 「本当のあぶないに気づこう！」

主催団体：日本防災士会 鳥取県支部

主に親子・子ども達に、今後訪れるであろう「南海トラフ大地震」の鳥取県での想定震度を「どこでも地震体験マットYURETA」で体験し、「本当のあぶないに気づこう！」

W-06

18 (日) 14:30 ～ 16:00
エースバック未来中心 1F セミナールーム 2

一般向け | 学生向け

きみはなににいる？ 災害時の行動シミュレーションにトライ！

主催団体：東北大学減災教育「結」プロジェクト

防災・減災スタンプラリーゲームの体験と東北大学の研究者が最新の知見で答える質疑応答コーナーで構成し、子供から大人までが共に考え・備え・守ることを目指すワークショップとします。スタンプラリーでは災害時を疑似体験するとともに防災対策や防災行動を、3色のイラストスタンプから自分自身で選択することに加え、参加者同士での振り返りを通じて、防災・減災について理解を深め、共に助け合う防災活動を目的としています。

W-07

17 (土) 12:30 ～ 14:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 4

自治体向け | 一般向け

全国防災関係人口ミートアップ

主催団体：全国防災関係人口ミートアップ

災害時に必要な「立場や地域を超えた顔の見える関係」をつくるため、毎週月曜日に全国の公務員や地域リーダー、プロボノ、民間企業など100～200名が集まる人気オンラインコンテンツ「全国防災関係人口ミートアップ」を「ぼうさいこくたい」で再現します。毎年恒例の「フィッシュボウル形式による対話型熱血セッション」で仲間をつくりましょう！

W-08

17 (土) 14:30 ～ 16:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 4

企業向け

企業と地域を守るBCP普及啓発セミナー

主催団体：鳥取県商工労働部商工政策課

- ・企業BCPの基礎知識や必要性を解説[講師:セコム山陰株式会社 中村氏]
- ・鳥取県内企業による事業継続力強化の取組発表 (災害時の対応、地域との連携など)
- [発表予定:美保テクノス株式会社、株式会社寺方工作所]
- ・鳥取県の企業BCP支援策の取組の紹介[発表:鳥取県商工政策課]

W-09

17 (土) 16:30 ～ 18:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 4

一般向け | 子供向け

赤十字防災セミナー「大雨・台風の避難スイッチ」

主催団体：日本赤十字社

「大雨・台風の避難スイッチ」は、避難の答えを作る場ではなく、迷いを減らし、避難行動について、考え始める入り口となるセミナーです。日頃からの準備の大切さを理解し、「判断の迷いや先送り」を減らすことが、命を守ることに繋がります。「迷いを減らす」「判断して動ける」「声かけが増える」という主に3つの変化を促すことで、避難行動の実効性を高めてまいります。

W-10

18 (日) 10:30 ～ 12:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 4

一般向け | 学生向け

「20分でオリジナル防災実施案を作る」～防災映画から「減災」「地域づくり」のテーマを選び、携帯のAIで地域・学校に合う防災案をこの場で作成～

主催団体：東京 AI 防災映画祭 実行委員会 (ボランティア地域防災コミュニティ)

各地域の実情に合わせて防災実施案をオリジナルで作成する。完成品を持ち帰り、各地域で活用できる。生成AIを用いて、短時間で作成する。携帯を使用します。テーマは「減災」「地域づくり」「防災教育」から選ぶ。学校・地域・企業向け。無料の防災映画や防災音頭のコンテンツも使用し、QRコードで持ち帰れます。データは著作権上お渡しできません。

W-11 18(日) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 4 自治体向け | 一般向け

妊産婦さん、ちいさなお子さんご家族のための災害対策

主催団体：公益社団法人 日本助産師会

妊産婦さん、ちいさなお子さんご家族のための災害対策を紹介します。一緒に体験しましょう！*防災対策パンフレット「助産師が伝える災害時の知恵ぶくろ」の展示と配布
*妊産婦さんやお子さんの災害時持ち出し物品の紹介*妊婦体験ジャケットをつけ防災リュックを背負う体験*災害時の授乳について、コップ授乳体験*災害時のおむつ交換体験、ビニール袋でおむつカバー作り体験*赤ちゃんを連れての安全な避難体験

W-13 17(土) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 5 一般向け | 子供向け

遊んで学ぶ！家族でチャレンジ マイクラで洪水避難体験

主催団体：SIP「スマート防災ネットワークの構築」

実際の街を再現したマインクラフトの世界で、タブレットを使って洪水時の避難を体験するワークショップを実施します。親子で楽しみながら、避難のタイミングや避難先を確認する大切さを学びます。子どもから大人まで、洪水リスクを自分ごととして捉え、自分や大切な人の命を守るために何ができるかを考える機会となるワークショップです。

W-15 17(土) 16:30 ~ 18:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 5 自治体向け | 一般向け

地図からわかる鳥取の自然災害—古地図で読み解く災害リスクとハザードマップ作成支援—

主催団体：特定非営利活動法人 地図で防災・まちづくりサポート

地図会社出身のメンバーが、鳥取の自然災害(水害・地震等)について、地図上に現れた災害の痕跡や地形・土地利用の変遷から読み解ける災害リスクの講義を行う。また、愛知県で実施されている「みずから守るプログラム」において、豊山町で取り組んだ手づくりハザードマップの事例を紹介する。最後は明治期の古地図を参加者とともに見ながら現在の地図と比較し、気づきを出し合いながら災害リスクについて語り合う。

W-17 18(日) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 5 一般向け | 学生向け

鳥取市の防災関係機関が考えた「鳥取市版非常持ち出し品リスト」で非常持出袋作成ゲームに挑戦しよう！

主催団体：鳥取市(鳥取市防災関係機関共同チーム)

各機関の災害活動時の装備品を参考に鳥取市版非常持ち出し品リストを提案することで、市民の備えるべきものの指針を示します。また、ワークショップにより非常持出袋の作り方やポイントを学んでいただきつつ、現場活動をする防災関係機関ならではのバックギン法を実演・体験していただくことで、来場者の住む地域での防災活動や災害時時の市民の相互協力を促進し、防災力の向上に寄与します。

W-19 17(土) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 6 自治体向け | 一般向け

ちょうふ防災スクラム——インクルーシブ防災とコミュニティ防災が目指すその先へ

主催団体：リソース・ネット&ちょうふ災害福祉ネットワーク

障害のある子供や大人は、ひとたび大きな災害に見舞われると、たちまち困難な状況に置かれてしまいます。インクルーシブ防災やコミュニティ防災が目指している方向を見据えながら、誰もが安心できる福祉避難所の実現のために、何をどう進めていけばいいのか、何が問題になっているのか等、様々な視点から分かりやすく解きほぐし、問題提起を行いながら話し合いを深めて、解決の糸口を探っていきます。

W-21 18(日) 10:30 ~ 12:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 6 自治体向け | 一般向け

ぼうさい学んで話彩や(はなさいや) ~「今こそもっと、避難生活に安全・安心を!!」ともに考えよう！被災地の女性の声にも学びながら~

主催団体：鳥取県男女協働未来創造本部

災害時の避難生活において、被災者支援に不可欠な男女共同参画の視点を踏まえながら、被災地の女性ニーズを学び、避難所や避難生活における安全・安心のために必要な実践的な対策について話し合うワークショップです。併せて、鳥取県男女協働未来創造センターよりん彩(エースバック未来中心1階)でジェンダー視点の避難所展示等も行います。

W-12 18(日) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 4 一般向け | 学生向け

大学生が考える避難所運営の在り方

主催団体：静岡大学学生防災ネットワーク

「リアルHUG(リアル避難所運営体験ゲーム)」を通じて、防災における共助の重要性を学べる企画を実施します。参加者は避難所運営側または避難者側となり、物資不足や要配慮者への対応、情報共有の混乱など実際の避難所で想定される課題に対して判断を行います。限られた資源の中での意思決定や他者との協力を体験することで、楽しみながら主体的に防災について考え、地域で支え合う力の向上を目指します。

W-14 17(土) 14:30 ~ 16:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 5 自治体向け | 一般向け

医療的ケア児等災害対策研修会

主催団体：日本小児神経学会災害対策委員会

われわれは医療的ケア児等が自宅で災害に遭遇した場合を想定し、「医療的ケア児等災害対策研修会」のツールを作成し、全国各地で支援者を対象に研修会を開催している。今回はその内容を参加型ワークショップとして提供する。避難の判断・避難先・持ち物・通信手段・電源確保など、医療的ケア児特有の課題をグループで意見を出し合い、小児神経専門医の解説も交えて平時からの備えを学ぶ。

W-16 18(日) 10:30 ~ 12:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 5 一般向け | 子供向け

FCP(家族継続計画) 推進運動

主催団体：公益社団法人 日本青年会議所

FCP(Family Continuity Plan)シートを活用し、家族で防災について話し合いながら備えを可視化するワークショップを実施します。子どもも参加しやすい体験型プログラムとし、家庭内での共助意識を高めます。企業CSRとも連携し、日常生活に防災を取り入れるきっかけを創出します。

W-18 17(土) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 6 一般向け | 子供向け

どちらに逃げる？避難経路の危険が見えるスマートハザードマップ体験会

主催団体：スマートハザードマップ協働研究体(愛媛大学・徳島大学・麗澤大学・摂南大学・大阪電気通信大学・防災科学技術研究所)

南海トラフ巨大地震による津波を想定した3D避難ゲームを体験します。徳島県阿南市橘町を舞台に、浸水や建物倒壊、道路閉塞、混雑などを考慮しながら避難経路を判断します。体験後は、避難行動や地域の共助について考えます。JSPS科研費等の研究成果を活用したワークショップです。

W-20 17(土) 16:30 ~ 18:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 6 一般向け | 子供向け

【はち公と一緒に防災音頭を踊ろう！】(曲は185ヵ国配信) ~音楽で心と体を守る共助型防災教育~避難所レジリエンスプログラム

主催団体：はち公防災教育プロジェクト

はち公監督映画「渋谷防災街づくり」(15分)を鑑賞後、映画の「防災音頭」を参加者で踊ります。防災音頭は被災地の孤独や体を守るレジリエンスです。また、地域の共助をつくる交流です。映画は学校と住宅併設のハチ公防災ビルを紹介。減災の比較①耐震化100%(50%残) ②新築(80%残) ③学校住宅高機能防災(100%残)(東京都の被害想定資料「首都直下地震等による東京の被害想定(令和4年5月公表)」

W-22 18(日) 12:30 ~ 14:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 6 一般向け | 子供向け

災害時に命を守るDMATとは？-体験とクイズで知る災害時の医療支援

主催団体：一般社団法人 日本災害医学会

災害が起きたとき、限られた時間や人手の中で被災地に駆けつけて医療支援を行うDMATはどのように多くの命を守るのでしょうか。「あなたならどうする？」クイズに挑戦しながら、DMATの活動や、地域の病院・行政などが力を合わせて人々を支える仕組みを楽しく学びます。災害医療の舞台裏を知り、自分や大切な人の命を守るためにできることを考える、子どもから大人まで楽しめる参加型ワークショップです。

W-23

18 (日) 14:30 ～ 16:00
エースバック未来中心 2F セミナールーム 6

一般向け | 子供向け

ぼうさいクイズと工作で学ぼう! 楽しもう!

主催団体: 防災専門図書館 (公益社団法人全国市有物件災害共済会)

防災専門図書館の「防災いろはかるた」は、ことわざをもじって作成したオリジナルかるたです。ワークショップでは、かるたを使ったクイズで遊びながら、かるたの内容を理解することで、身を守る防災知識を学ぶことができます。工作も実施予定です。また、ゲーム後には「防災いろはかるた」や、図書館所蔵の江戸時代のかわら版を印刷したクリアファイルをプレゼントします。小学生～大人(親子連れ・お友達同士) 大歓迎! です。

W-25

17 (土) 14:30 ～ 16:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 1

自治体向け | 一般向け

発達障害等『災害弱者』の防災を考える ～防災サポートブック作りを中心に～

主催団体: 関り感を抱える子を支援する親の会 / らっきょうの花

発達障害等『災害弱者』にとって、大きな災害はストレスの高い事態です。1人の場合に被災する可能性も。そこで避難時に役立つ我が子の『防災サポートブック』を作成しませんか? NPO法人全国LD親の会の仲間が制作し、無償公開しているサイト「うえぶサボ」を利用し、スマートフォンで作りましょう。全てのオンライン上で、名前とパスワードがあれば情報の呼び出しが可能に上に、紙で印刷しての持ち歩きも可能です。

W-27

18 (日) 10:30 ～ 12:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 1

自治体向け | 一般向け

災害時 命と生活を繋ぐ、リヤカー

主催団体: 高齢社会をよくする会くらよし

地震や水害等で道路が寸断され、救急車が入れない状況でも、電気に頼らない、このシンプルな道具が多くの命や生活を救う可能性があります。リヤカーという昔ながらの道具が、高齢者、女性で利用でき守られる側からできることは助け合う共助につながる。当事者の避難、物資の運搬など実体験を行うワークショップ(避難体験者・支援者等で報告・課題を語ることから学びを発展)リヤカーの普及率等の調査報告

W-29

18 (日) 14:30 ～ 16:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 1

専門向け(学術界) | 一般向け

避難所DXとファイナンスで「新しい共助」を創生する

主催団体: 青森大学東京キャンパス

荒川氾濫は、東京都江戸川区の9割を2週間水没させる。奇跡的に水没しない当避難所に、行き場のない区民が殺到する。災害関連死抑制に向け、日本初の①避難所受付から物資の配給・シャワー等予約実務、退所手続き迄をサポートする「避難所運営支援システム」②室内テント等避難所装備品の充実資金を調達する「コミュニティ水災保険」を開発。同システムの実演と参加者による操作を通じ「新しい共助」の在り方を考え議論したい。

W-31

17 (土) 16:30 ～ 18:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 2

自治体向け | 一般向け

地域の多様なひとびとと遊びながら考える 『災害ケースマネジメント』すどころ

主催団体: 災害ケースマネジメントすどころ作成プロジェクト@ CoAct

被災経験のない地域では災害時の課題を知らなかったり、具体的な共助や受援の知識も乏しいです。そこで能登半島地震を含む過去の被災地での課題や支援を誰でも楽しく学べる「すどころ」の形にしました。この「すどころ」をワークショップで体験して頂き、被災者それぞれの状況に合わせた支援を行う「災害ケースマネジメント」や地域の共助や受援について様々な方と考える予定です。

W-33

18 (日) 12:30 ～ 14:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 2

自治体向け | 一般向け

能登半島地震の経験から考える、住民と行政がデジタルで備える被災者支援 ～避難所外の被災者を把握し、支援につなぐには～

主催団体: 一般社団法人 GovCare Technologies

能登半島地震で課題となった、在宅・車中泊・広域避難など、避難所外被災者の把握と支援へのつなぎを取り上げます。住民によるSNSでの状況発信と、行政・支援機関による情報集約、支援対象者の把握を体験し、次の災害への備えを住民と行政の双方から考えます。

W-35

17 (土) 12:30 ～ 14:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 3

企業向け | 自治体向け

コミュニティダイニング全国会議発足! セントラルキッチン方式とコミュニティダイニングがつなぐレジリエンスな未来～防災が育む、企業と地域のあたらしいカタチ～

主催団体: コミュニティダイニング全国会議

コミュニティダイニングは、食を囲むことで、人と人とのつながりを紡ぎなおします。全国会議では各地の実践者をつなぎ、「災害時のセントラルキッチン方式」の普及を進めています。ぼうさいこくたい2026では、防災や食が企業と地域の新たな接点となり、平時からの信頼関係を育む可能性に着目。企業の様々な取組を紹介しながら、地域とともにレジリエンスを高める、新たな企業と地域の関わり方を考えます。

W-24

17 (土) 12:30 ～ 14:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 1

自治体向け | 一般向け

再現! 避難所のトイレ

主催団体: エンジェルランブ

2024年の能登半島地震で、被災地の避難所トイレ環境を整えた。掃除から、使い方の講習の実施や協力者の募集を行い、住民主体で環境改善に取り組んだ結果、トイレの使い方は定着した。名古屋に戻り、災害時のトイレ啓発の重要性を改めて痛感し、これまで続けてきたトイレ講座の意義を再確認した。この経験をもとに「再現! 避難所のトイレ」講座を開き、「天使の輪」による衛生的な使い方やトイレのBCPの提案を盛り込んでいる。

W-26

17 (土) 16:30 ～ 18:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 1

自治体向け | 一般向け

クロスロードでつなぐ ―神戸、新潟、仙台、熊本: 伝えてきたこと、そして次へ―

主催団体: 全国クロスロードネットワーク会議

各地のファシリテーターによるクロスロードの実施(設問も各地のもの)。

W-28

18 (日) 12:30 ～ 14:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 1

自治体向け | 子供向け

絵本と玩具で避難所の〈遊び〉をデザインする

主催団体: 鳥根県立大学子どもの居場所づくりチーム

子どもが安心して過ごせる避難所での居場所づくりについて、具体的な提案を行います。避難所の子どもにとって遊ぶことは心身の回復にもつながります。出展では、避難所で利用するキッズスペースを設置し、避難所向けの絵本や木のおもちゃを用意し、実際に遊べたり本を読む空間をつくります。また、絵本の選書のワークショップや読み聞かせなどを通して子どもの居場所づくり、心身のケアについても考えてもらおう機会とします。

W-30

17 (土) 12:30 ～ 14:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 2

専門向け(学術界) | 自治体向け

みんなで考えよう「伝わる防災」

主催団体: 若者防災協議会

当会が作成した教材を体験し、より多くの層に「伝わる防災」を考えるワークショップです。参加者は教材を実際に体験した上で、教材を別のターゲット層へ展開するための工夫やアレンジ案を考え、その後得られた意見を当会が持ち帰り、新たな対象層向け教材の開発に反映します。参加者自身の発想が実際の教材化につながる点が特徴であり、参加者も教材化のプロセスに関わることで得られる学びがあると思います。

W-32

18 (日) 10:30 ～ 12:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 2

自治体向け | 一般向け

「やさしい日本語」でつながる防災! ～かるた・クイズで学ぶ共助のカタチ～

主催団体: 公益財団法人 鳥取県国際交流財団

外国人住民の増加に伴い、災害時の言語や文化の壁による孤立が課題です。本出展では、情報弱者を作らない「やさしい日本語」を軸に、多文化共生の視点での共助を提案します。具体的には、やさしい日本語による「防災かるた」や「〇×クイズ」、身近な物を使った「防災グッズ作り」等の体験型ワークショップを実施。誰もが理解しやすく、互いに助け合える意識を醸成することで、人権を尊重した地域防災力の向上を目指します。

W-34

18 (日) 14:30 ～ 16:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 2

一般向け | 学生向け

HIRAQ(ヒラク)で育てる「考える防災者」 ～災害時に命を守る判断力を学ぶ～

主催団体: 山陰 MSA FAC (Future Agent Club)

災害避難シミュレーション教材HIRAQ(ヒラク)を使い、参加者が災害時に自分ならどう行動するかを考え、参加者同士で話し合っ協力しながら判断、選択していく体験型シミュレーションゲームを行います。1つの正解を求めるのではなく、命を守るために自ら考える力を育てることを重視し、地域の防災意識の向上と「考える防災者」の育成を目指していきます。子どもから大人まで年齢を問いません、お気軽にご参加ください!

W-36

17 (土) 14:30 ～ 16:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 3

一般向け | 子供向け

こどもと女性目線で誰一人取り残さない災害対応 ～多様性に配慮できる避難所運営～

主催団体: 一般社団法人こども女性ネット東海

「こどもと女性視点」はこどもと女性のためではなく、衛生・育児・心理・孤立・プライバシー・コミュニティ形成など生活者視点であり従来のインフラ中心の防災の活動とは一線を画する。多様性配慮できる避難所の環境や運営について考えます。人にやさしい任意の小規模避難所のためのファーストミッションボックスづくり、こどもと女性目線のHUG演習体験のふたつのテーマでワークし、最後に課題や今後の展望を共有する。

W-37 17(土) 16:30 ~ 18:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 3

自治体向け | 一般向け

災害後の“住まいのこまりごと”から考える応急仮設住宅

主催団体：一般社団法人プレハブ建築協会

本出展では、災害時の応急仮設住宅を供給してきたプレハブ建築協会の活動をご紹介します。ワークショップを通じて、一般の方、行政、消防関係者が一緒に災害後の住まいの困りごとや不安を共有し、被災者の暮らしに寄り添う応急仮設住宅に求められる配慮や工夫について考えます。ワークショップを通じて、参加者の声を今後の応急仮設住宅の住まいづくりに活かしていきます。

W-39 18(日) 12:30 ~ 14:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 3

一般向け

0次防災グッズ×防災クロスロード
～頻発する豪雨・土砂災害に備える～

主催団体：学校法人鶴学園 広島工業大学 地域防災減災教育研究推進センター / 学生防災士会

平成26年8月豪雨や平成30年7月豪雨など、広島県では記録的大雨による数々の豪雨土砂災害を経験してきました。本ワークショップでは、これまでの土砂災害経験を教訓として考案したクロスロードを通じて、将来激化が予想される豪雨土砂災害に対する避難判断をはじめとする防災対応について、参加者の皆様と共に学びます。また、日ごろから持ち歩くかばんの中身を見直し、日常でも活用できる防災バッグの工夫を紹介します。

W-41 17(土) 14:30 ~ 16:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 2

専門向け(学術界) | 一般向け

ぼうさいオオギリ

主催団体：大阪大学大学院工学研究科 倉敷研究室 & 一般社団法人予防防

防災行動を学びたい実行したいと思っても行動できない課題や態度(お題)に対し、改善を促す言葉(ボケやツッコミ)を考えるWS「ぼうさいオオギリ」を実施します。改善したい状況や相手を具体的に想定し、自分の言葉で働きかけを考えることで、防災を自分ごととして捉え、自助・共助の意識を育みます。さらにオオギリを現在と未来(災害後)の視点で2回実施し、防災に対する長期的・広範な視点の形成も図ります。

W-38 18(日) 10:30 ~ 12:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 3

一般向け | 子供向け

親子で一緒に！子どもと親をつなぐパラコード・ロープ編み体験

主催団体：とっとり若者活躍局

災害時は荷物の固定や靴紐、バッグの応急処置など多様な場面で役立つパラコードを使って、皆さんに日常で持ち運び可能なドリンクホルダーを作成していただきます。平時はどこに持って行こうか、災害時はほどいてどんなことに使えるか、親子や参加者同士で話し合いながら編んでいただく時間にしたいと思います。

W-40 18(日) 14:30 ~ 16:00
鳥取県立美術館 1F スタジオ 3

一般向け | 子供向け

鳥取県を冒険しながら学ぼう！「天気予報クエスト」

主催団体：株式会社 南気象予報士事務所

舞台は鳥取県。身近な風景を突然気象災害が襲う…！危険を伴いながらもゴールを目指す“勇者”と、正しく安全に導く“気象予報士”に分かれて行う仮想冒険RPG！新しい防災気象情報についての知識や避難行動につながる声掛けの仕方などを、実演や体験を通して楽しみながら学べます。テレビやラジオで気象の情報を伝えている現役の気象予報士がプロデュース。気象予報士の仕事についての質問などにもお答えします。

オンライン・ワークショップ

WO-01 18(日) 14:30 ~ 16:00

自治体向け | 一般向け

災害時における授乳アセスメント(聞き取り)を体験しよう

主催団体：母と子の育児支援ネットワーク

内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」の「授乳アセスメントシート」を参加者が体験的に使い、栄養法ごとに必要な避難所での母子支援を学び、理解を深める。2020年以来ぼうさいこくたいで毎年出展し、実践的だと参加者に好評。「授乳アセスメントシート」が2025年11月に一部改訂され、より使いやすくなってからは初のワークショップとなる。

ブース展示

B-001 エースバック未来中心 アトリウム

企業向け | 一般向け

AR(拡張現実)を活用した豪雨・暴風と大雪・吹雪の疑似体験

主催団体：一般財団法人日本気象協会

B-003 エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 自治体向け

エモくてたのしい防災を、中部から。
～若手技術者・実務者・研究者の顔の見えるつながり～

主催団体：若手技術者セミナー ESPER(エスパー)

B-005 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

毎日の暮らしを支えるとともに災害に強い
「LPガス」をお伝えします

主催団体：日本LPガス団体協議会

B-007 エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 自治体向け

印刷業界が提供する“あなただけの”避難場所マップ

主催団体：一般社団法人日本グラフィックサービス工業会

B-009 エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 学生向け

つなぐ、いのちのメッセージ、未来へ
～つながる防災ラボの取組～

主催団体：つながる防災ラボ

B-011 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

防災4コマまんがで伝える防災教育

主催団体：いろはな防災

B-002 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

いつもの暮らしがもしもの備えに

主催団体：株式会社地球Labo

B-004 エースバック未来中心 1F アトリウム

専門向け(学術界) | 一般向け

公立大学連携による防災・減災・復興への取り組み

主催団体：公立大学防災研究教育センター連携会議

B-006 エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 一般向け

災害と向き合い研究・行動する研究室
～東京理科大学工学部建築学科高橋研究室

主催団体：東京理科大学 高橋研究室

B-008 エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 子供向け

つくる！なおす！まもる！地域建設業の取り組み

主催団体：一般社団法人全国建設業協会

B-010 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

誰一人取り残さない防災プロジェクト(インクルーシブ防災)
多世代・障がい者による「支え愛」地域づくり

主催団体：三柳団地2区自主防災会(鳥取県米子市加茂地区)

B-012 エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 自治体向け

防災×健康を「ぼうけん」と銘打って、「事前防災」と「健康増進(未病・予防)」を統合した「フェーズフリー」な社会モデルの構築を支援します。

主催団体：防災×健康による「ぼうけん研究会」

B-013 エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 学生向け

歴史文化と災害対策～「歴史文化資料保全の大学・共同利用機関ネットワーク事業」の紹介～

主催団体：国立歴史民俗博物館

B-015 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 学生向け

楽しい防災教育から広がる生活防災・地域防災

主催団体：千葉商科大学

B-017 エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 子供向け

地域の防災力を高める

主催団体：広島市防災士ネットワーク

B-019 エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 学生向け

持続可能性×防災イベント「未来ノオト」が繋ぐ地域のレジリエンス

主催団体：公立鳥取環境大学 学生 EMS 委員会

B-021 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

防災体操第一（地震編）～防災知識の普及と避難行動・避難生活に備えた体力づくり～

主催団体：大阪人間科学大学萩原ゼミ・流通経済大学大槻ゼミ

B-023 エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 一般向け

静岡県浜松市における災害対策ローカルネットワーク～災害ケースマネジメントの取組～

主催団体：浜松の企業が手をつなぐ災害支援ネットワーク はままつ nanet

B-025 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

二地域居住×防災（二地域居住者と受入住民と共同の防災ワークショップの実施、智頭町でのモニターツアーの実績報告）

主催団体：ANA二地域居住防災モデル実証コンソーシアム（代表企業：ANAあきんど株式会社）

B-027 エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 自治体向け

災害時の洗濯に備える「災害備蓄ランドリー®」をご紹介します

主催団体：株式会社フーマイスターエレクトロニクス

B-029 エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 学生向け

防災・ぼうさい・BOSAIの未来（これから）

主催団体：ママコミュ！ドットコム×レジリエンス教育研究所×グローバルユース防災サミット

B-031 エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け

おとなも子どももなかなくとぼうさい～Enabling City™ Walk!を用いた試み～

主催団体：なるとにし てとてとて

B-033 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

内閣府ふるさと防災職員の活動紹介～地域防災力を高める取組～

主催団体：内閣府防災担当（地域防災力強化担当）

B-035 エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け

平時・災害時に活躍するLPガス！！

主催団体：一般社団法人鳥取県 LP ガス協会

B-014 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 学生向け

学校から家庭・地域へ広がる防災教育と備えー中学生の防災教育を起点に、地域に合わせた学びと備蓄で防災力を高めるー

主催団体：株式会社ベガサス

B-016 エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 一般向け

「1人が手を伸ばせば、1人の手をつかめる」～支援の輪から地域の輪へ～

主催団体：特定非営利活動法人 災害支援団 Gorilla

B-018 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

中越大地震の経験を未来へ～設立から20年、中越防災安全推進機構の歩みと変革～

主催団体：公益社団法人中越防災安全推進機構

B-020 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 学生向け

大学の防災サークルとしての新しいカタチー医療系学生が担う災害支援ー

主催団体：岡山大学災害支援学生チーム Aegis

B-022 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

男女共同参画視点での防災

主催団体：独立行政法人男女共同参画機構

B-024 エースバック未来中心 1F アトリウム

学生向け | 子供向け

大学発ベンチャーの防災教育と若者の災害ボランティア活動支援

主催団体：一般社団法人 BOSAI Edulab

B-026 エースバック未来中心 1F アトリウム

学生向け | 子供向け

若者が担う地域防災ー青年赤十字奉仕団としての学びと実践ー

主催団体：名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団 ハートフル♥エデ

B-028 エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 自治体向け

フェーズフリーでつなぐ学校・地域・社会～レジリエンストイレの普及と未来への展開～

主催団体：株式会社LIXIL

B-030 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

岐阜県と岐阜大学が共同設置したシンクタンクが展開する人材育成プログラムの実践例

主催団体：ぎふ防災・減災センター「げんさい未来塾」

B-032 エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

よんなな防災会は47の都道府県の仲間が集うコミュニティです

主催団体：よんなな防災会

B-034 エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 学生向け

愛知工業大学地域防災研究センターや所属する学生防災研究会「学防ラボ」の活動紹介

主催団体：愛知工業大学地域防災研究センター・学生防災研究会「学防ラボ」

B-036 エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 自治体向け

静岡県の産官学民連携による防災教育ネットワークの構築

主催団体：静岡防災教育推進協議会

B-037

エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

その時3日間を生き延びる!〜学校やマンションでの実践〜

主催団体: 認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク

B-039

エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

よんなな女子部員おすすめ!
全国のステキな防災冊子を集めました♪<Part5>

主催団体: よんなな防災会女子部

B-041

エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 学生向け

BOSAIラボの挑戦〜学生が創る防災・減災の未来〜

主催団体: 横浜国立大学 BOSAI ラボ

B-043

エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

「災害図上訓練DIGで一緒に地域防災を考えませんか?」

主催団体: 海ぼうずの会 (「ふじのくに DIG セミナー」参加者の会)

B-045

エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 子供向け

るりゅーる鳥取 防災プロジェクト
〜つながる・まもる・そなえる〜

主催団体: るりゅーる鳥取

B-047

エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 学生向け

社会福祉協議会が取り組む地域防災と地域福祉

主催団体: 鳥取県内社会福祉協議会

B-049

エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

気づくことから始まる、避難生活での「安心」づくり
〜鳥取県災害派遣福祉チームの視点から〜

主催団体: 鳥取県福祉保健部ささえあい福祉局福祉保健課

B-051

エースバック未来中心 1F リハーサル室

自治体向け | 一般向け

浮く板 水上にフリースペースを作ることができるフロート

主催団体: 帝金株式会社

B-053

エースバック未来中心 1F リハーサル室

一般向け | 学生向け

群馬工業高等専門学校環境都市工学科
都市減災研究室の取り組み

主催団体: 群馬工業高等専門学校 環境都市工学科 都市減災研究室

B-055

エースバック未来中心 1F リハーサル室

企業向け | 自治体向け

MOFを活用したバイオマスガス貯蔵・輸送技術の開発

主催団体: 長岡技術科学大学 地域防災実践研究センター

B-057

鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

避難所環境の改善に向けた鳥取県の挑戦

主催団体: 鳥取県危機管理政策課

B-059

エースバック未来中心 1F リハーサル室

企業向け | 一般向け

水害から我が家を救う新常識!
床下浸水防止システムと津波映像で学ぶ「我が家の守り方」

主催団体: 一般社団法人 防災住宅研究所

B-038

エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 一般向け

「衣・食・住」からみるさらなる安心への提言

主催団体: Hiroshima まもり隊

B-040

エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 学生向け

若者がつなぐ防災共助ネットワークと地域復興の実践

主催団体: 特定非営利活動法人 日本若者防災復興協会

B-042

エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 自治体向け

【能登震災】20ヶ月の活動から学んだドローン活動を全国へ

主催団体: 一般社団法人 MASC/ 一般社団法人日本ドローンビジネスサポート協会

B-044

エースバック未来中心 1F アトリウム

一般向け | 学生向け

地域と連携し、共に学ぶサークル活動をめざして

主催団体: 飯田短期大学 食と防災サークル

B-046

エースバック未来中心 1F アトリウム

自治体向け | 一般向け

自治体・自主防災組織と連携した大学生による地域防災〜埼玉県新
座市における避難マップ・マニュアル作成と安否確認訓練の取り組み〜

主催団体: 立教大学 原田峻ゼミ

B-048

エースバック未来中心 1F アトリウム

専門向け(学術界) | 自治体向け

速報! 令和8年 熊本地震 〜被災した福祉施設の現場より〜

主催団体: NPO 法人 高齢者住まいる研究会

B-050

エースバック未来中心 1F アトリウム

企業向け | 一般向け

気候変動時代の企業防災: サプライチェーン情報と
災害リスクデータをつなぐ共創調査

主催団体: 株式会社アイボリー

B-052

エースバック未来中心 1F リハーサル室

自治体向け | 一般向け

おやこで作る防災えほん〜気象予報士による“心に届く防災”

主催団体: オンリー one 防災

B-054

エースバック未来中心 1F リハーサル室

企業向け | 一般向け

水害への備えと避難、水害のジブンゴト化

主催団体: 北海道大学 (SIP: リスク情報による防災行動の促進)

B-056

エースバック未来中心 1F リハーサル室

企業向け | 自治体向け

水位が測定できる浸水検知システム「Watevel(ウォタベル)」、
フェーズフリーな防災マット「MATOMAT(マトマット)」

主催団体: 太平洋工業株式会社

B-058

エースバック未来中心 1F リハーサル室

自治体向け | 一般向け

「地区住民による津波防災対策計画立案のための手引き」完成!

主催団体: 国際津波防災学会 手引き制作分科会

B-060

エースバック未来中心 1F リハーサル室

専門向け(学術界) | 一般向け

災害DNAに挑む
〜建設コンサルタントが明かす水防災の最前線〜

主催団体: 株式会社東京建設コンサルタント

B-061 エースバック未来中心 1F リハーサル室

一般向け

「産官連携」福祉と防災をつなぐフェーズフリーの取組

主催団体：米子市×山陰バナソニック

B-063 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け | 子供向け

親子で広げる支え愛防災～みんなでつくるおやこ防災絵本・ツールと家庭×地域×オンライン防災啓発活動～

主催団体：防災ママかきつばた

B-065 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 自治体向け

独立運用が可能な防災拠点【防災備蓄ココステーション】
まちなか避難体験型コンテンツ【テラビット防災ワールド】

主催団体：ココロツナグ株式会社

B-067 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

子どもたちが主体的に学ぶサバイバル教育

主催団体：一般社団法人72時間サバイバル教育協会

B-069 鳥取県立美術館 1F ひろま

「共に考え、備え、守るための防災XR：
災害・避難所・災害医療をつなぐ研究成果の社会実装」

主催団体：株式会社白獅子

B-071 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け

あいサポート運動でつくる「支え愛」の社会

主催団体：鳥取県障がい福祉課

B-073 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 一般向け

自助を、ひとりにしない。事前防災の仕組みづくり

主催団体：一般社団法人J1-JO

B-075 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

赤ちゃんと逃げる
～子育て当事者がつくったおやこ防災の実践と体験～

主催団体：NPO 法人ながいく

B-077 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 一般向け

ひまわり防災検定でつくる共助の防災力

主催団体：特定非営利活動法人チームふくしま

B-079 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け | 学生向け

私たちの被災地ボランティア活動からの学び
～笑顔と温かさを感じて～

主催団体：名古屋学芸大学 あなみずSL2025

B-081 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

みんなの自主防～知りたい防災情報がすぐ分かる～
身近な情報が地域の防災力を高める

主催団体：株式会社熊平製作所

B-083 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

福祉と防災が連携した支え愛の地域づくり

主催団体：鳥取県日野町

B-062 エースバック未来中心 1F リハーサル室

自治体向け

迅速な罹災証明の発行による被災者支援

主催団体：鳥取県境港市

B-064 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 一般向け

災害への備え いざという時に役立つ食品

主催団体：希望（のぞみ）食品株式会社

B-066 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

共助人材のスキルアップと能力認定制度災害対策士

主催団体：東京大学生産技術研究所附属災害対策トレーニングセンター

B-068 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

みんなで考えよう！「あかり」による防災への取り組み

主催団体：一般社団法人日本照明工業会

B-070 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け | 学生向け

「みえまもりたい」による活動紹介

主催団体：みえ学生防災啓発サポーター

B-072 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

ジュニア防災検定®・防災検定®で自助共助を知ろう

主催団体：一般財団法人防災教育推進協会

B-074 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

地域と大学が取り組む災害時避難等の課題解決の取組

主催団体：岩手県立大学防災復興支援センター

B-076 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け

地域防災力の向上に資する日本防災士会

主催団体：特定非営利活動法人 日本防災士会

B-078 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 一般向け

防災自助・協働
～産官学民 手をつなぎ地域防災力を高めよう～

主催団体：NPO 法人 防災自助普及委員会

B-080 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け

コンビニエンスストア店舗などを活用したローリングストック
による日常防災のすすめ

主催団体：一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会 安全対策委員会

B-082 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

明日の安全を守る：地域の力で進める防災
一地区防災計画で実現する、安全な地域社会一

主催団体：一般財団法人関西情報センター

B-084 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 自治体向け

毎日着替えなくてもいい防災下着Sukuu

主催団体：株式会社パターン企画テルヌマ

B-085 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け

琴浦からはじめる みんなでつくる防災キットとわたしの備え

主催団体：琴浦町商工会女性部

B-087 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け | 学生向け

地域防災と消防団 ～地域防災の担い手確保と女性参画～

主催団体：公益財団法人鳥取県消防協会

B-089 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

つながる防災

主催団体：自治体研究会

B-091 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 自治体向け

災害対策は「自助」から「共助」の時代へ。

主催団体：ファシル株式会社

B-093 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け | 学生向け

鳥取県「高校生活動推進委員会」取組発表

主催団体：鳥取県教育委員会事務局体育保健課

B-095 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け | 子供向け

VRでリアル体験！親子の防災トレーニング

主催団体：東京海上日動火災保険株式会社山陰支店

B-097 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 自治体向け

子ども食堂を起点とした共助の地域モデル
～災害・復興支援から見えてきた、地域の「いつも」の力～

主催団体：認定 NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ

B-099 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け | 学生向け

「高校生の私たちにできること」一被災地・地域・データ・科学、
多視点から拓く災害レジリエンス

主催団体：BOUSAI ゼミな～実行委員会

B-101 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け | 学生向け

“過去”から学び“未来”のために“今”を考えよう！

主催団体：災害アーカイブズ

B-103 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け

ローリングストック啓発

主催団体：イオンリテール株式会社西日本カンパニー

B-105 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

トイレトペーパー製造メーカーから見た、災害時・非常時に起こるトイレ
トペーパーパニック。またそのペーパーパニックを起こさないために、私たち
が事前にできること。だれ一人取り残さないユニバーサルデザインをプラス

主催団体：有限会社丸英製紙

B-107 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

専門向け(学術界) | 学生向け

防災教育の可能性
～高校生とつなげる未来への防災・減災・伝災～

主催団体：宮城県多賀城高等学校災害科学科

B-086 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 自治体向け

～SAGAWAの防災～佐川アドバンス「防災BASE」が支える、
実効性ある共助のかたち

主催団体：佐川アドバンス株式会社

B-088 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

認知症観を刷新し、本人の声と力を活かした
地域防災にチャレンジ！

主催団体：認知症介護研究・研修東京センター

B-090 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

全国一人口が少ない鳥取県！
「地域の繋がり・支え愛」による地域防災の取組

主催団体：鳥取県危機管理部消防防災課

B-092 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 自治体向け

災害時でも「安全に」「長期間」「安心して」お使い頂ける
【災害用移動式トイレトレーラー】

主催団体：JPホームサプライ株式会社

B-094 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

地域と共にかんがえる 地域の未来をささえる
URの防災・復旧・復興

主催団体：独立行政法人都市再生機構

B-096 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

災害発生時、あなたはどの行動する？
～VRで体験し、マイ・タイムラインで備える～

主催団体：広島県

B-098 鳥取県立美術館 1F ひろま

一般向け | 子供向け

防災を楽しくわかりやすく「みんながやってみよう、ワクワクな
POP防災を推進！

主催団体：一般社団法人防災シスターズ3色井

B-100 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

休眠預金を活用した防災・災害復興支援事業

主催団体：一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

B-102 鳥取県立美術館 1F ひろま

企業向け | 自治体向け | 一般向け

「作る防災」から「動く防災」へ
～在宅避難者を見える化し、地域で支える共助モデル～

主催団体：株式会社コモングラウンド/株式会社 BlancPlus

B-104 鳥取県立美術館 1F ひろま

学生向け | 子供向け

”もしものとき”の「思いやり防災」
～ボーイスカウト・全国防災キャラバン～

主催団体：公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

B-106 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

「防災環境都市づくり」の取組みと
「2027年アジア太平洋防災閣僚級会議」仙台開催について

主催団体：仙台市

B-108 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け | 学生向け

災害を「他人事」から「自分事」へ

主催団体：一般社団法人 明日への架け橋

B-109 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け | 子供向け

先人の工夫や知恵に学ぶ！
四国防災八十八話マップ かるた&スゴロク

主催団体：四国防災八十八話・普及啓発研究会

B-111 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け | 子供向け

大地の成り立ちから知る防災のヒント

主催団体：日本ジオパークネットワーク

B-113 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

専門向け(学術界) | 自治体向け

地方自治体の災害対応を支える
「人と防災未来センター」の取り組みについて

主催団体：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

B-115 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け | 学生向け

食べてみらん? 超絶品 ～非常食をEveryday Foodに!～

主催団体：鳥取県立米子南高等学校 「課題研究」災害食チーム

B-117 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨の経験と教訓

主催団体：石川県危機管理部

B-119 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

災害時の衣生活を支える、災害洗濯支援体制構築の提案

主催団体：(一社) 日本衣生活支援機構

B-121 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

災害状況のリアルタイム遠隔把握

主催団体：株式会社シンクロアイズ

B-123 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

遊んで備える。地図でひらく防災のチカラ

主催団体：東京カートグラフィック株式会社ディレクティングマップ

B-125 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

不動産鑑定士による罹災証明書・住家被害認定調査への支援活動 ～不動産鑑定士の知見を活かし適切・公平な判定へ～

主催団体：公益社団法人日本不動産鑑定士協会連合会

B-127 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け

防災DXの推進 被災者の早期生活再建・自治体の業務効率化を実現

主催団体：富士フィルムシステムサービス株式会社

B-129 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

人とペットの災害対策

主催団体：環境省 動物愛護管理室

B-131 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

防災・非常食の展示及びご案内

主催団体：アルファード食品株式会社

B-110 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

ひろしまの災害対策

主催団体：広島市危機管理室

B-112 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

災害を「見える化」する国土地理院
～地理空間情報が支える災害対応・災害伝承～

主催団体：国土地理院中国地方測量部

B-114 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

専門向け(学術界) | 一般向け

原子力災害被災地域の歴史資料の保全と
地域自治体・住民との共有

主催団体：人間文化研究機構国文学研究資料館

B-116 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

専門向け(学術界) | 子供向け

「命をつなぐ未来を拓く」東日本大震災を伝承する
地域主体のネットワーク

主催団体：公益社団法人 3.11 メモリアルネットワーク

B-118 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

令和6年能登半島地震・奥能登豪雨からの復興の歩み

主催団体：石川県能登半島地震 復旧・復興推進部

B-120 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

専門向け(学術界) | 自治体向け

地域と連携した地域資料の調査と災害への対応

主催団体：合同会社 AMANE

B-122 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

和歌山県の防災・減災対策の取り組みについて

主催団体：和歌山県危機管理部

B-124 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

ペット同行避難対応型 防災DX ～自治体の負荷を、
テクノロジーで解決する人とペットの共助プラットフォーム～

主催団体：株式会社 Circulate Line/NPO 法人ペット防災ネットワーク

B-126 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

「Build Back Better (よりよい復興)」に関する
経験と教訓の発信

主催団体：国際復興支援プラットフォーム (IRP)

B-128 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

「防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム」のご紹介

主催団体：内閣府

B-130 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

「無電柱化は災害対応の一丁目一番地！
～津波避難路の確保から問う、インフラ強靱化の新フェーズ～」

主催団体：特定非営利活動法人電線のない街づくり支援ネットワーク

B-132 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

新聞社が取り組む防災事業

主催団体：中日新聞社

B-133 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

耐熱ポリ袋「アイラップ」活用術

主催団体：岩谷マテリアル株式会社

B-135 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

避難所備蓄用乳児用コット『ベビーにこっとHB11』

主催団体：コンビウィズ株式会社

B-137 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け

災害に備えた食品の家庭備蓄（ローリングストック）のすすめ

主催団体：中国四国農政局鳥取県拠点

B-139 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

官民共創による防災DXの推進

主催団体：デジタル庁・防災 DX 官民共創協議会

B-141 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

専門向け(学術界) | 自治体向け

官民連携型の野外救護所を目指して

主催団体：一般社団法人 野外救護所普及推進協議会

B-143 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

【LPガス非常用発電機ELEON】で70施設の採択が実現した『補助金フル活用で無理なく進める福祉BCP』

主催団体：株式会社エレオ

B-145 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け | 学生向け

あの日からの経験 みらいへの教訓

主催団体：東日本大震災・原子力災害伝承館

B-147 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

迫りくる土石流をVRで体験してみませんか？

主催団体：株式会社ウエスコ 防災・環境事業部

B-149 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け | 子供向け

国土交通省における土砂災害に関する防災教育の取組

主催団体：国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部

B-151 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1・2

企業向け | 自治体向け

被災時に本当に使える衛生ケア。新形状!ほんの2ステップ=10秒で完成する《簡易・洋式トイレ》。ノンアルコールで肌に優しいのに感染予防までできるウェットティッシュ。

主催団体：エビスタ コーポレーション

B-153 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1・2

自治体向け | 子供向け

地域防災と学校防災

主催団体：YY防災ネット

B-155 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1・2

自治体向け | 一般向け

福祉BCPと福祉避難所

主催団体：一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会

B-134 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

防災備蓄専用商品(衛生的なインナーウェアのご提案)

主催団体：株式会社ワコール

B-136 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 一般向け

もしもの花屋さん ～大学生が提案する『新しい防災』のカタチ～

主催団体：一般社団法人 OLEA

B-138 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

マイクロチップでペット防災

主催団体：環境大臣指定登録機関公益社団法人日本獣医師会

B-140 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

災害情報活用プラットフォーム「EDiSON」

主催団体：株式会社 INSPIRATION PLUS

B-142 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

防災DXに関する産官学民のコーディネーション

主催団体：一般社団法人耐災害デジタルコーディネーションセンター (DIT/CC)

B-144 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

地域インフラ連動型セーフティネット SevenFlow Safe

主催団体：株式会社 seven-seas tech

B-146 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け | 子供向け

実験で学ぶ土砂災害（発生日理・防ぐ方法）

主催団体：株式会社 藤井基礎設計事務所

B-148 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け | 子供向け

小学校における防災教育（教材化と実践事例）

主催団体：島根大学松本研究室

B-150 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1・2

企業向け | 自治体向け

子育て世帯を取り残さないフェーズフリーな可動式ベビーケアルーム「mamaro」の活用

主催団体：Trim 株式会社

B-152 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1・2

企業向け | 自治体向け

「共に考え・備え・守る」を、地図でつなぐ地域共創

主催団体：株式会社ゼンリン

B-154 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1・2

専門向け(学術界) | 自治体向け

避難所の鍵を開けてから、”5分”。あなたは、何をしますか？

主催団体：株式会社 ほっとプレイス 72

B-156 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1・2

自治体向け | 一般向け

ロングライフ牛乳等の防災食料備蓄とローリングストック

主催団体：日本テトラパック株式会社

B-157 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 自治体向け

堅牢なシェルター内に、安心できる空気環境を。

主催団体：プロテクトアーツ株式会社

B-159 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

停電対策 簡単切替で給電できます

主催団体：古川の自然を考える会 株式会社 AEF

B-161 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

災害時でも、みんなが「ホット」と出来る食事のご提案！

主催団体：ハウス食品グループ本社株式会社

B-163 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

能登半島地震から考える広域避難等の実務課題
—自治体間連携による実務知見の共有と循環—

主催団体：災害時の広域避難等を考える研究会

B-165 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

停電対策革命Eneco®

主催団体：アイコミュニケーションズ株式会社

B-167 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 自治体向け

災害直後72時間を支える「命の砦」(LPガス災害用バルク)

主催団体：一般財団法人エルピーガス振興センター

B-169 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 自治体向け

避難所を「動く仕組み」へ
—海外知見×3D・VRで動かす次世代避難所

主催団体：株式会社 SAKIGAKE JAPAN

B-171 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 自治体向け

ぼうさいきっず♪「安心安全ありがと防災♪」
～手話×音楽で広げる「こわくない・やさしい防災」～

主催団体：一般社団法人 tane・no・ha

B-173 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 一般向け

ポータブル電源で備える防災対策
—安全な選び方・使い方とJPPSAの取組み

主催団体：一般社団法人日本ポータブル電源協会 (JPPSA)

B-175 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

災害発生時における特別行政相談活動

主催団体：総務省鳥取行政監視行政相談センター

B-177 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 自治体向け

準天頂衛星システム「みちびき」の防災分野への活用
～災害・危機管理通報サービス～

主催団体：内閣府 宇宙開発戦略推進事務局 準天頂衛星システム戦略室

B-179 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 自治体向け

災害情報を、状況把握と意思決定へ。
—GENSAIX (ゲンサイクロス) —

主催団体：株式会社 減災ソリューションズ

B-158 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

スフィア基準 尊厳ある避難生活をすべての人に

主催団体：支援の質とアカウンタビリティ向上ネットワーク (JQAN)

B-160 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 自治体向け

介護施設向けリモート避難訓練システム

主催団体：長岡技術科学大学 レスキュー・安全工学研究室

B-162 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 企業向け

スマート・バツとView(iPhoneを使用した監視カメラと、
どこでも確認できるマルチビューワーステム)

主催団体：株式会社 Tech-Tech

B-164 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

同行避難に備える犬の防災食

主催団体：BOMB.

B-166 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

きこえない・きこえにくい人とのコミュニケーション方法や
避難所での「音声情報の見える化」について知ろう！

主催団体：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

B-168 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

一般向け | 学生向け

街の安心をつくる防災アイデア—災害教訓の伝承と
地域密着の情報発信

主催団体：JCOM 株式会社

B-170 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

一般向け | 学生向け

鳥取県における近年の地盤・土砂災害と自然災害伝承

主催団体：一般社団法人日本応用地質学会

B-172 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 自治体向け

総合防災アプリ クロスゼロ

主催団体：株式会社建設システム

B-174 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

「日常の投稿行動から始める災害への備え」

主催団体：東北電力グループ 通研電気工業株式会社

B-176 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 自治体向け

防災 THE PRESS ～インフルエンサーが発信する防災情報～

主催団体：防災 THEPRESS

B-178 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

平時の備えから災害時の対応まで
—LINEヤフーを活用した防災・災害情報の取り組み

主催団体：LINE ヤフー株式会社

B-180 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 一般向け

日本地球惑星科学連合の防災にかかわる活動の紹介

主催団体：地球惑星科学連合

B-181 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 一般向け

最後の一人を救うコミュニティアラートシステム ～防災科学リビングラボのご紹介～

主催団体：一般財団法人世界防災フォーラム 防災科学リビングラボ

B-183 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

体験型防災VRによる地域防災モデル

主催団体：株式会社 NeoRealX

B-185 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

市民協働による防災教育コンテンツの開発・公開

主催団体：CIVIC CARE

B-187 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

(文部科学省) 地震調査研究推進本部及び 火山調査研究推進本部の取組

主催団体：地震調査研究推進本部・火山調査研究推進本部 / 文部科学省

B-189 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

災害時のドローンによる物資運搬

主催団体：一般社団法人日本ドローン海岸漂着ごみ回収事業推進協会 JUCLA

B-191 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

専門向け(学術界) | 学生向け

能登の創造的復興に向けて —「知」と「ひと」が、未来を拓く—

主催団体：金沢大学能登里山里海未来創造センター

B-193 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

広島県・鳥取県・山口県共同運用型防災情報システム

主催団体：日本アイ・ビー・エム株式会社

B-195 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 自治体向け

研究者・実務者を対象とした火山対策スペシャリスト養成研修

主催団体：国立大学法人 山梨大学

B-197 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 自治体向け

災害時物資輸送用ドローン

主催団体：株式会社 Prodrone

B-199 上瀬コミュニティセンター 駐車場

自治体向け | 一般向け

「足紋採取会」自分証明書～「足紋(そくもん)」を採ってもしもの事態に 備えましょう! ～どんなことがあっても“足”で帰ろう家族のもとに!～

主催団体：特定非営利活動法人全国足紋普及協会

B-201 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け

東京臨海広域防災公園と防災体験学習施設そなエリア東京

主催団体：東京臨海広域防災公園

B-203 上瀬コミュニティセンター 駐車場

自治体向け | 一般向け

静岡県の防災対策

主催団体：静岡県

B-182 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け

災害時でも止まらない通信インフラ—260MHz自営網の実力

主催団体：一般社団法人防災行政無線研究所

B-184 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

専門向け(学術界) | 一般向け

「災害時の食」を考える—日本災害食学会：研究・連携・情報発信で食の備えをアップデート—

主催団体：一般社団法人日本災害食学会

B-186 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

専門向け(学術界) | 一般向け

ブロック玩具を活用した廉価な 三次元パラレル駆動式振動台の展示、体験

主催団体：BLIK DESIGNERS

B-188 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

自治体向け | 一般向け

防災科研の取り組み

主催団体：国立研究開発法人防災科学技術研究所

B-190 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

企業向け | 自治体向け

平常時も災害時も、ひとつのプラットフォームで～Manesus 災害 対応モード- 日常管理から緊急対応ヘシームレス移行～

主催団体：日本工営株式会社

B-192 鳥取県立美術館 2F コレクションギャラリー1-2

専門向け(学術界) | 企業向け

水中フォトグラメトリが変える沿岸防災

主催団体：日本海洋事業株式会社

B-194 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 一般向け

社会の変化、近年の災害からの知見を踏まえた、 防災、減災に資する国土強靱化を進めています

主催団体：内閣官房国土強靱化推進室

B-196 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 自治体向け

第14回中部ライフガードTEC2026 ～防災・減災・危機管理展～のご案内

主催団体：名古屋国際見本市委員会

B-198 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け

宮城県震災復興パネル展

主催団体：宮城県

B-200 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 自治体向け

災害時緊急対策支援～DHAT(Disaster Hankyu Assistance Team)～「長期化する支援」をサポートさせていただきます

主催団体：株式会社阪急交通社

B-202 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 一般向け

津波シェルター・浸水対策／富山県産耐震シェルター／ 木造メタボリズム住宅「WOOP®」

主催団体：株式会社サイエンス構造(東京理科大学発ベンチャー企業)

B-204 上瀬コミュニティセンター 駐車場

自治体向け | 一般向け

知ろう、活かそう、守っていこう「自然災害伝承碑」 —命を守り、暮らしを守る—

主催団体：一般社団法人日本石材産業協会 鳥取県支部

B-205 上瀬コミュニティセンター 駐車場

自治体向け | 一般向け

地震火災を防ぐ感震ブレーカーの普及と
停電しても暗くならない家づくり

主催団体：日本防災スキーム株式会社

B-207 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け | 子供向け

楽しく学ぼう！防災チャレンジ～クイズ&防災グッズ選び～

主催団体：一般社団法人 日本損害保険協会 中国・四国支部 / 財務省
中国財務局 鳥取財務事務所

B-209 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け

共助で支える災害対応人材と四国ネットワーク

主催団体：四国災害ボランティアネットワーク

B-211 上瀬コミュニティセンター 駐車場

専門向け(学術界) | 一般向け

国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(ひなぎく)の紹介

主催団体：国立国会図書館

B-214 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け | 子供向け

液状化に与える地下水位のデモ実験

主催団体：特定非営利活動法人 地盤・地下水環境 NET

B-216 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 一般向け

地域をうるおす恵みの災害時協力井戸

主催団体：鳥取県さく井協会

B-218 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 一般向け

災害に強い瓦屋根

主催団体：一般社団法人全日本瓦工事業連盟

B-220 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け

感震ブレーカーにカンシンをもとう！

主催団体：鳥取県感震ブレーカー普及協議会

B-222 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け | 子供向け

大切な命を守るために、ミニチュア倒壊家屋で説明する

主催団体：鳥取市若葉台南六丁目自主防災会

B-224 上瀬コミュニティセンター 駐車場

専門向け(学術界) | 一般向け

減災古文書研究会の活動紹介
—歴史資料から読み解く過去の災害—

主催団体：減災古文書研究会

B-226 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 自治体向け

NHK災害記録マップ(NHK ONE)

主催団体：NHK 鳥取放送局

B-228 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 一般向け

連合災害ボランティアの軌跡～労働組合としてできること～

主催団体：日本労働組合総連合会(連合)

B-206 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け | 子供向け

こくみん共済coop鳥取推進本部
VR地震体験・西日本豪雨災害パネル展示

主催団体：こくみん共済coop 鳥取推進本部

B-208 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け

稲むらの火・濱口梧陵～語り継ぐ津波防災～

主催団体：広川町日本遺産ガイドの会

B-210 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 一般向け

備えるだけじゃ守れない。防災と災害支援を繋ぐ現場のリアル

主催団体：一般社団法人四番隊

B-212 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け | 学生向け

被災地のために私たちに何ができるのか

主催団体：兵庫県立大学学生災害復興支援団体 LAN

B-215 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 自治体向け

電磁波ノイズによる地震予知「ゆれくるん」～地震発生の数日
前から地震予知情報をメールで知らせて日常生活を守る～

主催団体：株式会社新興技術研究所

B-217 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 一般向け

地震保険をご存じですか？(迅速な生活再建に向けて)

主催団体：日本地震再保険株式会社

B-219 鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け | 一般向け

鳥取県内で近年発生した災害

主催団体：鳥取県危機対策・情報課

B-221 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 自治体向け

断水時にも水が使える水循環システムのご紹介

主催団体：WOTA 株式会社

B-223 上瀬コミュニティセンター 駐車場

自治体向け | 一般向け

1.6鳥根県東部の地震と大雪事例の紹介

主催団体：日本気象予報士会山陰支部

B-225 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け | 学生向け

教訓が、いのちを救う
東日本大震災3.11伝承ロードの取組み

主催団体：震災伝承ネットワーク協議会(国土交通省東北地方整備局)

B-227 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 自治体向け

宇宙から地域を見守る
—全天候・24時間対応の衛星観測による災害対応支援—

主催団体：ICEYE Japan 株式会社

B-229 上瀬コミュニティセンター 駐車場

学生向け | 子供向け

AMDA中学高校生会の防災の取り組み

主催団体：特定非営利活動法人アムダ

B-230 上瀬コミュニティセンター 駐車場

一般向け | 学生向け

東北大学SCRUM活動報告：震災遺構から被災地の現場へ。
学生が紡ぐ「伝承」と「救援」の形

主催団体：東北大学 SCRUM

B-232 上瀬コミュニティセンター 駐車場

企業向け | 一般向け

災害時における建設業の役割

主催団体：一般社団法人 日本建設業連合会

B-231 上瀬コミュニティセンター 駐車場

専門向け(学術界) | 自治体向け

ベテラン災害ボランティアのつづやき(提言)

主催団体：復興ボランティアタスクフォース

オンライン・ブース展示

B0-01

自治体向け | 一般向け

火山防災トップシティ鹿児島市
～大規模噴火に備えた火山防災対策～

主催団体：鹿児島市

B0-03

専門向け(学術界) | 自治体向け

次の大災害に備えるため、警察OBである会員ボランティアの知見を活用して、自治体・警察等の関係機関への助言・支援や、災害教訓の伝承等を行っているNPO

主催団体：NPO 法人災害時警友活動支援ネットワーク(略称「サンボッド」) SuNPoD)

B0-05

企業向け | 自治体向け

これから迫りくる地震災害・熱射災害に対し、
官にできない防災を民で補う

主催団体：株式会社スギタ

B0-07

企業向け | 自治体向け

事業継続力強化計画で災害に備えよう！

主催団体：独立行政法人 中小企業基盤整備機構

B0-09

一般向け | 学生向け

福島原発事故の教訓？
～国会事故調報告をわかりやすく伝えるイラスト動画展

主催団体：わかりやすいプロジェクト(国会事故調編)

B0-11

一般向け | 学生向け

地形図読図による災害ハザード判読 どこでも防災マップ

主催団体：グループ「どこでも防災」

B0-13

企業向け | 自治体向け

災害時に車で困らない仕組みをつくる「モビリティ・レジリエンス」

主催団体：一般社団法人カーシェアリング協会

B0-02

専門向け(学術界) | 自治体向け

災害が多いアジア地域の防災力向上に向けた取り組み

主催団体：一般財団法人アジア防災センター

B0-04

自治体向け | 一般向け

地域に学び 担い手を育てる防災教育の推進

主催団体：見附市教育委員会・見附市立学校

B0-06

自治体向け | 一般向け

耐震診断で何を見る？何が分かる？耐震補強はどんな工事？
木造住宅の耐震化／徹底解説！

主催団体：日本木造住宅耐震補強事業者協同組合

B0-08

自治体向け | 一般向け

巨大地震の脅威を「科学」で読み解き、「地域」の力に変える：
NanTRプロジェクト

主催団体：南海トラフ地震等巨大地震災害の被害最小化及び迅速な復旧・復興に資する
地震防災研究プロジェクト(通称 NanTR)

B0-10

自治体向け | 一般向け

神奈川災害ボランティアネットワークの活動紹介

主催団体：特定非営利活動法人 神奈川災害ボランティアネットワーク

B0-12

学生向け | 子供向け

3つの「L」 Life・Link・Learn

主催団体：愛知学泉大学 L-ラボ

B0-14

一般向け | 学生向け

未来へ「たすけあい」をつなぐために。

主催団体：熊本大学公認サークル学生災害復旧支援団体「熊助組」

パネル展示

P-01 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

■賃貸型応急住宅(みなし仮設住宅)
～発災後の「避難先」と「応急的な住まい」の選択肢～

主催団体：公益社団法人 全国賃貸住宅経営者協会連合会

P-03 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

防災備蓄コンテナ倉庫

主催団体：中部資材株式会社 コンテナ部

P-02 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

専門向け(学術界) | 一般向け

JRATによる災害リハビリテーション支援活動の紹介

主催団体：一般社団法人日本災害リハビリテーション支援協会(JRAT)

P-04 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

企業向け | 自治体向け

災害時の命綱!! LPガス対応の発電機で非常用電源を備える

主催団体：株式会社レイパワー

P-05 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け

将来の災害食、防災備蓄品

主催団体：株式会社イマジョー

P-07 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

自治体向け | 一般向け

中国5県の連携による中国地方知事会の広域防災の取組

主催団体：中国地方知事会広域防災部会

P-09 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

一般向け

身近な危険と地震保険の普及促進

主催団体：一般社団法人 鳥取県損害保険代理業協会

P-11 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

企業向け | 自治体向け

1年前からの地震予測

主催団体：株式会社新潟テクノ

P-13 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

専門向け(学術界) | 自治体向け

香川における未来志向に基づく子ども防災教育の取り組み

主催団体：国立大学法人香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

P-15 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

一般向け

鳥取大地震の記録と公文書館の取組

主催団体：鳥取県立公文書館

P-17 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

自治体向け | 一般向け

親子で挑戦！防災アニマル診断 ～プロと見つける避難のヒント～

主催団体：八千代エンジニアリング株式会社

P-19 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

企業向け | 自治体向け

環境に優しい自然エネルギー： 災害時にも利用可能なオフグリッド型微生物発電装置

主催団体：株式会社 Cell-En

P-21 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

専門向け(学術界) | 一般向け

避難所で元気に過ごすための食・栄養×身体活動

主催団体：国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所

P-23 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

一般向け | 学生向け

みんなで実践！！こころといのちを守る縄文式健康法！！

主催団体：一般社団法人 80 億 RITA プロジェクト

P-25 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

一般向け

過去の災害と防災

主催団体：新潟市危機管理防災局

P-27 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

企業向け | 自治体向け

非常用トイレは「持っているか」ではなく、 「実際に使える状態になっているか」

主催団体：クリロン化成株式会社

P-06 鳥取県立美術館 1F 県民ギャラリー

一般向け | 学生向け

学生と被災地をつなぐー災害ボランティアの可能性ー

主催団体：学生団体 TSUNAG

P-08 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

自治体向け | 一般向け

被災地の復旧・復興への支援

主催団体：一般社団法人日本補償コンサルタント復興支援協会

P-10 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

一般向け

2026年は「船舶活用医療」元年！ ～災害時の船舶活用医療の運用開始～

主催団体：内閣府防災担当（船舶活用医療担当）

P-12 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

自治体向け | 一般向け

災害で亡くなった方は、その後どうなるのか ー能登半島地震にみる遺体対応の実態と課題ー

主催団体：地域安全学会・大規模災害時の遺体対応研究小委員会

P-14 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

自治体向け | 一般向け

鳥取県倉吉市の大規模災害を想定した防災対策

主催団体：鳥取県倉吉市

P-16 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

企業向け | 一般向け

インテリアで守る命と暮らし

主催団体：鳥取県インテリア事業協同組合

P-18 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

自治体向け | 一般向け

音声SNSでつながる防災 ー自助・共助で、地域と世界を結ぶ新しい助け合いー

主催団体：グローバル共和国（内、防災減災まさかの時の知恵袋共和国）

P-20 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

企業向け | 自治体向け

仮設住宅用簡易基礎工法（スパイクフレーム工法）

主催団体：株式会社ラスコジャパン

P-22 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

専門向け(学術界) | 一般向け

災害救護研究所の研究活動 ～救護のバイオニアとして日赤を未来につなぐ～

主催団体：日本赤十字看護大学附属災害救護研究所

P-24 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

一般向け

看護学生・助産学生が考える地域の防災 ～いのちと暮らしを守るために私たちができること～

主催団体：鳥取県立倉吉総合看護専門学校

P-26 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

自治体向け | 一般向け

全国統一型避難誘導標識の普及・啓発について

主催団体：特定非営利活動法人都市環境標識協会

P-28 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路

自治体向け | 一般向け

地域とともに考えた 食物アレルギーにもやさしい炊き出し訓練

主催団体：一般社団法人 LFA Japan

P-29 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 自治体向け | 学生向け

いわき発!防災の取組コーナー

主催団体：いわき市危機管理部災害対策課

P-31 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 自治体向け | 一般向け

**文化財を災害からまもるために
―被災後の復旧と普段の取り組みと―**

主催団体：鳥取県地域社会振興部文化財局文化財課

P-33 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 自治体向け | 一般向け

**災害ケースマネジメントと士業連携による
広域的な被災者生活再建支援体制づくり**

主催団体：近畿災害対策まちづくり支援機構

P-35 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 企業向け | 一般向け

減災県外避難所2拠点の重要性と備蓄支援

主催団体：情熱クラブ一般社団法人

P-37 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 自治体向け | 一般向け

**被災者の生活再建に寄り添う司法書士
～被災者の声に寄り添い、法で支える。生活再建への伴走～**

主催団体：日本司法書士会連合会

P-39 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 専門向け(学術界) | 一般向け

”土地の記憶”と防災を結びつける街歩き

主催団体：岡山大学教育学部自然地理学ゼミ

P-41 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 企業向け | 自治体向け

**民間主体、産官学連携で防災ビジネスを推進!
JBPの活動をご紹介します。**

主催団体：一般社団法人日本防災プラットフォーム(JBP)

P-43 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 企業向け | 一般向け

大震災における曳家技術を活用した沈下修正工事について

主催団体：一般社団法人日本曳家協会

P-45 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 自治体向け | 一般向け

**片付けのプロが教える その備蓄、なぜ使えない?
―失敗しない場所選びと製品選び―**

主催団体：BOUSAI LIFE MAP

P-47 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 一般向け

災害時も安心を届ける生協 ―災害時支援と備えの紹介―

主催団体：鳥取県生活協同組合

P-49 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 自治体向け | 一般向け

全国の防災教育実践事例・教材紹介

主催団体：一般社団法人防災教育普及協会

P-30 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 一般向け | 学生向け

鳥取県建築士会 これまでの「防災思想の普及」について

主催団体：(一社)鳥取県建築士会

P-32 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 企業向け | 学生向け

四国をつなぐ新たな挑戦

主催団体：防災学生団体 せとうちで、はじめまして。

P-34 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 一般向け | 学生向け

高校生のわたしたちができること

主催団体：岡山県立総社高等学校～学校自主防災コンソーシアム Soja ～

P-36 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 自治体向け | 一般向け

**中学生×人流データ×地域
―産学官民でアップデートする学校防災**

主催団体：石巻市立湊中学校

P-38 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 企業向け | 一般向け

**【災害伝承×EdTech】地域防災力を高める
eラーニングと体験型学習の社会実装**

主催団体：一般社団法人災害伝承普及協会

P-40 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 一般向け

**東日本大震災・原子力災害の教訓
～人災はいかに防げるか?暮らしと命を守るために～**

主催団体：原子力災害考証館 furusato

P-42 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 自治体向け | 一般向け

どう備える?災害時の乳幼児栄養～母子の安心を守るために～

主催団体：NPO法人日本ラクテーション・コンサルタント協会

P-44 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 一般向け

災害廃棄物～知っておきたい災害時の「ごみ」～

主催団体：鳥取県生活環境部自然共生社会局循環型社会推進課

P-46 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 企業向け | 自治体向け

ぬり絵防災BOXによる防災意識を子どもから大人への事例

主催団体：株式会社カスタネット 社会貢献室

P-48 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 企業向け | 一般向け

**きほんから学べる!防災クイズ&マニュアル
読んで、話して、行動のきっかけに**

主催団体：国民生活産業・消費者団体連合会(略称:生団連)

P-50 鳥取県立美術館 2F ギャラリー通路 自治体向け | 一般向け

誰ひとり 置き去りに しない されない まちづくり

主催団体：災害弱者安心ネットワーク高松

屋外テント展示

OT-01 第1駐車場 自治体向け 一般向け 避難所における生活水準の向上と採暖・採光の確保 主催団体：株式会社トヨミ	OT-02 第1駐車場 企業向け 自治体向け 避難所設営の初動時の負担を大幅軽減する5秒展開ベッド 主催団体：株式会社ダイソー
OT-03 第1駐車場 企業向け 自治体向け 防災士が選んだ避難所生活における必需品 主催団体：フル・マックス合同会社	OT-04 第1駐車場 自治体向け 一般向け 災害に備えた燃料備蓄の推進 主催団体：全国石油商業組合連合会
OT-05 第1駐車場 企業向け 自治体向け 再エネと災害対策をもっと身近に 主催団体：山陰酸素工業株式会社	OT-06 第1駐車場 企業向け 自治体向け 「能登半島地震被災地支援」で活躍したLPガス&ガソリン発電機を使った電源インフラ実践事例 主催団体：株式会社G&ECO
OT-07 第1駐車場 自治体向け 一般向け ご当地VTuberを活用した防災行動促進プロジェクト —「満タン運動と日ごろの備え」を楽しく学ぼう— 主催団体：合同会社スタジオビーチ	OT-08 第1駐車場 自治体向け 一般向け 大塚製薬グループ トータルヘルスケア 主催団体：大塚製薬グループ
OT-09 第1駐車場 一般向け 防災用品・防災備蓄品の展示と商品説明 防災備蓄商品50点の展示 防災バック30点の中身実物紹介 防災カタログ520点掲載を無料配布 弊社オリジナル手袋200名無料配布 携帯トイレ実験 (50回限定/1日) 主催団体：株式会社ジュンテンドー	OT-10 第1駐車場 専門向け(学術界) 自治体向け 大学と行政、地域が緊密に連携した減災社会構築の取組 主催団体：国立大学法人大分大学減災・復興デザイン教育研究センター
OT-11 第1駐車場 自治体向け 一般向け 「支え愛」で守る災害時の水 ～家庭・地域・企業でつくる、命と暮らしの備え～ 主催団体：KG ホールディングス株式会社	OT-12 第1駐車場 自治体向け 一般向け 「いつも」と「もしも」をつなぐ おんぶジョイコ 主催団体：富山大学 芸術文化学系 河原研究室
OT-13 第1駐車場 企業向け 自治体向け 安心と安全をまもる。 “移動可能な簡易ベッド” 主催団体：ツインリンクス株式会社 マモリスト事業部	OT-14 第1駐車場 企業向け 自治体向け ”ぼうさいのフジタ” ～総合建設会社によるハード/ソフトぼうさいへの取組み～ 主催団体：株式会社フジタ
OT-15 第1駐車場 一般向け 子供向け 一般住民に向けた災害に対する防災意識の向上 主催団体：公益社団法人日本技術士会中国本部鳥取県支部	OT-16 第1駐車場 一般向け 子供向け 小・中学生や高齢者を対象とした防災支援。 「我が家の防災」を考えよう! 主催団体：(一社) 建設コンサルタンツ協会中国支部
OT-17 第1駐車場 企業向け 自治体向け 循環式入浴設備のご紹介 (避難所環境の改善) 主催団体：トーハツ株式会社	OT-18 第1駐車場 一般向け 子供向け クイズに答えてガチャガチャをまわそう 主催団体：鳥取県子どものインターネット利用教育啓発推進協議会
OT-19 第1駐車場 一般向け 子供向け 「地域で学び、地域に伝える」学生だからできる活動 主催団体：大分大学 学生 CERD	OT-20 第1駐車場 一般向け 警察の災害警備活動 主催団体：鳥取県警察本部
OT-21 第1駐車場 企業向け 一般向け 全国動物避難所マッププロジェクト 主催団体：NPO 法人全国動物避難所協会／認定 NPO 法人人と動物の共生センター	OT-22 第1駐車場 自治体向け 一般向け 「みんなが助かるための人とペットの防災 IN 鳥取」 主催団体：NPO 法人ペット防災サポート協会

OT-23 第1駐車場

一般向け | 子供向け

備えよう!ペットの災害対策

主催団体: 鳥取県くらしの安心推進課、公益社団法人鳥取県獣医師会、鳥取県愛玩動物協会、鳥取市保健所生活安全課

OT-25 上灘中央公園

一般向け | 子供向け

「防災の輪」プロジェクト～みんなで防災・減災を考えよう～

主催団体: KANDAIDPE (関西大学 社会安全学部 準登録団体)

OT-27 上灘中央公園

企業向け | 自治体向け

災害時のドローン活用を学び・考える | 最新事例や依頼方法、その他法規制など

主催団体: 株式会社ドローンオペレーション

OT-29 上灘中央公園

自治体向け | 一般向け

ドローン減災士になって地域を救おう!

主催団体: 一般社団法人ドローン減災士協会

OT-31 上灘中央公園

企業向け | 一般向け

はじめよう!お家の耐震対策!! ~鳥取県が応援する住まいの耐震対策~

主催団体: 鳥取県住宅政策課・鳥取県建築士事務所協会

OT-33 上灘中央公園

一般向け | 子供向け

鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会による 食べられる野草に関するクイズ、ウッドクラフト体験

主催団体: 鳥取県「体験の風をおこそう」実行委員会

OT-35 上灘中央公園

自治体向け | 一般向け

すべての命を守り『在宅避難』を支える 一部屋丸ごと耐震シェルター

主催団体: ミホ工業株式会社

OT-37 上灘中央公園

一般向け | 子供向け

国土交通省の災害対策 ~クイズやペーパークラフトで楽しみながら防災を学ぼう~

主催団体: 国土交通省 水管理・国土保全局 防災課

OT-39 上灘中央公園

一般向け | 学生向け

北近畿における防災教育研究の普及と実践

主催団体: 兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究所

OT-41 上灘中央公園

一般向け | 学生向け

地形が語る災害の記憶と、岩石から学ぶ「備え」の力

主催団体: 山陰海岸ジオパーク推進協議会

OT-43 上灘中央公園

専門向け(学術界) | 一般向け

鳥取県の自然災害と地域防災の取組

主催団体: 鳥取大学工学部附属地域安全工学センター

OT-45 上灘中央公園

自治体向け | 一般向け

災害に強い浄化槽システム

主催団体: 一般社団法人浄化槽システム協会

OT-24 上灘中央公園

自治体向け | 一般向け

「知る」から「備える」へ。位置情報で変わる新しい防災

主催団体: 有限会社アシストコム

OT-26 上灘中央公園

一般向け | 子供向け

土砂災害への備えを学ぼう! ~ラジコンショベルカーで土砂災害対策を体験~

主催団体: 鳥取県治山砂防課

OT-28 上灘中央公園

企業向け | 子供向け

ドローンとロボットで学ぶ地域防災・インフラ点検とドローン操縦体験

主催団体: O・F・T合同会社

OT-30 上灘中央公園

企業向け | 自治体向け

防災を贈るってどういうこと? 大切な人にギフトで届ける防災の取り組み

主催団体: 株式会社 KOKUA

OT-32 上灘中央公園

一般向け | 子供向け

みんなでやるぞう!「流域治水」

主催団体: 鳥取県 河川課

OT-34 上灘中央公園

一般向け | 子供向け

大切な人命と暮らしを、住まいで守る総合防災住宅

主催団体: 株式会社一条工務店

OT-36 上灘中央公園

一般向け | 子供向け

防災ジャパンダプロジェクト × HIKESHI ACTIONS!

主催団体: 損害保険ジャパン株式会社

OT-38 上灘中央公園

一般向け | 子供向け

防災カードゲーム「このつぎなにがおきるかな?」を体験しよう

主催団体: 国土交通省 国土技術政策総合研究所

OT-40 上灘中央公園

一般向け | 学生向け

ジオパークから知る防災・減災

主催団体: 関西広域連合(ジオパーク推進担当)

OT-42 上灘中央公園

一般向け | 子供向け

便りを頼りに! SOSリレーゲーム

主催団体: 防災サークル 岐阜大学 たすく & 名古屋大学 轍

OT-44 上灘中央公園

企業向け | 自治体向け

生活用水のバックアップのご提案

主催団体: I・T・O株式会社

OT-46 上灘中央公園

一般向け | 学生向け

1分でわかる!日新火災の青い犬と学ぶ災害リスクブース

主催団体: 日新火災海上保険株式会社

OT-47 上瀬中央公園

自治体向け | 一般向け

総務省中国総合通信局が取り組む
災害時の情報通信確保に向けた支援

主催団体：総務省中国総合通信局

OT-49 上瀬中央公園

一般向け | 子供向け

図書館で学ぶ震災・防災
～岩手県立図書館「1-ルームを拠点として」～

主催団体：岩手県立図書館

OT-51 上瀬中央公園

一般向け | 学生向け

災間を生きる

主催団体：復興応援団 Sun

OT-54 上瀬中央公園

企業向け | 自治体向け

地震で人が死なない家をつくり続けるために

主催団体：一般社団法人 耐震住宅 100%実行委員会

OT-56 上瀬中央公園

一般向け | 子供向け

「やさしい炊出し4か条」の実践で、
食物アレルギーを考えた災害時の炊出しを！

主催団体：一般社団法人レベルフリー

OT-58 上瀬中央公園

一般向け

新しくなった警報! 知って! 学んで! 命を守る

主催団体：鳥取地方気象台

OT-60 上瀬中央公園

一般向け

「今日からできる! ホームセンターが提案する
『わが家の防災対策』術」

主催団体：いないホールディングス株式会社

OT-48 上瀬中央公園

企業向け | 自治体向け

再生可能エネルギーを活用した防災・減災・BCP対策

主催団体：株式会社 オーエスエム

OT-50 上瀬中央公園

一般向け

いわて・東日本大震災津波からの復興の歩み

主催団体：岩手県

OT-52 上瀬中央公園

一般向け

防災紙芝居 稲むらの火

主催団体：津波防災 KEN みちのく

OT-55 上瀬中央公園

自治体向け | 一般向け

災害時トイレ使用方法等の啓発

主催団体：鳥取県環境整備事業協同組合

OT-57 上瀬中央公園

一般向け | 学生向け

豪雨災害から大切な思い出を守る写真洗浄を体験しよう

主催団体：写真洗浄@あらいくま連合

OT-59 上瀬中央公園

一般向け | 子供向け

自助・共助期間のトイレの重要性和備蓄普及の必要性

主催団体：一般社団法人 全国簡易トイレ普及協会

OT-61 上瀬中央公園

専門向け(学術界) | 一般向け

災害医療用テントの中で見る、聞く、ふれる
災害時派遣医療チームDMATの活動とその軌跡

主催団体：エアーストレッチャー株式会社

屋外車両展示

OC-01 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

ソフトバンクの災害対策への取り組み

主催団体：ソフトバンク株式会社

OC-03 第1駐車場

企業向け | 自治体向け

NTT 西日本の防災に関する取り組み

主催団体：NTT 西日本株式会社 鳥取支店

OC-05 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

道路の陥没事故を未然に防ぐ路面下空洞探査技術の紹介

主催団体：株式会社 ウエスコ 防災・環境事業部

OC-07 第1駐車場

企業向け | 自治体向け

災害時におけるキャンピングカーの活用事例紹介

主催団体：一般社団法人 日本RV協会

OC-02 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

NTTドコモの災害に対する取り組み

主催団体：株式会社ドコモ CS 中国鳥取支店 /
NTT ドコモビジネスソリューションズ株式会社中国支社鳥取支店

OC-04 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

楽天モバイル災害への取り組み

主催団体：楽天モバイル株式会社

OC-06 第1駐車場

自治体向け | 子供向け

【こどもまんなかをフェーズフリーに!】
移動式あそび場「プレイカー」の展示

主催団体：特定非営利活動法人 Chance For All

OC-08 第1駐車場

企業向け | 自治体向け

「衣食寝」すべてに自己完結可能な、
シャワールーム付き災害ボランティア向けキャンピングカー。

主催団体：株式会社レクビィ

OC-09 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

災害時の電動車による給電活用
～医療機器への正しい給電について～

主催団体：トヨタ自動車 / 鳥取県トヨタ販売店グループ

OC-11 第1駐車場

企業向け | 自治体向け

電源工事不要! 移動可能!
再エネを搭載したコンテナ型多目的・医療シェルター

主催団体：NTN 株式会社

OC-13 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

災害用トイレ(携帯・簡易トイレ・マンホールトイレ・仮設トイレ)
の実物展示及び過去災害時のトイレ状況案内。

主催団体：一般社団法人日本トイレ協会 災害トイレ研究会

OC-15 第1駐車場

企業向け | 自治体向け

地震・豪雪に備える「防災用EVバイク」の紹介

主催団体：中日本高速オートサービス(株)

OC-17 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

要支援者の命と心を守る災害時の搬送支援

主催団体：一般社団法人 GARUDIA JAPAN

OC-19 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

KDDIの災害対策への取り組み

主催団体：KDDI 株式会社

OC-21 第5駐車場

一般向け | 学生向け

消防団入団促進広報

主催団体：総務省消防庁

OC-23 第5駐車場

自治体向け | 一般向け

鳥取DMAT(災害派遣医療チーム)の活動

主催団体：鳥取県医療政策課・鳥取県 DMAT 連絡協議会

OC-25 第5駐車場

専門向け(学術界) | 一般向け

モバイルファーマシー出展

主催団体：公益社団法人 日本薬剤師会(協力：一般社団法人 鳥取県薬剤師会)

OC-27 第5駐車場

企業向け | 自治体向け

中国電力ネットワークグループの防災への取り組み

主催団体：中国電力ネットワーク株式会社 山陰ネットワークセンター

OC-29 上瀬コミュニティセンター駐車場

企業向け | 自治体向け

電波測定車で防災無線の受信状況を確認する
～つながりは備えになる～

主催団体：ビーフリー株式会社

OC-31 上瀬コミュニティセンター駐車場

一般向け | 子供向け

災害時におけるNEXCO西日本の災害対応活動

主催団体：西日本高速道路株式会社 中国支社 米子高速道路事務所

OC-10 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

電気自動車と考える、これからの安心

主催団体：日産自動車(株) / 日産プリンス鳥取販売(株)

OC-12 第1駐車場

企業向け | 自治体向け

平時から活用でき、有事に力を発揮する
”フェーズフリー”な防災モビリティ

主催団体：新明工業(株) / 中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)

OC-14 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

仮設トイレの実物展示及び、災害時のトイレ環境改善へ向けた
今後の取り組み紹介。

主催団体：一般社団法人日本仮設トイレ工業会

OC-16 第1駐車場

専門向け(学術界) | 一般向け

フレイル予防のためのキッチンカー×身体活動

主催団体：公益社団法人 日本栄養士会

OC-18 第1駐車場

自治体向け | 一般向け

バイクと無線で被災地を支援する災害ボランティア

主催団体：神奈川レスキューサポート・バイクネットワーク

OC-20 第1駐車場

専門向け(学術界) | 一般向け

老いも若きもみんな一緒に避難

主催団体：NPO 法人日本防災用品技術研究協会

OC-22 第5駐車場

一般向け

鳥取県土砂・風水害機動支援部隊車両の
水陸両用バギー車展示

主催団体：鳥取中部ふるさと広域連合消防局

OC-24 第5駐車場

自治体向け | 一般向け

陸上自衛隊の災害派遣に係る車両・装備品

主催団体：防衛省・陸上自衛隊第13旅団 第8普通科連隊(米子駐屯地)

OC-26 第5駐車場

一般向け | 子供向け

災害時歯科診療車を体験しよう!

主催団体：公益社団法人日本歯科医師会・一般社団法人鳥取県歯科医師会

OC-28 第5駐車場

企業向け | 自治体向け

被災地のQOLを劇的に変える「移動式木造建築」の
最新ソリューション

主催団体：株式会社 ミヨシ産業

OC-30 上瀬コミュニティセンター駐車場

自治体向け | 一般向け

関西広域連合構成団体の防災の取組

主催団体：関西広域連合

OC-32 上瀬コミュニティセンター駐車場

企業向け | 自治体向け

特殊な建設機械「スパイダー」の展示及び防災への取り組み

主催団体：一般社団法人日本スパイダー協会

OC-33 上瀬コミュニティセンター駐車場

一般向け | 学生向け

中国地方整備局が取組む災害対応

主催団体：国土交通省 中国地方整備局

OC-35 上瀬中央公園

一般向け | 子供向け

地域を守る”カッコいい”建設業

主催団体：一般社団法人鳥取県建設業協会

OC-37 上瀬中央公園

企業向け | 自治体向け

避難所におけるバリアフリー対応トイレの重要性和
停電でも電気が使ええるシステム支援

主催団体：Gテクノ株式会社

OC-39 上瀬中央公園

一般向け

見て・学べる！ローリングストックと段ボールベッドの重要性

主催団体：学校法人 日本赤十字看護大学 / 一般社団法人 日本即席食品工業協会

OC-34 上瀬コミュニティセンター駐車場

自治体向け | 一般向け

地震時に直接建物にゆれを伝えないようにする
免震構造のご紹介

主催団体：一般社団法人日本免震構造協会

OC-36 上瀬中央公園

企業向け | 自治体向け

自己完結型トイレ汚水浄化装置(アクアメイク)搭載車
by中国電力

主催団体：中国電力株式会社鳥取支社

OC-38 上瀬中央公園

自治体向け | 一般向け

ペットも飼い主も安心して避難できる
ペット同行避難対策テント

主催団体：クラーク株式会社

出展団体オリジナル企画

OR-01

18 (日) 10:30 ~ 12:00
倉吉交流プラザ 2F 視聴覚ホール

企業向け | 一般向け

防災コレクション in 鳥取
—防災の外にいる人を巻き込む、私たちの実践

主催団体：防災コレクション委員会

「防災の外にいる人」をどう巻き込む？ 防災をカッコよく表現する「防災コレクション」のランウェイからスタート。防災落語、祭りや防災、企業BCPなど、私たちが実践する「日常から始める防災」を紹介しつづけます。最後は会場の皆さんとの対話から、地域や立場を超えて新たな実践と一緒に考えるアブダクションへ。見る人から、動く人へ。防災をもっと身近に、楽しく。みんなであつながり、実践しよう。

OR-02

18 (日) 12:30 ~ 14:00
倉吉交流プラザ 2F 視聴覚ホール

自治体向け | 一般向け

～防災を、いつもと違う角度で～ 防災ドキュメンタリー映画
『君とそなえる妖怪は』上映&出演者トークセッション

主催団体：名古屋市港防災センター・妖怪防災ドキュメンタリー映画製作委員会

【防災啓発を目的としたドキュメンタリー映画の上映】【映画監督&出演者によるスペシャルトーク】を行います。防災訓練や防災講話などのワンパターン化に悩む地域も多い中で「映像作品として楽しむ」「妖怪を軸とした様々な防災の工夫に触れる」等、普段とは異なる角度から防災を学べるパッケージです。「防災をどうやって広げていくか」を、妖怪の力も借りながら、一緒に考えていくことができます。

OR-03

18 (日) 10:30 ~ 16:00
上瀬コミュニティセンター 研修図書室

一般向け | 子供向け

【災害時の子ども支援を体感し、考える！】
子どもの日常性を回復するために必要な取り組み紹介

主催団体：災害時の子ども支援ネットワーク

災害時、環境の急変や危機的な体験により、子どもはもと以上に深刻な影響を受け、さまざまなリスクに直面します。本出展では、災害下でも子どもの権利を守り、心身への影響を低減して回復を支えるための「災害時の子どもの居場所」など、非常時における子ども支援について移動式遊び場の体験や活動紹介の展示、支援団体・行政間によるパネルディスカッションなどさまざまな取り組みからその重要性や現状を発信します。

OR-04

17 (土), 18 (日) 終日
エースバック未来中心 1F リハーサル室

一般向け | 学生向け

VR洪水シミュレーション体験

主催団体：同志社大学 ネットワーク情報システム研究室

洪水災害を疑似体験できるVRシミュレーションシステムを活用し、被験者の頭部動作を観測、分析する。得られたデータをもとに、避難行動の特徴や避難成功、失敗の傾向を明らかにし、防災教育や避難支援への活用を目指している。

OR-05

17 (土), 18 (日) 終日
エースバック未来中心 エントランス

一般向け | 子供向け

新しくできる防災庁ってなあに？

主催団体：内閣官房防災庁設置準備室

南海トラフ地震や首都直下地震など国難級の災害発生が切迫する中、人命・人権最優先の防災立国の実現をすべく、平時から復旧・復興まで一貫した司令塔機能を担う防災庁の設置準備を進めている。ブースでは、防災庁の役割や設置の意義を紹介する展示に加え、大人用・子ども用の防災庁防災服を着用して記念撮影できる写真スポットや、パンフレット等の広報物配布を行い、親子連れをはじめ幅広い来場者に防災庁を身近に感じてもらう。

OR-06

17 (土), 18 (日) 終日
鳥取県立美術館 1F ひろま

自治体向け

現地情報共有・連携会議パネル展示

主催団体：現地情報共有・連携会議

ぼうさいこくたい2026in鳥取を契機に、鳥取県では現地情報共有・連携会議を開催し、ぼうさいこくたいに興味がある方、出展を予定している方など、全国の皆さんと交流を図りました。この会議では、テーマごとに分科会を分けて、日頃の防災活動や今後目指すべき社会などについて意見交換を行いました。今回、この会議で議論した内容を展示します。

OR-07

17 (土), 18 (日) 終日
鳥取県立美術館 県民ギャラリー

一般向け | 学生向け

とっとり若者HUG等ワークショップ

主催団体：とっとり若者 HUG 等ワークショップ PT

県内の大学防災サークルや消防団等に所属する若者が、開発した防災カードゲーム（鳥取県版HUG／ハグ、SHYG／シャイグ等）のワークショップを行います。当日参加もできるよう一部席を確保していますが、数に限りがあるため、体験を希望される方は、できるだけ事前申込をしてください。なお、見学は事前申込なく可能です。また、時間帯により実施するゲームが異なりますので、詳しくは鳥取県HPをご確認ください。

OR-08

17 (土), 18 (日) 終日
上瀬コミュニティセンター 駐車場

学生向け | 子供向け

暮らしをまもる建設DXを知ろう

主催団体：鳥取県技術企画課、(一社) 鳥取県測量設計業協会

線状降水帯やゲリラ豪雨により、河川や道路ではどのような被害が発生するのか！豪雨災害をVR体験し、日常では経験することができない危険エリアに没入し、日々の災害への備えを見つめ直すきっかけとなることでしょう。また、一早く平常時の生活に戻すために、いかに公共インフラの早期復旧が重要なのか再認識していただけることに期待しています！是非とも、我々のブースに足をお運びください。

OR-09 17(土)・18(日) 終日
上瀬中央公園

自治体向け | 一般向け

地域のつながりが、避難所を強くする。ともに育む受援力

主催団体：相日防災株式会社

実際の被災地支援で使用した炊き出し資機材や活動写真を間近でご覧いただき、現地活動を経験したスタッフから、支援現場で起きたことを直接聞いてみませんか？避難所で支援する側・受ける側、それぞれに必要なことを一緒に考えながら、地域で支え合うための「受援力」について考える機会をお届けします。自分なら何ができるか、地域に何が必要かを考えるきっかけをつくります。災害が起きる前からできることを、一緒に考えませんか

OR-11 17(土)・18(日) 終日
上瀬コミュニティセンター会議室2

一般向け | 子供向け

AR(拡張現実) GENSAIめいろう
感震ブレイカー zen断+・coco断

主催団体：三和商事株式会社

創業より学校様のサポート役として活動する弊社は特に「防災・減災事業」に力を入れており、備蓄率UPの為、学校やPTAに向けて提案を続けています。また地域減災活動として一人でも多くの人が減災に興味を持つきっかけ作りとなるようGENSAIめいろう等、体験・体感できるイベントを展開し取り組んでいます。他に震災時の通電火災を防ぐ為に感震ブレイカーの設置が重要な対策になることをデモボードで説明。啓発活動中です。

OR-13 17(土)・18(日) 終日
大御堂廃寺跡 および 第5駐車場

自治体向け | 一般向け

防災・減災に関する展示＆ワークショップ

主催団体：NHK エンタープライズ・NHK アート

- TKB48、避難所運営の普及推進
- ▽TKB48 パネル紹介
- ▽イメージドームハウス、ダンボールベット、非常用生活用水浄化装置等の展示
- NHKエンタープライズ展示
- ▽忍たま乱太郎 SDGs啓発パネル
- ▽わくわくさんによる親子防災工作教室 (10/17)
- NHKアート展示
- ▽防災ピクトグラム・ワークショップ
- ▽災害シミュレーションCG
- ▽あまねく伝える災害・気象情報のユニバーサルデザイン

工作教室、ワークショップへの参加は直接ブースにてご確認ください。

OR-16 17(土)・18(日) 終日
サテライト 倉吉打吹廊

一般向け

鳥取県中部地震「復興から福高へ」

主催団体：倉吉銀座商店街振興組合

「倉吉銀座福高プロジェクト」は、地域住民の絆を活かし、地震のマイナスをゼロにするだけでなく、プラスにする「福高」を目指し、官民連携による震災復興イベント「鳥取県中部福高祭」など、多数のイベントなどを展開し、大きな賑わいの創出に成功した。商店街加盟店舗数も平成25年の28店から現在80店と大幅に増加し、経済産業省が主催する「全国はばたく商店街30選」にも選定された。

OR-18 17(土)・18(日) 8:30 ~ 10:00
サテライト エクスカーション (白壁土蔵群)

一般向け | 子供向け

福高ウォーク
～震災遺構と遙かな町を巡るウォーキングツアー～

主催団体：鳥取県中部総合事務所県民福祉局中部振興課

2016年10月21日に発生した鳥取県中部地震から10年。エースバック未来中心から倉吉白壁土蔵群の往復を、震災当時のパネルや震災を体験したガイドの方の説明を交えながら、福高(復興)をテーマに震災遺構等を歩いて巡るエクスカーションを実施します。ぼうさいこくたい当日に、少し早く会場にお越しいただきご参加ください。

【福高ウォーク～震災遺構と遙かな町を巡るウォーキングツアー～】

- 開催日：2026年10月17日(土) 18日(日)
 - 出発地：エースバック未来中心前ふれあい広場 (集合 8:15 / 出発 8:30 両日共通)
 - 催行時間：8:30 ~ 10:00 を予定
 - 参加費用：無料
 - 定員：各コース 50名程度 (先着順)
 - 申込締切：2026年10月12日(月)
- ツアーの詳細はこちらのサイトをご確認ください。
<https://npo-mirai.net/public/civic/14392>
ツアー申込はこちら (申込締切 2026年10月12日(月))
【ツアーについてのお問合せ】
認定NPO法人未来
電話番号 0858-24-5725
メールアドレス civic@npo-mirai.net

OR-10 17(土)・18(日) 終日
上瀬コミュニティセンター会議室1

一般向け | 子供向け

ザブトン教授の防災教室 ～過去に起こった地震を体験し、日頃からの備えについて考えよう～

主催団体：全国共済農業協同組合連合会

「ザブトン教授の防災教室」では、地震動体験装置「地震ザブトン」による地震体験に加え、防災ワークショップやクイズパネルの展示を実施します。2016年に発生した「鳥取県中部地震」や将来想定される地震の揺れを体感しながら、身を守るための知識を楽しく学べる体験型ブースです。また、会場内の別ブースでは鳥取県に関するパネル展示等も実施、スタンプラリーを通じて会場を巡りながら防災について学ぶことができます。

OR-12 17(土)・18(日) 終日
大御堂廃寺跡

自治体向け | 子供向け

忍たま乱太郎 防災体験イベント
～いざという時の備えの段～

主催団体：NHK エンタープライズ

NHKアニメ「忍たま乱太郎」のキャラクターと一緒に、防災の心得について楽しく学びながら体験するプログラム。いざという時の防災について3つの任務をクリアすると「防災忍者」に認定！

OR-14 17(土)・18(日) 終日
大御堂廃寺跡

自治体向け | 一般向け

PLAY BOSAI
(スポーツを通じた体験型防災教育プログラム)

主催団体：スポーツ庁

スポーツ庁が開発した「PLAY BOSAI」は、スポーツの楽しさを防災に融合させた体験型防災教育プログラムであり、防災教育への参加ハードルを下げつつ、災害時に避難や救助を行える身体能力や判断力を平時のトレーニングを通じて養うもの。スポーツの持つ価値を生かし、多様な人々が楽しみながら防災知識を高めることで、地域コミュニティにおける「共助」の意識を醸成し、有事の際に助け合える社会の実現を目指している。

OR-15 17(土)・18(日) 10:00 ~ 15:00
サテライト 鳥取看護大学・鳥取短期大学 体育館
および かんとりい☆ホール

一般向け | 子供向け

「もしも」に備えるチカラ展 ～学生×共助防災～

主催団体：鳥取看護大学・鳥取短期大学 シグナス彩

倉吉市にキャンパスを置く鳥取看護大学・鳥取短期大学の学生が企画・運営する自助・共助防災プログラムです。命を救う救急法や耐震構造を学ぶゲーム、防災ボトルづくりなど、体験型ワークショップを多数開催！あわせて、研究パネルの展示や防災レクリエーションも実施します。身近なものを災害時に役立てる知恵や実践的な防災ノウハウを紹介します。地域の未来を担う学生たちと一緒に、楽しみながら「もしも」に備えてみませんか。

OR-17 18(日) 終日
上瀬小学校体育館

自治体向け | 一般向け

障がい者と共に進める防災教室
～「今大丈夫ですか？」と愛の一声を～

主催団体：鳥取県中部防災士会

阪神淡路大震災以降のどの災害でも、障がい者の致死率が健常者の2倍という実態が低減できていないことを踏まえ、歩行訓練士による手引き体験や障がい者との出会いを通して、思いを共有。そして、その最中に地震発生を想定し、学んだ手引きで避難誘導。その後、障がい者や防災士、歩行訓練士から指導評価をしていただく。この実践的な体験を全国に広めていただき、致死率低減の一助になることを期待したい。

OR-19 17(土)・18(日) 終日
エースバック未来中心 エントランス

一般向け | 学生向け

ぼうさいこくたいコンシェルジュ

主催団体：TEAM 防災ジャパン

災害対応や地域防災活動など様々な分野に精通したメンバーが、「どこから見たらよいか分からない」とか「〇〇について詳しく知りたいんだけど」などなど、来場者のご要望にあわせて、見どころなどをわかりやすくご案内します！総合案内そばでお待ちしております。ぜひお気軽にお立ち寄りください！

会場図 倉吉パークスクエア (鳥取県倉吉市駄経寺町)

ぼうさいこくたい併催イベント
食パラダイス鳥取県
エリア

ぼうさいこくたい併催イベント
防災訓練・体験エリア

ぼうさいこくたい
サブ会場
(倉吉交流プラザ)

ぼうさいこくたい
サブ会場
(鳥取県立美術館)

ぼうさいこくたい
メイン会場
(エスパック未来中心)

ぼうさいこくたい
サブ会場
(上瀬コミュニティ
センター)

ぼうさいこくたい
車両展示エリア
(第1駐車場)

ぼうさいこくたい
サブ会場
(上瀬中央公園)

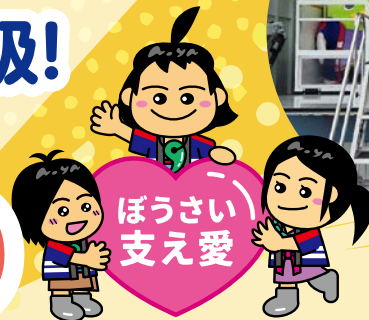
ぼうさいこくたい併催イベント
ステージエリア

ぼうさいこくたい併催イベント
防災産業展示エリア

ぼうさいこくたい
車両展示エリア
(第5駐車場)

併催イベント 日本最大級!

防災の テーマパーク



令和8年

10/17土・18日

開催時間

10:30~16:00

会場

ふれあいひろば(エスパック未来中心)
大御堂廃寺跡

50ブース!



食パラダイス
鳥取県エリア

65ブース!



防災訓練・体験エリア

40ブース!



防災産業展示エリア



YouTubeチャンネル
登録500万人超え
リユウジ



ぼうさい変エル大使
入江聖奈



くわしい情報
はこちら

ステージスケジュール

10月17日 土

- 10:30 打吹童子ばやしで開幕! オープニングステージ
- 11:00 鳥取県若者団体によるPR
- 11:25 ちいわか総選挙結果発表& 整理収納のプロが教える! 暮らしに役立つ防災収納術
- 11:55 NHK ONE どーもくんがいく! ステージショー
- 12:25 休憩
- 13:00 入江聖奈と考える! 意識を変エル防災トーク
- 13:40 鳥取県の魅力PR
- 14:10 「オンガクお嬢Remix&月刊FMお嬢」スペシャルステージ
- 15:10 NHK ONE どーもくんがいく! ステージショー

10月18日 日

- 10:30 NHK ONE どーもくんがいく! ステージショー
- 11:10 鳥取県若者団体によるPR
- 11:35 料理研究家リユウジのおいしいバズ防災レシピ
- 12:15 休憩
- 13:00 北北西ジュニアブラスバンドミニコンサート
- 13:30 鳥取県の魅力PR
- 14:00 NHK ONE どーもくんがいく! ステージショー
- 14:40 くぼ てんきと学ぶ楽しく備える防災トークショー